



Microsoft SharePoint Server 2013  
サイトのデザイン編集 自習書

---

#### 著作権

このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用する会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のもので、実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

©2013 Microsoft Corporation. All rights reserved.

SharePoint、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

## 目次

---

はじめに .....	2
変更履歴 .....	3
<b>1. SharePoint サイト デザイン基礎 .....</b>	<b>4</b>
1.1 SharePoint サイトの既定デザイン .....	5
1.2 共通メニュー内容とマスター ページ .....	8
● 標準のマスター ページ .....	10
● マスター ページの変更方法 .....	11
● [参考] マスター ページの設定メニューと発行機能 .....	14
● マスター ページ ギャラリー .....	17
<b>2. ブラウザーでの設定で行えるデザイン変更 .....</b>	<b>19</b>
2.1 ロゴの変更 .....	19
2.2 外観の変更 .....	22
<b>3. HTML エディターを利用したマスター ページの編集 .....</b>	<b>30</b>
3.1 HTML デザインの用意 .....	31
3.2 マスター ページ ギャラリーをネットワーク ドライブとして設定 .....	40
3.3 マスター ページ ギャラリーに HTML ファイルをアップロード .....	46
3.4 HTML ファイルをマスター ページに変換 .....	49
3.5 SharePoint デザインに必要な内容の追加 .....	53
● スニペット画面を開く .....	55
● HTML エディター (Dreamweaver) で HTML ファイルを開く .....	56
● サイト名 .....	58
● サイトのロゴ .....	61
● グローバル ナビゲーション .....	65
● 検索ボックス .....	72
● コンテンツ エリア .....	76
● セキュリティによるトリミング .....	82
3.6 マスター ページとして設定 .....	90
● 各リソースファイルをメジャーバージョンに発行 .....	90
● サイトのマスター ページを設定変更 .....	93
<b>4. モバイル対応について .....</b>	<b>95</b>
4.1 サポートされているモバイル デバイス ブラウザー .....	96
4.2 モバイル ブラウザー ビューを利用するために .....	97
● [モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能のアクティブ化方法 .....	98

<b>5. モバイル対応デザインとデバイス チャンネル .....</b>	<b>99</b>
5.1 デバイス チャンネルの作成 .....	100
5.2 モバイル ブラウザー専用デザインの作成 .....	105
● HTML デザインの用意 .....	105
● マスター ページ ギャラリーに HTML ファイルをアップロード.....	112
● HTML ファイルをマスター ページに変換.....	115
● SharePoint デザインに必要な内容の追加.....	119
● デバイス チャンネル パネルの利用.....	129
● 各リソースファイルをメジャーバージョンに発行.....	133
5.3 マスター ページの設定.....	135
● [モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能の非アクティブ化方法.....	135
● デバイス チャンネルごとのマスター ページ設定.....	136

## はじめに

---

本ドキュメントは Microsoft SharePoint Server 2013（以下、SharePoint 2013）また SharePoint Online（SharePoint 2013 ベース）サイトのデザイン編集を行うために必要な知識を習得いただき、デザイン編集作業を行っていただくための参考手順書です。

SharePoint 2013 ではサイトのデザイン編集を行うための機能が大きく強化されており、以前のバージョンよりもデザイン編集が行いやすくなっています。本ドキュメントではブラウザーベースの設定のみで行うデザイン変更から HTML エディターを利用して行うデザイン編集、また SharePoint 2013 で機能強化されたモバイル ビューについて、ステップ バイ ステップの手順をベースに解説します。

## 変更履歴

---

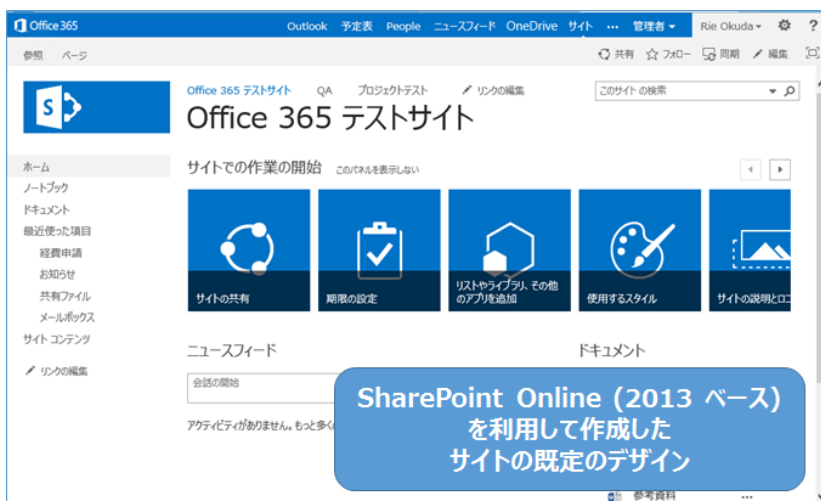
バージョン	リリース時期	変更内容
Version 1.0	2013 年 3 月	初版

## 1. SharePoint サイト デザイン基礎

SharePoint サイトの既定デザインは次図のような内容です。既定のデザインのまま利用することももちろん可能ですが、デザイン変更はカスタマイズにおける大きなニーズのひとつといえます。

サイトのデザインはブラウザー ベースでの設定により、サイトの色合いや背景、文字スタイル等の一部を変更することが可能です。また大幅なデザイン変更を行いたい際には SharePoint 2013 では SharePoint Designer 2013 だけではなく、各種 HTML エディターを利用したデザイン編集が行えるよう新機能が搭載されています。

この章ではこれらのデザイン編集を行う際に理解するべき SharePoint サイト デザインの基本的なしくみについて解説します。



※ チームサイト テンプレートを利用した場合の画面

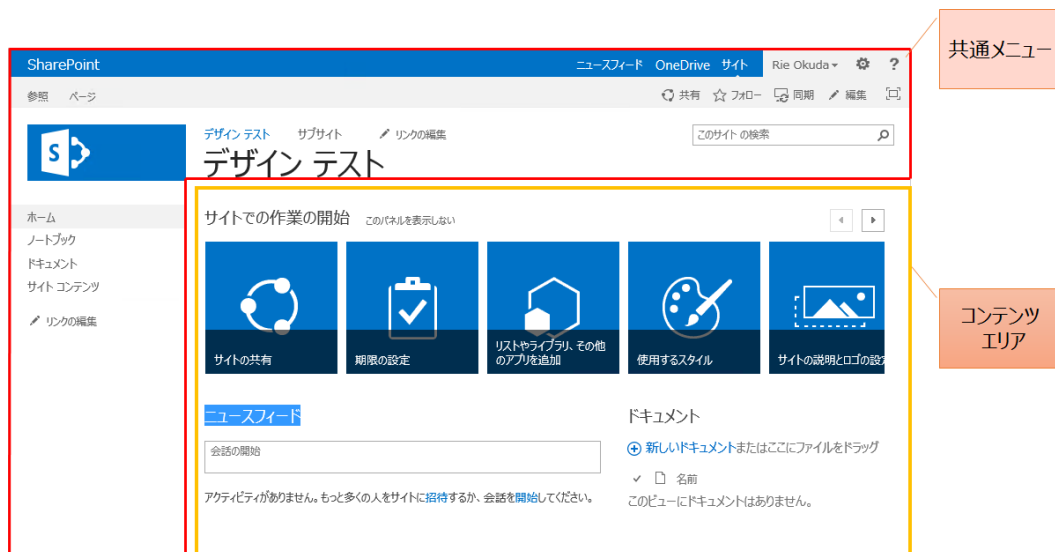
## 1.1 SharePoint サイトの既定デザイン

SharePoint サイト内にはトップページをはじめとする複数の Web ページ (aspx ファイル) が含まれています。

### ■ SharePoint サイト内にあるページ例

- サイトのトップページ
- Web パーツページや発行ページ、Wiki ページなどサイト内に作成したページ
- リスト、ライブラリ内のビュー・フォーム
- サイトの設定画面、リストの設定画面などの各種設定画面

サイトのデザインは、大きく 2 種類のエリアに分けられ、サイト内の全ページは下図のように共通メニュー部分（上部のサイト タイトルやリボンなどを含む領域と左部のサイド リンク バー領域）とページごとのコンテンツが表示されるコンテンツ エリアが含まれています。



### ■ 共通メニュー部分

サイト内のすべてのページで同じ内容が表示される共有メニュー エリアです。サイト内で各操作を行うためのリボン メニューや各ソーシャル機能へのリンク、トップ リンク バー、サイド リンク バーが含まれます。(SharePoint Server 2013 と SharePoint Online で一部内容が異なります)。

### ■ コンテンツ エリア

各ページ内のコンテンツが表示されるエリアで、ページによって内容が異なります。

## [参考] 共通メニュー内の主な内容

### ✓ リボン

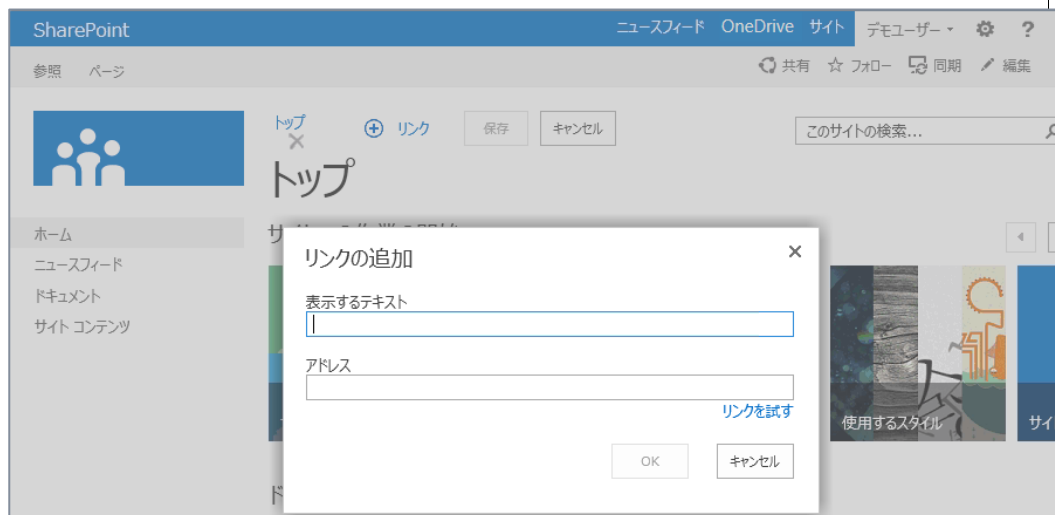
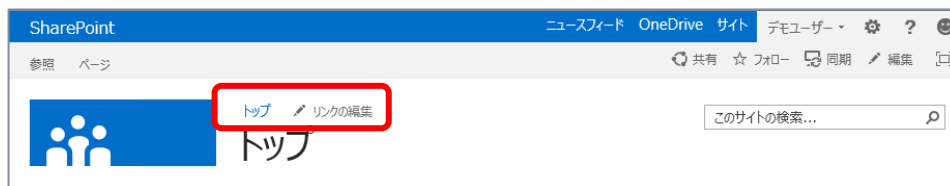
SharePoint 2010 と同様に、主な操作メニューはリボン内に用意されています。



### ✓ トップ リンク バー

[参照] タブ内に表示される、横に並べてリンクを表示できるエリアです。同じサイト コレクション内にある他のサイトへのリンクを自動的に表示するよう設定が可能であり、サイト管理者は任意に編集も行えます。

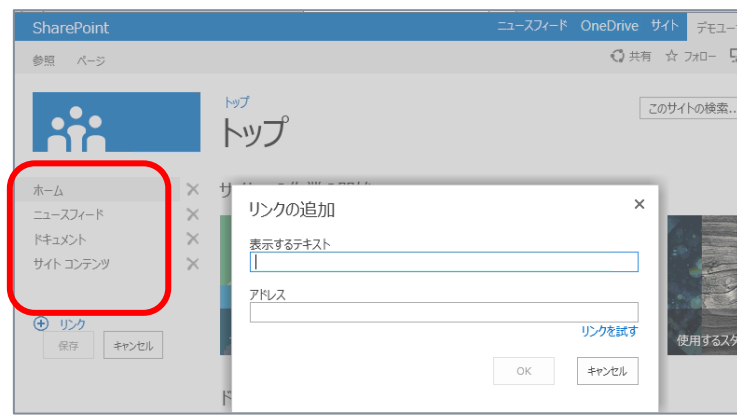
またサイトの管理者権限を持つユーザーには [リンクの編集] メニューが表示され、クリックすることで、設定画面にアクセスしなくても直接リンク内容の編集が行えるようになっています。



✓ サイド リンク バー

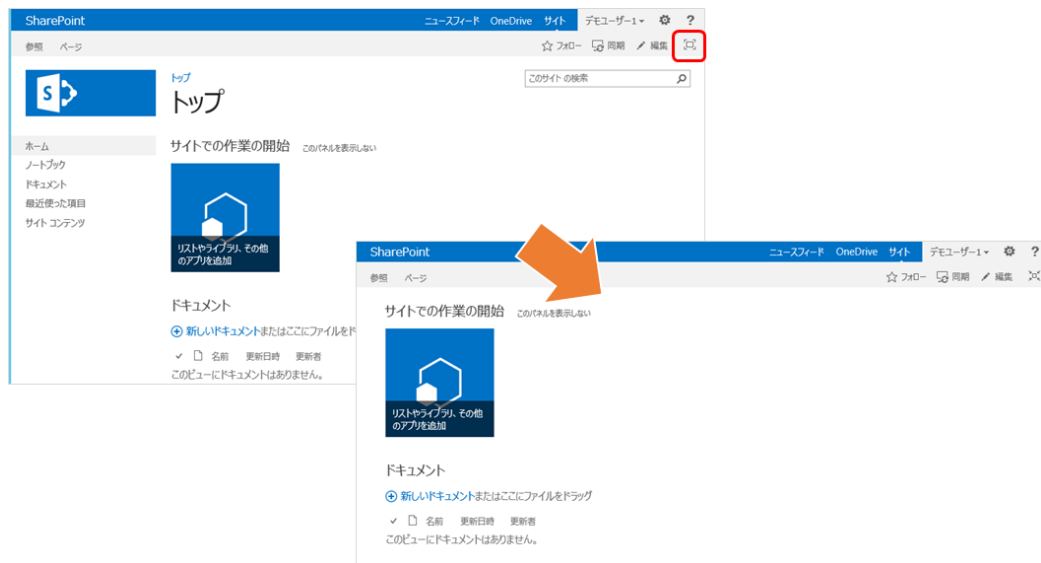
左サイドに縦に並べてリンクを表示できるエリアです。サイト内のコンテンツ（リスト・ライブラリ・ページなど）へのリンクを配置することが主な用途ですが、サイト管理者は任意に内容編集が行えます。

またサイトの管理者権限を持つユーザーには「リンクの編集」メニューが表示され、クリックすることで、設定画面にアクセスしなくても直接リンク内容の編集が行えるようになっています。



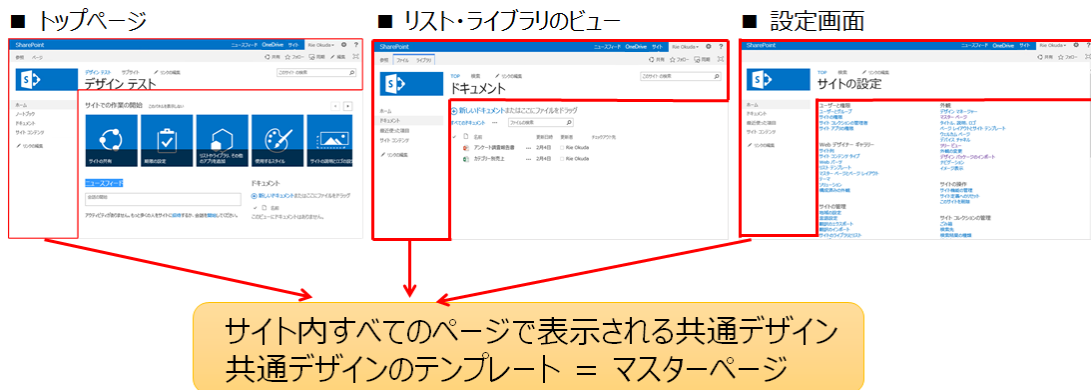
✓ コンテンツにフォーカス

クリックすることで、リボン領域とサイド リンク バーが非表示となり、コンテンツ エリア内の内容をより見やすく表示できます。再度クリックすると、もとの表示に戻ります。



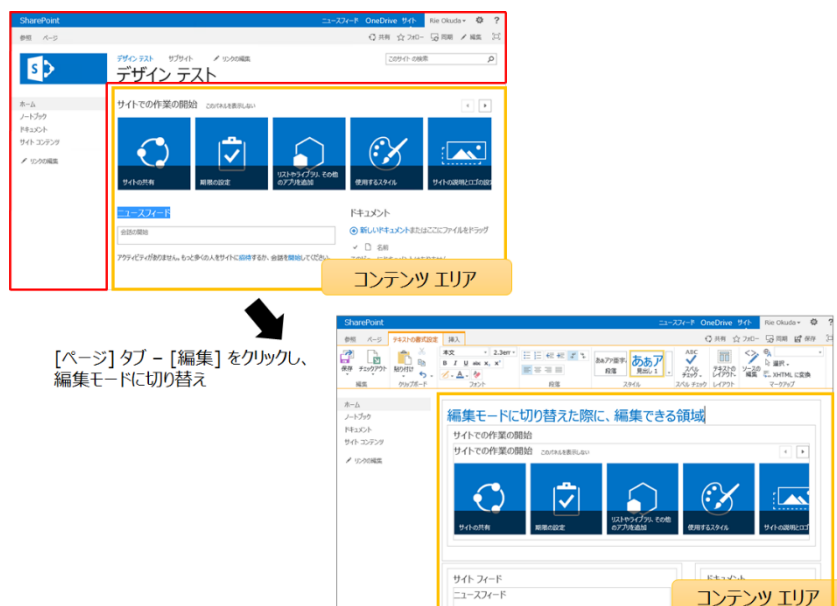
## 1.2 共通メニュー内容とマスター ページ

[1.1 SharePoint サイトの既定デザイン] で確認したように、サイト内の全ページには共通デザインとしてメニュー部分（上部のリボン等を含む領域と左部のサイド リンク バー領域など）が表示されます。



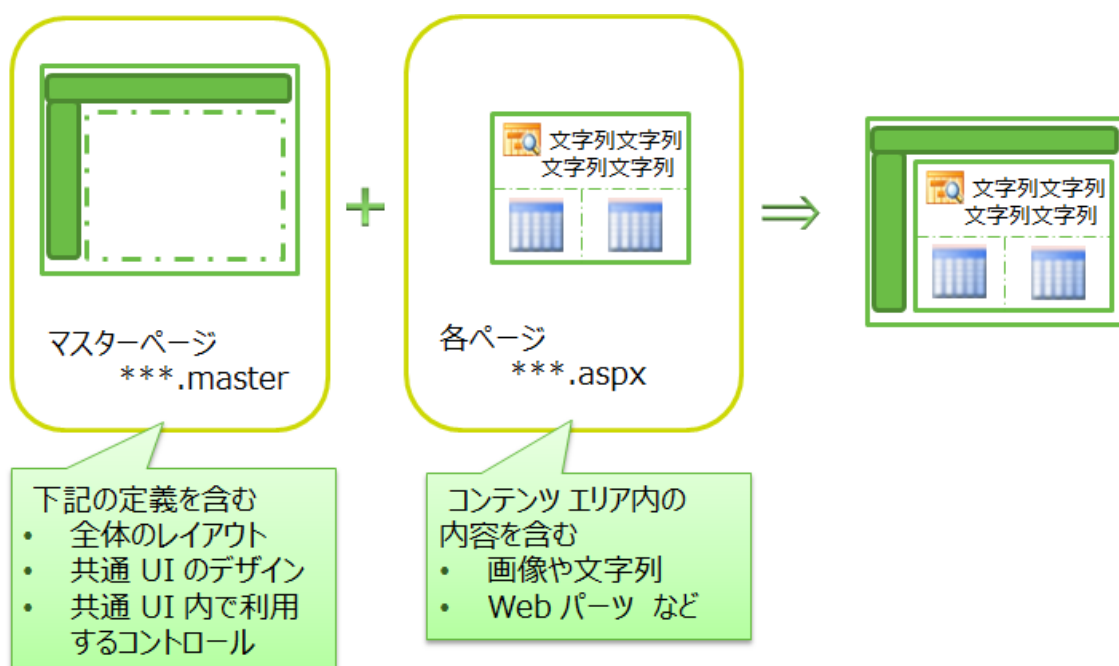
全ページで共通のデザインは各ページ ファイル (.aspx) 内にその内容 (HTML などのソースコード) が含まれているわけではなく、マスター ページというデザインのテンプレート内に定義されています。サイト内の全ページはマスター ページを参照することで共通デザインを表示しています。

また各ページで内容が異なるエリアを「コンテンツ エリア」といい、コンテンツ エリア内には Web パーツや HTML などの Web コンテンツを含められます ([ページの編集] メニューから、編集モードに切り替えて内容編集が行える領域がコンテンツ エリアです)。コンテンツ エリア内の内容は各ページの aspx ファイルに保存されます。



マスター ページは SharePoint のプラットフォームである ASP.NET の機能であり、複数ページで同じデザインを共有するためのしくみです。共通して表示したいデザインはマスター ページ (\*.master) に定義します。またマスター ページを参照して動作する Web ページをコンテンツ ページといいます。SharePoint サイトでは全ページが基本的にマスター ページを参照しているため、すべてのページはコンテンツ ページといえます。コンテンツ ページにアクセスすると、コンテンツ ページと参照しているマスター ページを合わせた結果が画面として表示されます。

次図のように SharePoint の各ページは、マスター ページ (\*.master) と各ページ (\*.aspx) が組み合わさり、ひとつのページが表示されるしくみとなっています。



## ● 標準のマスター ページ

SharePoint 2013 標準では seattle.master と oslo.master が搭載されており、既定のデザインは seattle.master です。

### seattle.master (既定)



### oslo.master



※ SharePoint 2013 では下位互換のために SharePoint 2010 モードのサイトをホストできる機能があります。SharePoint 2010 モードでデザインを表示するため v4.master (SharePoint 2010 のマスター ページ) も標準搭載されています。

➤ 参考 : TechNet「SharePoint 2013 でサイト コレクションのアップグレードを計画する」  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ff191199.aspx#SiteModes>

## ● マスター ページの変更方法

SharePoint サイトのデザイン テンプレートであるマスター ページは各サイトで発行機能をアクティブ化することにより設定変更が可能となります。既定のマスター ページである seattle.master から標準搭載の oslo.master や独自で作成したマスター ページへの変更を行うことで、サイト全体のデザインを変更できます。

### ■ マスター ページの設定変更手順

1. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。

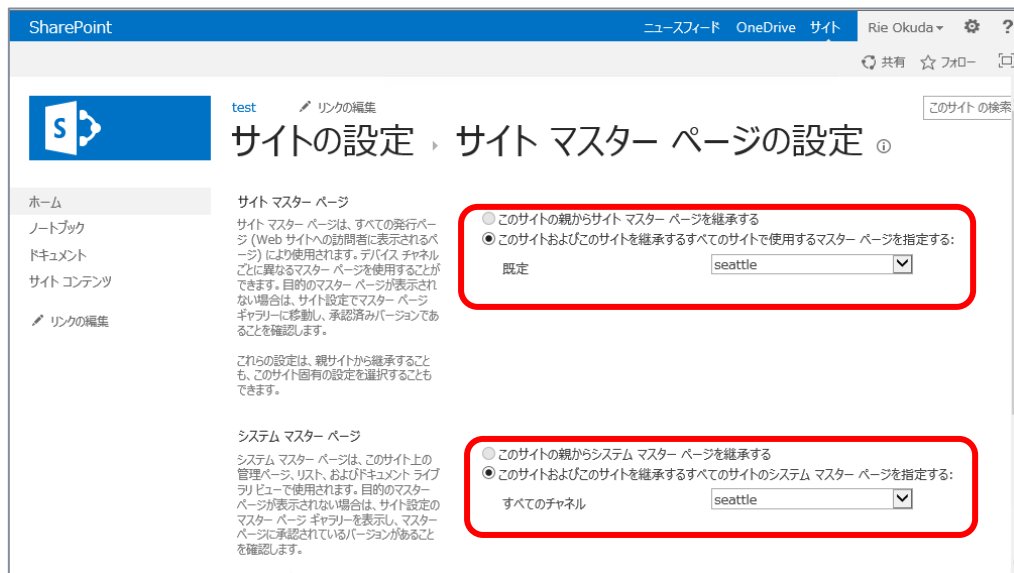


2. 外観カテゴリーの [マスター ページ] をクリックします。



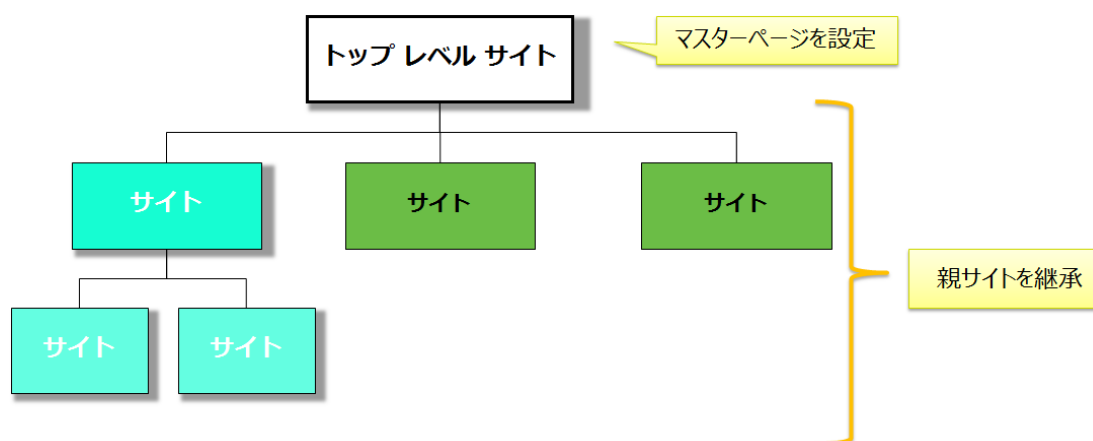
3. [サイト マスター ページの設定] で次の項目を設定変更できます。

設定項目	説明	標準の設定オプション
サイト マスター ページ	サイト内の発行ページが参照するマスター ページを指定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>親サイトの設定を継承</li> <li>seattle</li> <li>oslo</li> </ul>
システム マスター ページ	サイト内の管理ページ、リスト・ライブラリ ビュー（発行ページ以外のページ）が参照するマスター ページを指定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>親サイトの設定を継承</li> <li>seattle</li> <li>oslo</li> </ul>



マスター ページの設定はサイト マスター ページとシステム マスター ページの2つに分けられており、それぞれ違うマスター ページを指定することで、1つのサイト内に2パターンのデザインを混在させることも可能です。この設定はインターネット公開用のパブリック サイトなどにおいて、一般ユーザーに公開する発行ページに対してはカスタマイズしたデザインを採用する一方、管理者用の設定・コンテンツ投稿画面では標準的なデザインのままとするなどの用途で活用できます。一般的な社内ポータル サイトやチーム サイトでは1つのサイト内で複数デザインを持たせることは一貫性を欠いてしまいユーザー操作に混乱をきたすことも想定されるため、明確な理由がない限りはサイト マスター ページとシステム マスター ページは同じ設定を基本とする（同じマスター ページを選択する）ことをおすすめします。

またサブ サイトでは、[このサイトの親からマスター ページを継承する] オプションを利用することで親サイトと同じデザインを適用できます。サイト コレクション内の全サイトで同じデザインを適用する際には、次図のようにトップ レベル サイトは適切なマスター ページを選択し、サブ サイトは親サイトを継承する設定が便利です。このような構成とすることで、サイト コレクション内の全サイトでマスター ページを変更したい場合には、トップ レベル サイトでマスター ページを設定変更するだけで済み、各サブ サイトで同じ設定を繰り返す必要がなくなります。



## ● 【参考】 マスター ページの設定メニューと発行機能

前述のとおりサイトの設定画面の [マスター ページ] メニューを利用してマスター ページを設定変更するためには発行機能が必要です。[マスター ページ] メニューはサイト機能である発行機能がアクティブ化されていないサイトでは表示されず、ブラウザ上では設定変更が行えません。他のマスター ページを利用するように設定変更を行いたい際は、まず発行機能のアクティブ化を行う必要があります。



※ 上画面は [発行機能] がアクティブ化されていないサイトの設定画面です。

## ■ 発行機能をアクティブ化するための手順

各サイトにて発行機能をアクティブ化するためには、そのサイト コレクション設定で発行インフラストラクチャがアクティブ化されていることが前提となります。

### ➤ サイト コレクションの [発行インフラストラクチャ] をアクティブ化

1. サイト コレクションのトップ レベル サイトで、[設定] - [サイトの設定] をクリックし、サイトの設定画面を開きます。

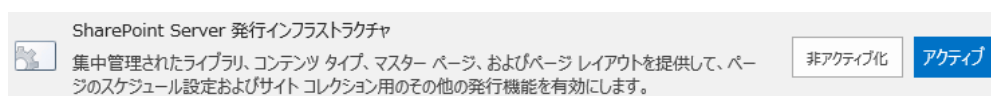


2. [サイト コレクションの管理] セクション内の [サイト コレクションの機能] をクリックします。

サイト コレクションの管理

- ごみ箱
- 検索先
- 検索結果の種類
- 検索クエリ ルール
- 検索スキーマ
- 検索の設定
- 検索の構成のインポート
- 検索の構成のエクスポート
- サイト コレクションの機能**
- サイト階層
- サイト コレクションの監査設定
- 監査ログ レポート
- ポータル サイト接続
- コンテンツ タイプ ポリシーのテンプレート
- サイト コレクションのアプリの権限
- 記憶域メトリクス

3. [SharePoint Server 発行インフラストラクチャ] をアクティブ化します。

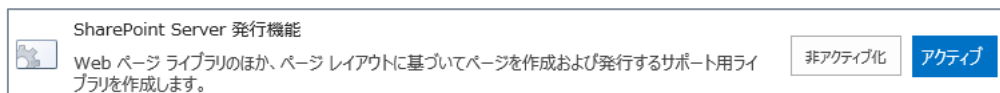


➤ 各サイトの [発行機能] をアクティブ化する

1. 各サイトで [設定] – [サイトの設定] をクリックし、サイトの設定画面を開きます。
2. [サイトの操作] セクション内の [サイト機能の管理] をクリックします。

サイトの操作  
**サイト機能の管理**  
検索の構成のエクスポートを有効にする  
サイト定義へのリセット  
このサイトを削除

3. [SharePoint Server 発行機能] をアクティブ化します。



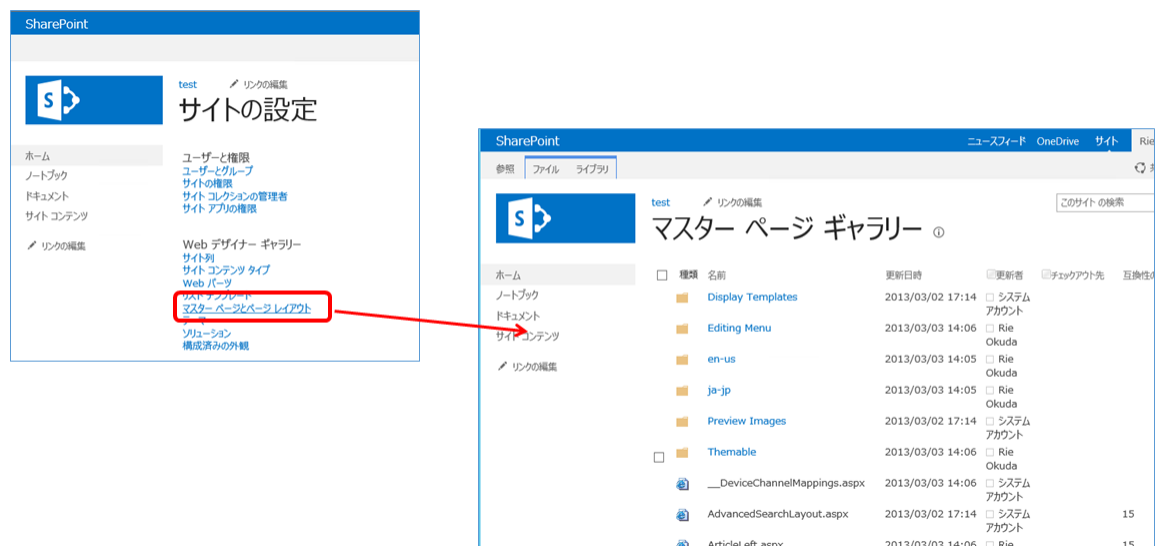
## ● マスター ページ ギャラリー

マスター ページは各サイト単位で設定が行えます。設定を行う際に選択できる各マスター ページ ファイル (\*.master) の格納場所はマスター ページ ギャラリーです。マスター ページ ギャラリーは各サイト コレクションごとに 1 つずつあるため、独自マスター ページを作成し、それを複数のサイト コレクション内サイトで利用したい場合には各サイト コレクションごとに展開する必要があります。

### ➤ マスター ページ ギャラリーの場所

[http://トップ レベル サイトの URL/\\_catalogs/masterpage/](http://トップ レベル サイトの URL/_catalogs/masterpage/)

トップ レベル サイトにて、サイトの設定画面 - [マスター ページとページレイアウト] からアクセス可能



標準で搭載するマスター ページである seattle.master や oslo.master もマスター ページ ギャラリーにファイルが保存されています。マスター ページ ギャラリーに保存した \*.master ファイルは、各サイトのマスター ページ設定画面で選択肢一覧として表示され、選択が行えるようになります。



またマスター ページ ギャラリーのベースはライブラリです。ライブラリのバージョン管理機能を利用することでデザイン テンプレートであるマスター ページの管理を行うしくみとなっています。既定でマイナー/メジャー バージョン管理が有効になっており、メジャーバージョンに発行するまではそのマスター ページは一般ユーザーからは利用できません。

## 2. ブラウザーでの設定で行えるデザイン変更

前章では SharePoint サイト デザインのしくみとして、デザイン テンプレートであるマスター ページについて解説しました。この章ではブラウザーでの設定ベースで行えるデザイン変更方法について解説します。

SharePoint 2013 ではデザイン変更を行うための設定が2つあります。これらの設定について手順とその内容を解説します。

- ロゴの変更
- 外観の変更

### 2.1 ロゴの変更

サイトの左上に表示されるロゴ画像は各サイトごとに設定変更が可能です。ロゴの変更は SharePoint 2010 でも同様に行えましたが、SharePoint 2013 ではロゴ画像を選択する際に、一度ライブラリに保存する作業を行わなくても、設定画面からロゴ画像の保存も同時に行えるようになっています。



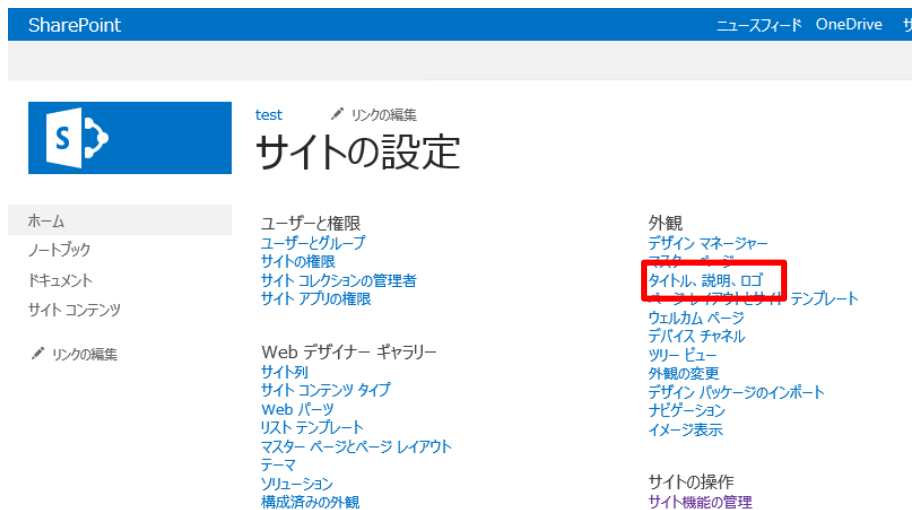
1. ロゴ画像として表示したい画像ファイルを用意します。

SharePoint の機能により、ロゴ画像の領域に合うようにリサイズして表示されますが、既定のロゴ画像のサイズは 180 × 64 ピクセルですのでこのサイズを参考に用意することをおすすめします。

2. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



3. 外観カテゴリーの [タイトル、説明、ロゴ] をクリックします。



4. [ロゴの挿入] の下にある [コンピューターから] をクリックします。

## サイトの設定 ▶ タイトル、説明、ロゴ


**タイトルと説明**  
サイトのタイトルと説明を入力します。

タイトル:

説明:

**ロゴと説明**  
ロゴをこのサイトに関連付けます。必要に応じてイメージの説明を入力します。注意: ファイルがローカルの相対アドレス (例: /\_layouts/images/logo.gif) にある場合は、各フロントエンド Web サーバーの同じアドレスにイメージ ファイルをコピーする必要があります。

ロゴの挿入:  
**コンピューターから** SHAREPOINT から



説明の入力 (画像の代替テキストとして使用されます):

5. [ドキュメントの追加] ダイアログが表示されます。  
[参照] をクリックし、ローカルにあるロゴ画像を選択し、[OK] をクリックします。



6. 指定した画像がロゴとして設定されます。

指定した画像は [サイトのリソース ファイル] ライブラリに保存され、ロゴの URL は自動で挿入されます。また設定画面にて、サイトのロゴがプレビューされるため結果の確認も以前のバージョンよりも行いやすくなっています。



7. [OK] をクリックします。  
8. サイトのロゴが変更されます。



## 2.2 外観の変更

---

[外観の変更] はサイトのテーマを設定するためのメニューで、テーマはサイトのデザインをブラウザーベースで設定変更するための機能です。以前のバージョンにもテーマ機能は搭載されていましたが、機能が大幅に進化し、SharePoint 2013 ではテーマにより、ブラウザー設定ベースで以前のバージョンよりも柔軟なデザイン変更が行えるようになっています。

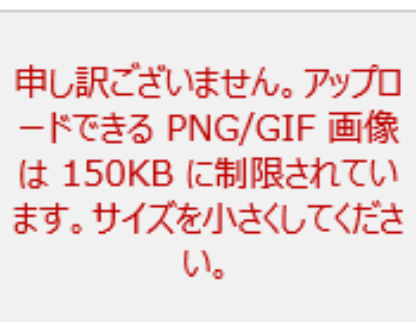
SharePoint 2010 のテーマ機能では、サイトの色合い（リボンやサイド リンク バーなど共通デザイン部分の色合い、既定のフォント色）が変更可能でしたが、SharePoint 2013 では 22 種類のベース デザイン（テーマ）から任意の表示項目内容を選択しさらに下記のデザイン変更が行えます。

- 任意の背景画像を指定
- 色合いの選択
- サイトのレイアウト（マスター ページ）の選択
- フォントの種類選択

サイトの色合いや背景を組織や会社のブランド カラーに合わせて、ブラウザーベースの簡単な設定により手軽に変更が可能な便利な機能として活用いただけます。

### 1. 背景画像として利用する画像を用意します。

PNG もしくは GIF 画像で、サイズは 150 KB 以内のものを用意します。形式が違う場合やサイズをオーバーしている場合、エラーとなり設定が行えません。



- [参考] Office.com 画像検索（サンプル 画像のダウンロードができるサイトです）。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/images/?CTT=97>

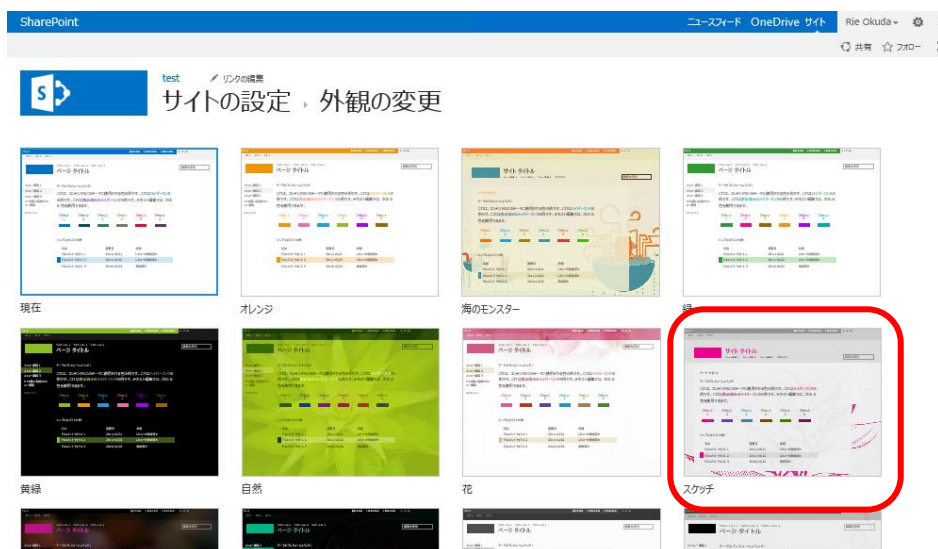
2. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



3. 外観カテゴリーの [外観の変更] をクリックします。



4. 外観の変更画面が開き 22 種類のベース デザインが表示されます。任意のデザインをクリックして選択します。(この手順書では [スケッチ] を選択します。)



5. 選択したデザインをベースに、下記を設定変更する画面が表示されます。

- 背景画像
- 色
- サイトのレイアウト
- フォント



6. 背景をカスタマイズします。

ここで選択した [スケッチ] デザインは背景画像が既定で設定されており、コンテンツ エリアの背景として利用されていることが画面右側のプレビュー画面で確認できます。

選択したベース デザインによって背景画像が適用される箇所は異なります。

設定変更メニューの画像をアップロードする箇所へ、ローカルからドラッグ アンド ドロップで画像を指定します。



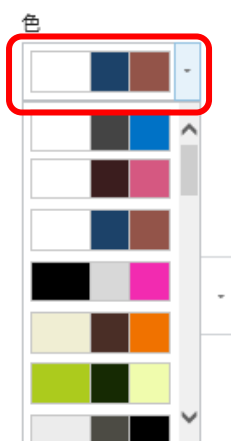
7. 右側のプレビューで、指定した画像が背景として表示されていることが確認できます。



8. 続いて、色をカスタマイズします。

ベース デザインとして指定した [スケッチ] デザインではピンクと黒をベースとした色合いが既定で設定されています。任意の色合いに変更します。

リボンの背景色や、コンテンツ エリアの背景色、また文字の既定の色などを、一覧から色合いを選択することで設定変更できます。



9. 右側のプレビューで、選択した色が適用されたデザインを確認できます。



10. 続いて、サイトのレイアウトについて確認します。

サイトのレイアウトではマスター ページを選択できるようになっており、標準搭載のマスター ページである seattle もしくは oslo が選択できます。特徴として、seattle を選択するとサイド リンク バー領域が表示され、oslo を選択した場合はサイド リンク バー領域が非表示となりコンテンツ エリアが中央固定となる点があげられます（1 章で解説）。

ベース デザインとして指定した [スケッチ] デザインでは [oslo] が選択されています。ここではそのまま変更せずに oslo を利用します。

The screenshot displays the 'test' user interface for 'サイトの設定 外観の変更' (Site Settings - Appearance). On the left sidebar, the 'サイトのレイアウト' (Site Layout) dropdown menu is highlighted with a red rectangle and currently shows 'Oslo'. Below it, the 'フォント' (Font) section shows 'Meiryo UI' selected. The main preview area on the right shows a site template with a dark header and a sidebar. The header contains the 'サイト タイトル' (Site Title) and a search bar. The sidebar contains a 'ページ タイトル' (Page Title) and a list of 'メニュー項目' (Menu Items). The main content area displays a 'ページ タイトル' (Page Title) and a list of 'メニュー項目' (Menu Items). The preview area also shows a list of 'アクセント' (Accent) colors and a table of 'シンプルリストの例' (Simple List Examples).

名前	変更日	状態
ドキュメント タイトル 1	2011/10/21	レビューの承認待ち
ドキュメント タイトル 2	2011/10/22	レビューの承認待ち
ドキュメント タイトル 3	2010/10/22	承認済み

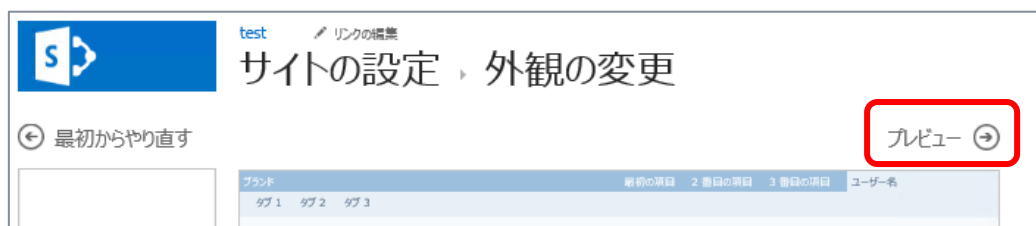
11. 続いて、フォントの設定変更について確認します。

フォントは 2 種類から (Meiryo UI とメイリオ) から選択できるようになっています。メイリオを選択したほうが、文字の表示イメージは大き目に感じられます。

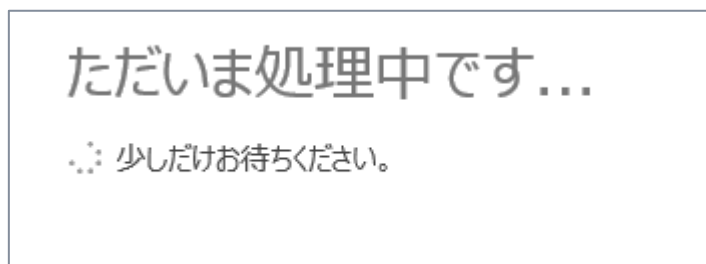
ベース デザインとして指定した [スケッチ] デザインでは [Meiryo UI] が選択されています。ここではそのまま変更せずに Meiryo UI を利用します。



12. ここまでの手順でベースデザインの選択 → 背景画像、色、サイトのレイアウト、フォント指定を行いました。設定によるデザイン編集が完成したら [プレビュー] をクリックします。



13. 処理が終了するまで待ちます。



14. 次図のように、設定したテーマ内容をサイトのトップページに適用したプレビューが表示されます。実際のコンテンツと合わせてプレビューが可能です。

内容を確認し、[はい、確定します] をクリックします。



15. サイトのデザインが変更されたことが確認できます。

手順と同様の操作を行っていただいた場合は、既定のデザインから下記変更を確認いただけます。



- サイドリンク バーの非表示
- 上部のメニュー バーやリボン領域の背景色変更
- コンテンツ エリアの中央固定表示
- コンテンツ エリアの背景画像
- フォント色の変更

### 3. HTML エディターを利用したマスター ページの編集

---

SharePoint サイトのデザインはマスター ページがスタイルを参照することにより構成されています。SharePoint 2013 ではテーマの機能が拡張され、背景画像の指定や色合いの調整等の個別のデザイン変更作業を、ブラウザ ベースの設定で簡単に、また柔軟に行えるようになりました。また以前のバージョンと同様にテーマで設定変更できる内容以上のデザイン カスタマイズを行う際には、マスター ページの作成またはカスタマイズが必要です。

SharePoint 2013 では [デザイン マネージャー] という新機能により HTML を SharePoint のデザインであるマスター ページ (\*.master) に変換する機能が追加されました。HTML ファイルをマスター ページに変換できることから、サイトのデザイン編集を行う際にどのような Web デザイナー ツールでも利用いただけます。(SharePoint 2013 ではサイトのデザイン編集に必ずしも SharePoint Designer を使う必要はありません。引き続き SharePoint Designer 2013 でページ レイアウトやマスター ページの編集は行えますが、プレビュー表示機能は削除されており、今後は本自習書で紹介する Dreamweaver のように、一般的な Web 編集ツールでの Web デザインが主流となります。) またこの機能により Web デザイナーと Web 開発者とを分離できるメリットがあります。Web デザイナーは HTML ファイルをマスター ページに変換する際に SharePoint によって挿入されたコメント (SharePoint コントロール等をマスター ページ内に挿入するためのタグをコメントとして挿入されます) を削除しなければ、その後のデザイン保守や変更も HTML ファイルを編集することにより行えるようになります。

この章では Web 編集ツールとして Dreamweaver を利用し SharePoint サイトのデザイン編集を行うための方法やその手順を解説します。手順では Dreamweaver を利用しますが、前述の通り HTML 編集が行えるどの Web 編集ツールでも同様のことを行っていただけます。

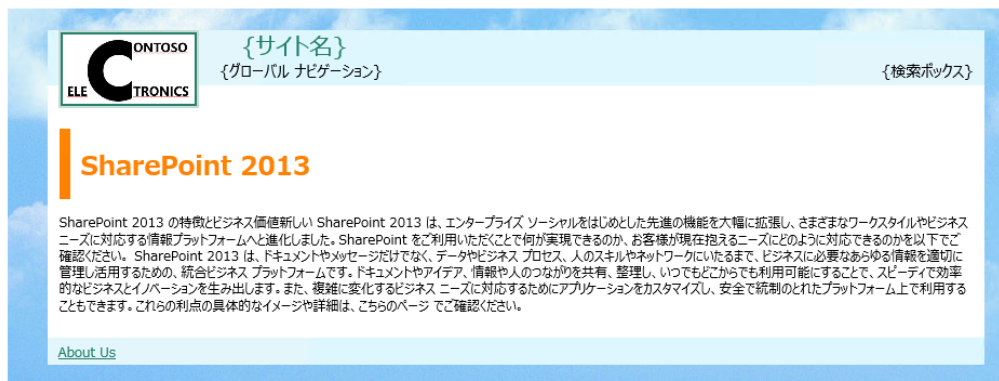
HTML エディターを利用したマスター ページの編集を行う際のステップは次のとおりです。

- ① **HTML デザインの用意**
- ② **マスター ページ ギャラリーをネットワーク ドライブとして設定**
- ③ **マスター ページ ギャラリーに HTML ファイルをアップロード**
- ④ **HTML ファイルをマスター ページに変換**
- ⑤ **SharePoint デザインに必要な内容の追加**
- ⑥ **マスター ページとして設定**

### 3.1 HTML デザインの用意

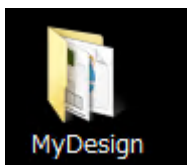
サイトのデザインのベースとなる HTML ファイルを用意します。任意に用意いただいた HTML ファイル (CSS ファイル、画像ファイル等のリソース ファイルを含む) を利用してください。

この自習書では次のような HTML デザインを利用します。同じデザインを利用して手順を試されたい場合には HTML ファイルを用意する事前準備として下記手順を行ってください (任意に用意いただいた HTML ファイルを利用される際には 3.1 の手順は必要ありません)。



#### ■ フォルダーの作成

1. デスクトップに新しいフォルダーを作成し、フォルダー名を「MyDesign」とします。



## ■ リソース画像ファイルの用意

1. 背景画像を用意します。  
Office.com 画像検索 <http://office.microsoft.com/ja-jp/images/?CTT=97> にアクセスします。
2. 「雲」で検索し下記画像を探す、もしくは「MP900400017」で検索し次の画像をダウンロードします（任意の画像でもかまいません）。



3. ダウンロードした画像ファイルを、事前に作成した [MyDesign] フォルダー内に保存し、ファイル名を「**Cloud.jpg**」とリネームします。
4. 下記画像を、右クリック - [図として保存] します。ファイル名は「**Logo.jpg**」としてください。また Logo.jpg ファイルは [MyDesign] フォルダーに保存します。  
(下記ロゴ画像はなくても、これ以降の手順で問題はありません。また任意の画像を利用いただいてもかまいません)。



## ■ CSS ファイルの作成

1. 任意のテキスト エディターで、下記ソース コードをコピーします。

```
/* 全体のフォントスタイルを指定 */

body {
    font-family:Meiryo UI; /* 全体のフォントスタイルを指定 */
    font-size:12px;}

/* ロゴ画像を表示する div タグに適用するスタイル マージン(左)、枠線*/

.logo {
    float:left;
    margin-left: 10px;
    border-style:solid;
    border-width:2px;
    border-color:#c4ddd6;}

/* 検索ボックスを表示する div タグに適用するスタイル マージン、フォントサイズ、余白(右)*/

.search-box {
    float:right;
    margin: 10 px;
    padding-right:10px;
    font-size:14px;}

/* サイト名を表示する div タグに適用するスタイル 余白(左、上)、マージン(右)、フォント色・サイズ*/

.site-description {
    padding-left:180px;
    margin-right:10px;
    padding-top:0px;
    color:#248166;
    font-size:22px; }

/* コンテンツ内容の背景となる div タグに適用するスタイル 横幅、マージン、余白、背景画像*/

#site_content{
    width: 867px;
    overflow: hidden;
```

```

        margin: 0 auto 0 auto;
        padding: 20px 24px 20px 37px;
        background:url(Cloud.JPG); }

/* グローバル ナビゲーションを表示する div タグに適用するスタイル 余白(左、下)、フォントサイズ
*/

#nav{
    padding-left:160px;
    padding-bottom:5px;
    font-size:14px;}

/* コンテンツ内容の div タグに適用するスタイル 背景色、余白 */

#main{
    background:#FFFFFF;
    padding:10px;}

/* タイトルエリア(サイト名やグローバル ナビゲーションを含むエリア) div タグに適用するスタイル
    マージン(左、右)、横幅、縦幅、背景色 */

.titleArea{
    margin-left: auto;
    margin-right: auto;
    display: block;
    width:867px;
    height:auto;
    background-color:#DEF7FE;}

/* フッターエリア div タグに適用するスタイル 余白 */

.footer{
    float:left;
    padding:5px 0px 5px 0px;}

/* ハイパーリンクに適用するスタイル アウトラインなし、下線、文字色 */

a, a:hover{
    outline: none;
    text-decoration: underline;
    color: #248166;}

```

```
/* ハイパーリンクホバー時に適用するスタイル 下線なし */  
  
a:hover{  
    text-decoration: none;}  
}
```

2. [MyDesign] フォルダー内に「**mycss.css**」として保存します。

## ■ HTML ファイルの作成

1. 任意のテキスト エディターで、下記ソース コードをコピーします。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
    "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">

<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">

    <head>

<meta content="text/html; charset=utf-8" http-equiv="Content-Type" />

        <title>Contoso Home</title>

        <link rel="stylesheet" type="text/css" href="mycss.css" />

        <script
src="http://ajax.microsoft.com/ajax/jquery/jquery-1.7.1.js"
type="text/javascript"></script>

    </head>

    <body>

        <div id="s4-workspace">

            <div id="s4-bodyContainer" >

                <div id="site_content">

                    <div class="titleArea">

                        <div class="logo">

                            <a href="http://sv01/">

                            </a>

                        </div>

                        <div class="site-description">{サイト名}</div>

                        <div class="search-box">{検索ボックス}</div>
```

```

        <div id="nav">{グローバル ナビゲーション}</div>
    </div> <!--end titlearea-->

    <div id="main">
<table style="border:0px;border-collapse:collapse;width:100%">
    <tr>
        <td style="height:16px"></td>
    </tr>
    <tr>
        <td style="vertical-align:top;height:15px">
<table style="border:0px;border-collapse:collapse;width:100%">
    <tr>
        <td style="width:8px;height:21px;background:#FF8400">
        </td>
        <td style="height:21px;padding-left:10px">
<b><font color="#FF8400">
            <h1> SharePoint 2013</h1></font></b></td>
        </tr>
    </table>
    </td>
    </tr>
    <tr>
        <td style="vertical-align:top">
        <p>
            SharePoint 2013 の特徴とビジネス価値新しい SharePoint 2013
            は、エンタープライズ ソーシャルをはじめとした先進の機能を大幅に拡張し、さまざま

```

なワークスタイルやビジネス ニーズに対応する情報プラットフォームへと進化しました。SharePoint をご利用いただくことで何が実現できるのか、お客様が現在抱えるニーズにどのように対応できるのかを以下でご確認ください。

SharePoint 2013 は、ドキュメントやメッセージだけでなく、データやビジネス プロセス、人のスキルやネットワークにいたるまで、ビジネスに必要なあらゆる情報を適切に管理し活用するための、統合ビジネス プラットフォームです。ドキュメントやアイデア、情報や人のつながりを共有、整理し、いつでもどこからでも利用可能にすることで、スピーディで効率的なビジネスとイノベーションを生み出します。また、複雑に変化するビジネス ニーズに対応するためにアプリケーションをカスタマイズし、安全で統制のとれたプラットフォーム上で利用することもできます。これらの利点の具体的なイメージや詳細は、こちらのページ でご確認ください。

```
</td>

</tr>

</table>

</div> <!--end main-->

<div class="titleArea footer">

    <div style="padding-left:10px">

        <a href="http://sv01">About Us</a>

    </div>

</div>

</div> <!--end site content-->

</div><!--end s4-bodyContainer-->

</div><!--end s4-workspace-->

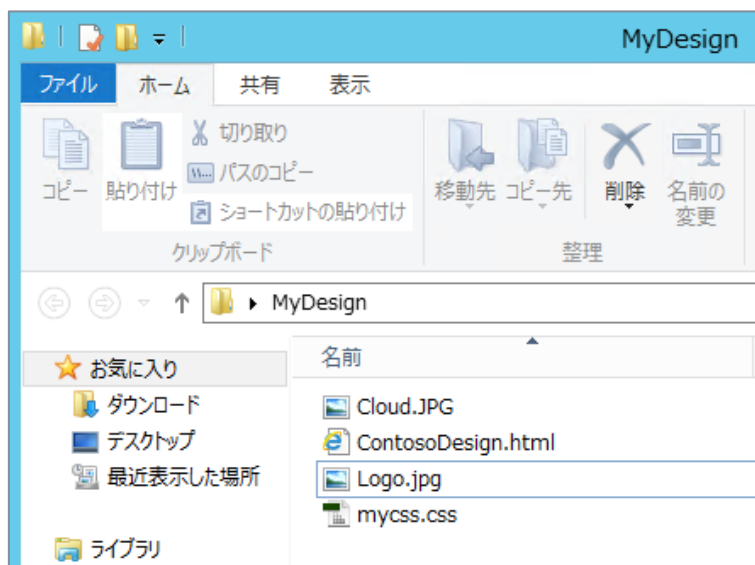
</body>

</html>
```

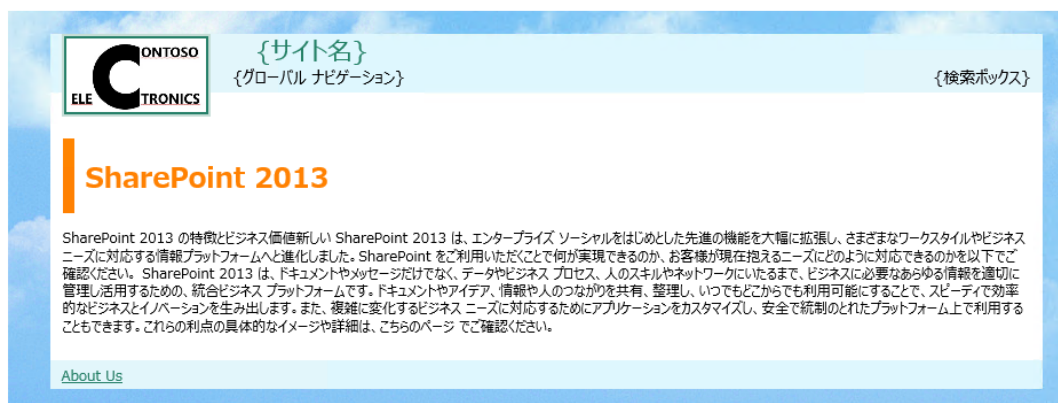
2. [MyDesign] フォルダー内に「ContosoDesign.html」として保存します。

## ■ 内容の確認

1. ここまでの手順で [MyDesign] フォルダの内容は次図のようになります。



2. ContosoDesign.html をダブル クリックしてブラウザーで開き、次図のように表示されることを確認します。



### 3.2 マスター ページ ギャラリーをネットワーク ドライブとして設定

マスター ページ ギャラリーはサイト コレクションに 1 つずつ用意されるマスター ページの展開場所です。HTML をマスター ページに変換する際には、まず用意した HTML (CSS、js ファイル、画像ファイルを含む) ファイルをマスター ページ ギャラリーにアップロードしてから変換を行います。また HTML からマスター ページへ変換した後も、ベースの HTML ファイルと変換機能により作成したマスター ページ ファイル (\*.master) とは同期されるため、デザイン編集は HTML ファイルを編集することにより行えます。

マスター ページ ギャラリーへのファイル アップロードやマスター ページ ギャラリー内の HTML ファイルを Web 編集ツールで開く作業を行いやすくするために、マスター ページ ギャラリーはネットワーク ドライブとして設定しておくことがおすすめです。

ここではマスター ページ ギャラリーをデザイン編集環境のネットワーク ドライブとして登録するための手順を確認します。

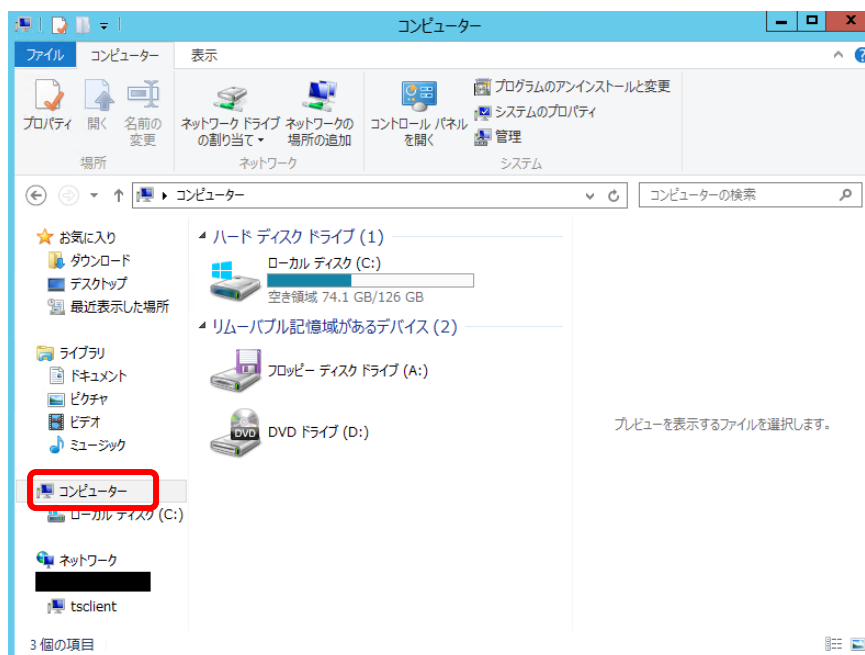
1. トップ レベル サイトで [設定] - [デザイン マネージャー] をクリックします。



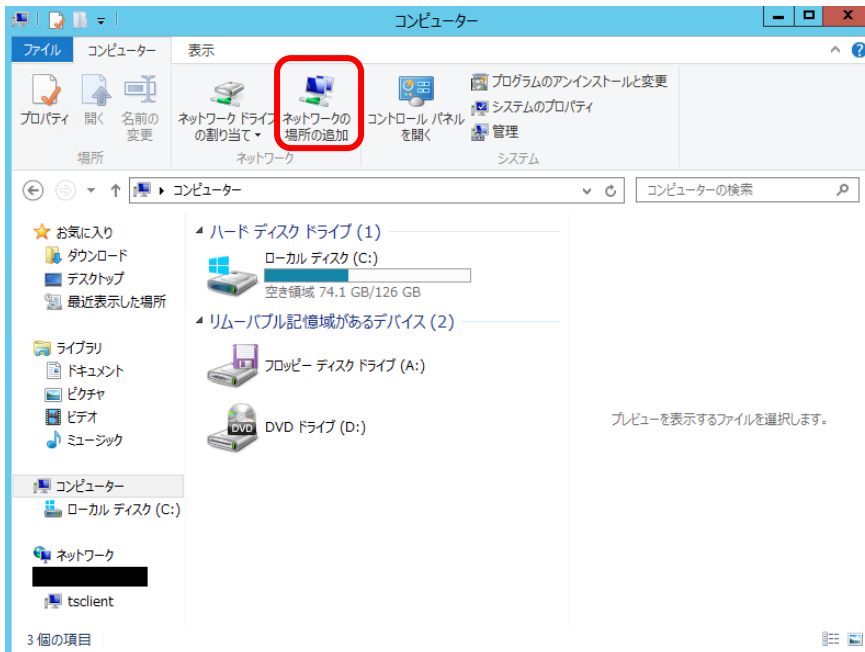
2. デザイン マネージャーが開きます。  
サイド リnk バーから [3. デザイン ファイルのアップロード] をクリックし、表示される URL (マスター ページ ギャラリーの URL) をコピーします。



3. ネットワーク ドライブの設定を行う環境 (マスター ページのデザインを行う環境) で、Windows エクスプローラーを開きます。  
[コンピューター] を開きます。



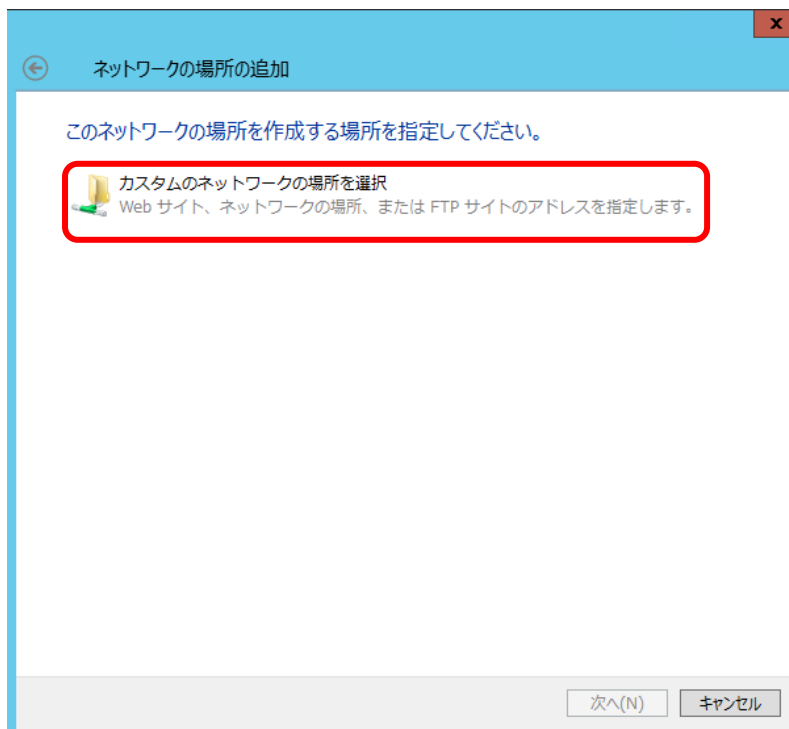
4. [コンピューター] タブの [ネットワークの場所の追加] をクリックします。



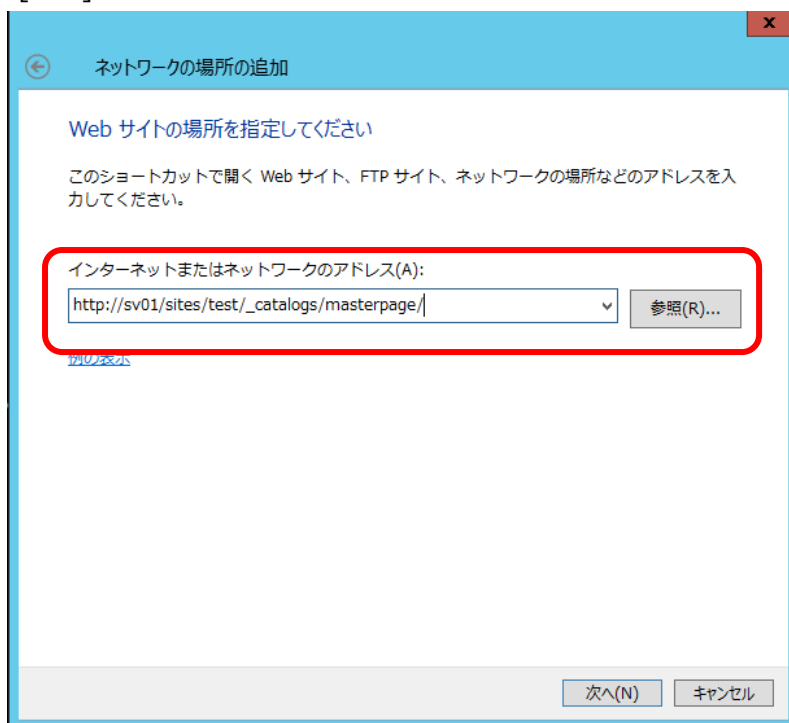
5. [ネットワークの場所の追加] ダイアログ ボックスが表示されます。  
[次へ] をクリックします。



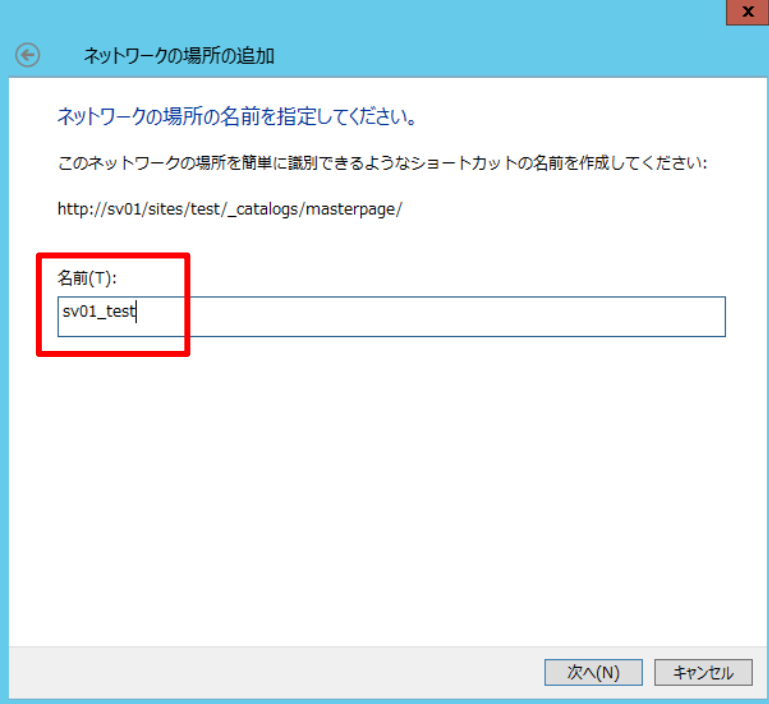
6. [カスタムのネットワークの場所を選択] をクリックします。



7. コピーしておいたマスター ページ ギャラリーの URL をコピーします。  
[次へ] をクリックします。



8. ショートカットの名前を編集し、[次へ] をクリックします。



ネットワークの場所の追加

ネットワークの場所の名前を指定してください。

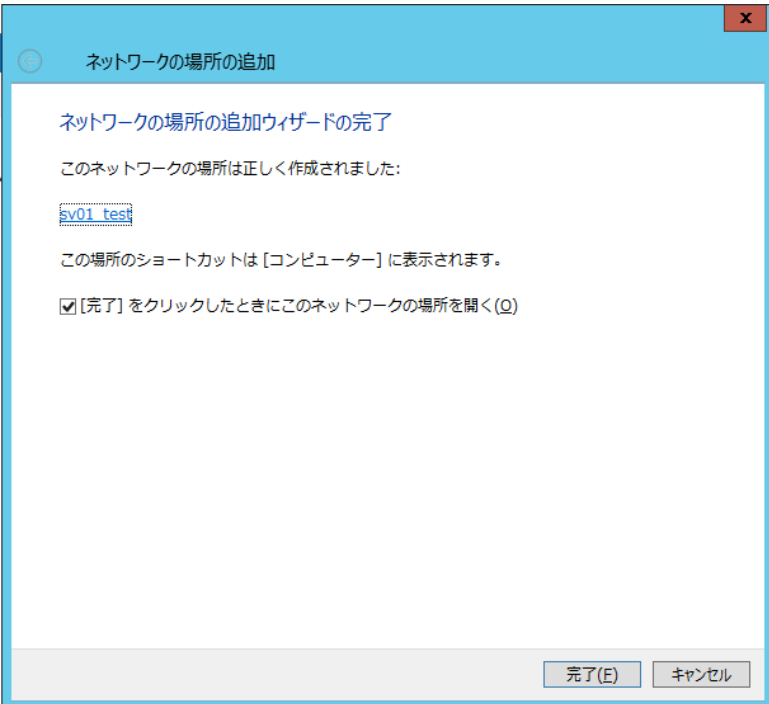
このネットワークの場所を簡単に識別できるようなショートカットの名前を作成してください:

http://sv01/sites/test/\_catalogs/masterpage/

名前(T):  
sv01\_test

次へ(N) キャンセル

9. [完了] をクリックします。



ネットワークの場所の追加

ネットワークの場所の追加ウィザードの完了

このネットワークの場所は正しく作成されました:

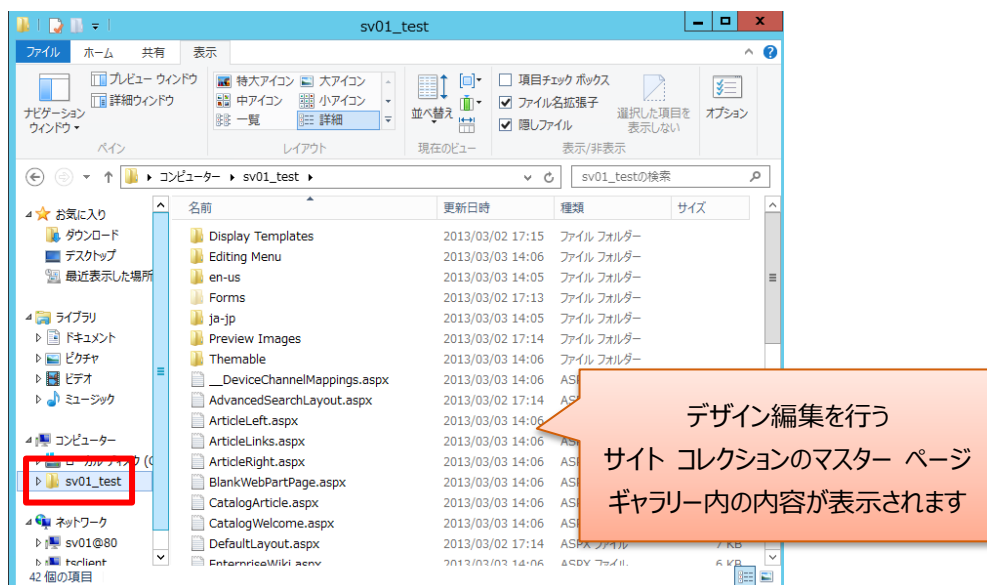
sv01\_test

この場所のショートカットは [コンピューター] に表示されます。

☒ [完了] をクリックしたときにこのネットワークの場所を開く(O)

完了(E) キャンセル

10. デザイン編集を行う環境で、マスター ページ ギャラリーに対してネットワーク ドライブの設定を行いました。Windows エクスプローラーを利用したファイルのアップロードや 各種 HTML 編集ツールからの編集作業を行いやすくなるためです。



※ ここでの手順は Windows 8 をベースとしています。それ以外の Windows OS の場合には操作に若干違いがあります。ご利用の Windows OS のバージョンに合わせてネットワーク ドライブの割り当てを行ってください。

- [参考] MSDN SharePoint 2013 マスター ページ ギャラリーへのネットワーク ドライブの割り当て

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/jj733519.aspx>

### 3.3 マスター ページ ギャラリーに HTML ファイルをアップロード

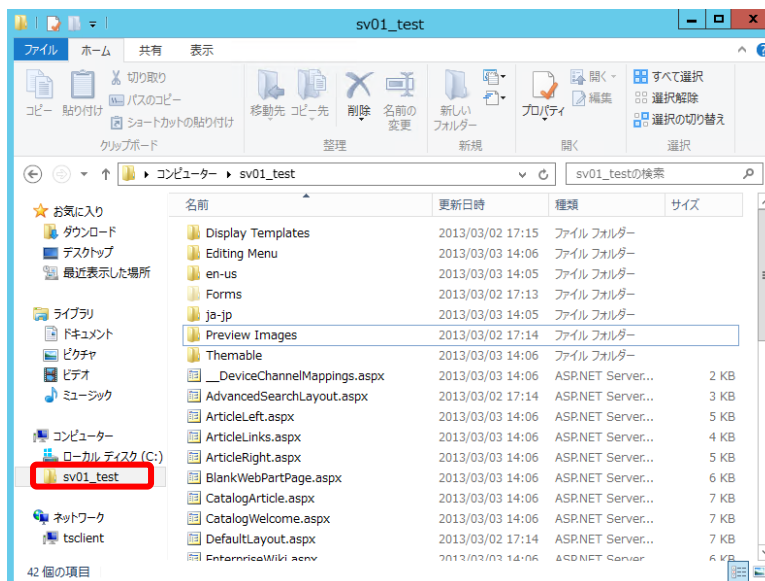
マスター ページ ギャラリーにあらかじめ用意したデザインである HTML ファイルをアップロードします。HTML ファイルから参照するリソース ファイル (CSS ファイルや js ファイル、画像リソース ファイルなど) がある場合は HTML ファイルと同様にアップロードします。

またアップロード作業は、3.2 で作成したネットワーク ドライブを利用して行いますが、ブラウザでマスター ページ ギャラリーを開いてアップロードすることももちろん可能です。

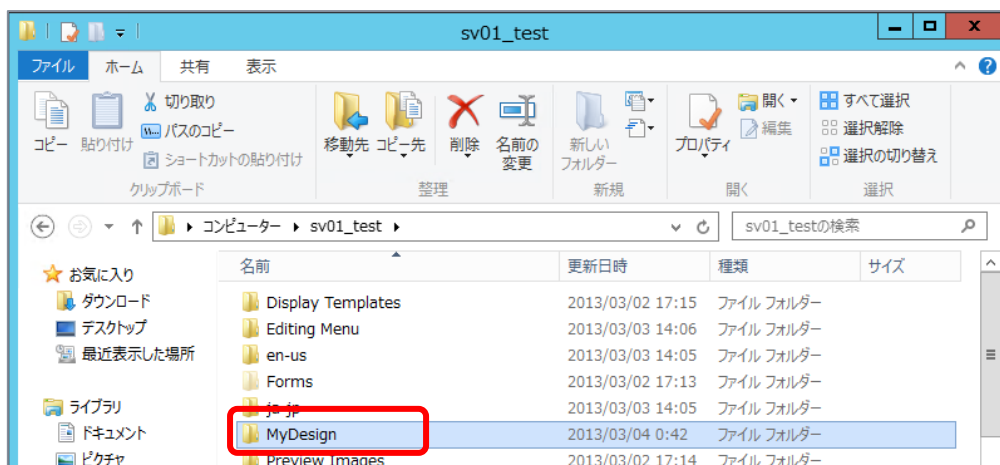
#### ⑦ 手順は [⑥

HTML デザインの用意] により作成した HTML ファイルをマスター ページ ギャラリーにアップロードしていますが、任意の HTML ファイルを利用する場合はそれらのファイルをマスター ページ ギャラリーにアップロードしてください。

1. Windows エクスプローラーで、前の手順で用意したショートカットよりマスター ページ ギャラリーを開きます。



- ローカルから Windows エクスプローラー上へドラッグ アンド ドロップ操作で、MyDesign フォルダごとマスター ページ ギャラリーにアップロードします。

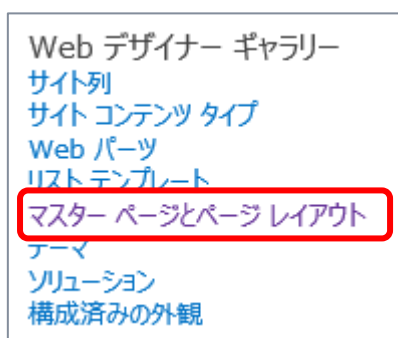


- ブラウザーでマスター ページ ギャラリーを開き、Windows エクスプローラーでアップロードしたファイルを確認します。

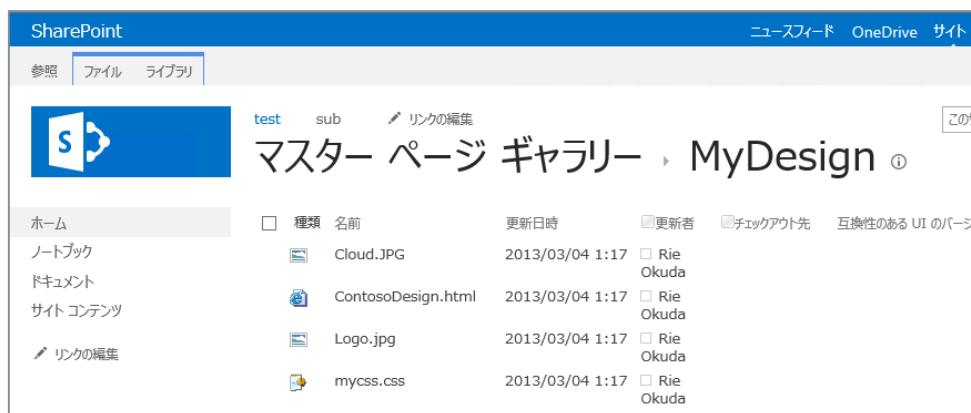
ブラウザーでサイトを開き、[設定] – [サイトの設定] をクリックします。



- Web デザイナー ギャラリーカテゴリの [マスター ページとページ レイアウト] をクリックします。



5. マスター ページ ギャラリーがブラウザーで開きます。  
アップロードした内容が存在することを確認します。



### 3.4 HTML ファイルをマスター ページに変換

HTML ファイルをマスター ページに変換する機能を利用し、前の手順でマスター ページ ギャラリーにアップロードした HTML ファイルをマスター ページに変換します。

1. トップ レベル サイトで [設定] - [デザイン マネージャー] をクリックします。



2. デザイン マネージャーが開きます。  
サイド リnk バーから [4. マスター ページの編集] をクリックします。



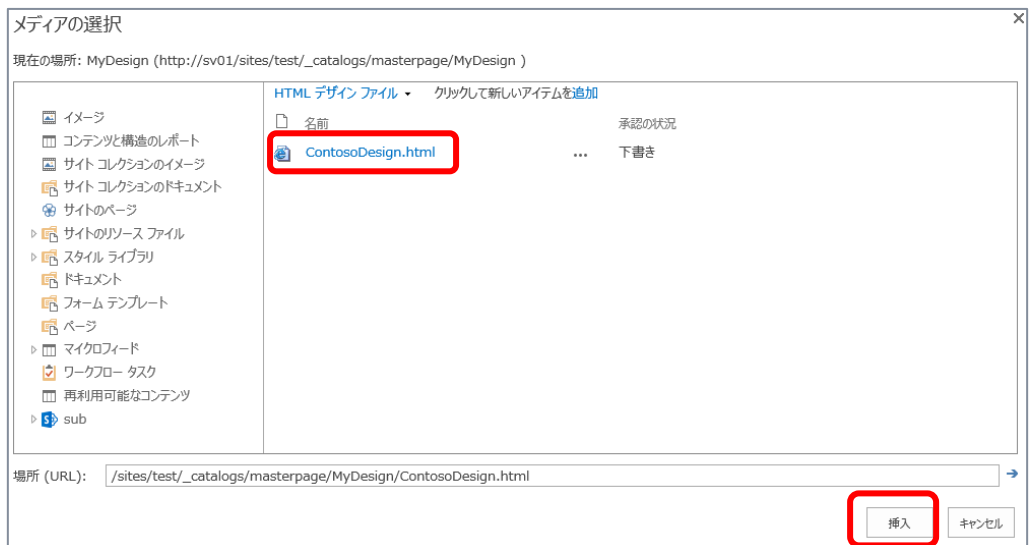
3. [HTML ファイルを SharePoint マスター ページに変換] をクリックします。



4. [メディアの選択] ダイアログが表示されます。

マスター ページ ギャラリー内の内容が表示されるので、[MyDesign] / ContosoDesign.html を選択し [挿入] をクリックします。

※ 任意の HTML ファイルを利用する場合は、そちらを選択してください。



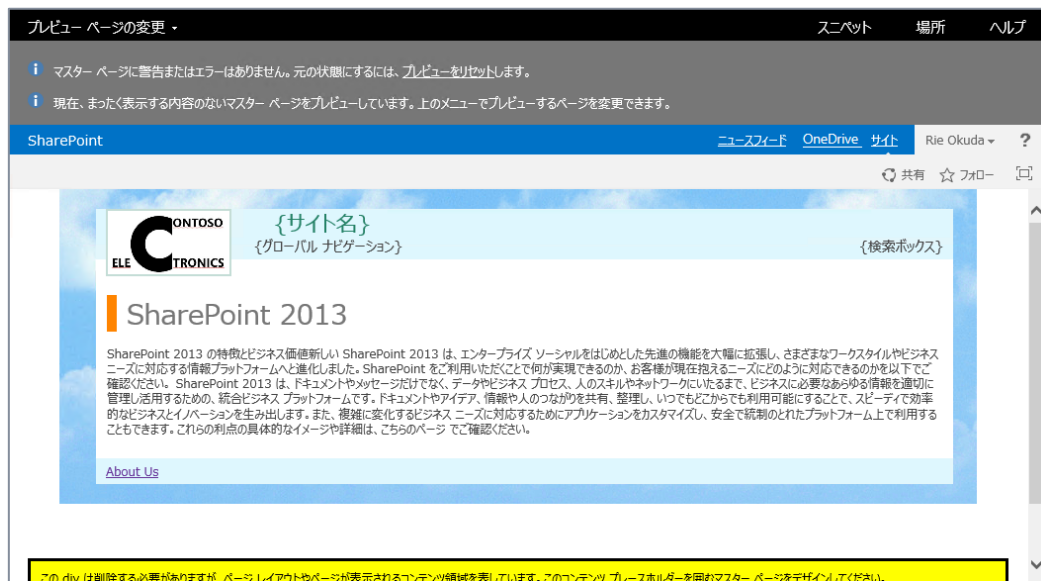
5. [デザイン マネージャー：マスター ページの編集] 画面内の一覧に ContosoDesign (or 任意のファイル名) が表示されます。また状態が「正常に変換されました。」となっていることを確認します。



6. ハイパーリンクとなっている「正常に変換されました。」をクリックします。



## 7. マスター ページに変換された内容のプレビューが開きます。



### 3.5 SharePoint デザインに必要な内容の追加

---

ここまでの手順で Web 標準技術である HTML、CSS を利用して用意したデザインを SharePoint のマスター ページに変換する手順を確認しました。SharePoint 2013 では HTML ファイルをマスター ページに変換する新機能を活用することで、これまでよりも容易に SharePoint のデザイン編集が可能となりました。

しかしここまでの内容ではまだ SharePoint サイトのデザインとして十分とはいえません。SharePoint ページの特徴である各コントロールやコンテンツ エリアを含まないためです。HTML で用意したデザインを SharePoint 2013 のデザイン マネージャーを利用してマスター ページに変換すると上部のリボン領域は自動で組み込まれますが、その他の特徴的な SharePoint コントロール（サイト ロゴ、グローバル ナビゲーション、サイド リンク バー、検索ボックス等）は自動では組み込まれません。HTML をマスター ページに変換した後はこれらの SharePoint コントロールの埋め込みが必要です。またサイト内の各種ページを開いてプレビューすることで、デザインの微調整が必要となることもあります。SharePoint 2013 ではこのような作業も SharePoint Designer といった SharePoint 独自ツールではなく HTML 編集機能がある一般的な Web 編集ツールを利用して行えます。マスター ページ ギャラリー内に保存した HTML ファイルを上書き編集するとマスター ページの内容も常に変更されます。マスター ページに変換後も HTML ファイルを更新することで、編集したデザインはマスター ページに反映されますが、マスター ページを直接編集した場合には HTML ファイルにはその変更は反映されません。HTML ファイルには [関連付けられているファイル] プロパティがあり既定で「はい」に設定されています。このプロパティを「いいえ」と変更し HTML ファイルとマスター ページの関連付けを解除しない限り、マスター ページに直接編集した内容は失われます。またこのプロパティを「いいえ」と変更した後は HTML ファイルに対して行った編集はマスター ページに反映されなくなります。

またグローバル ナビゲーション等の SharePoint コントロールを HTML ファイル内に埋め込むためには [スニペット] 機能が利用できます。スニペットは SharePoint 2013 のデザイン編集を強力にサポートする新機能である [デザイン マネージャー] に含まれる機能のひとつです。

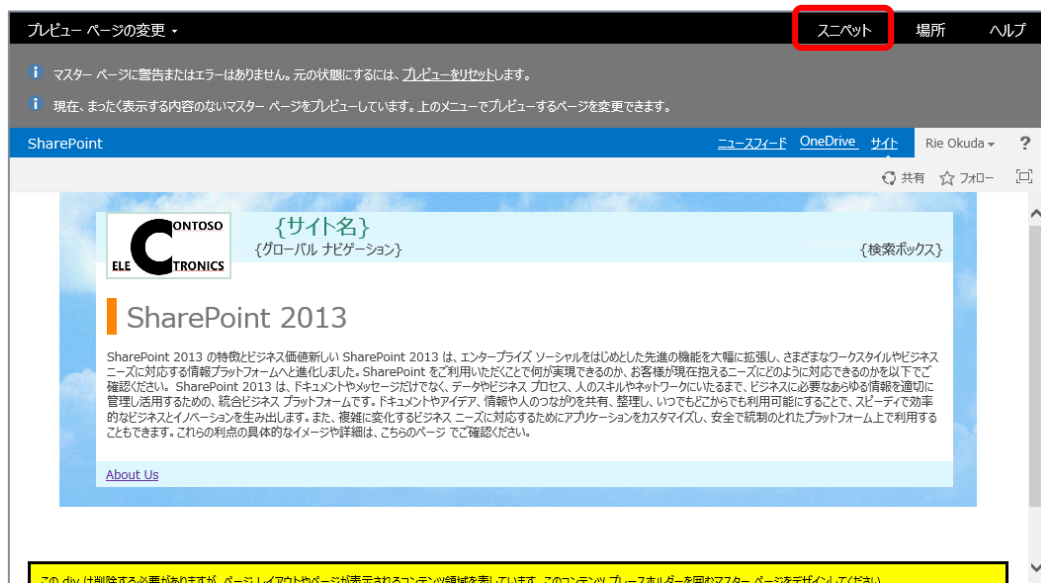
ここではスニペット機能を利用して SharePoint デザインに必要な各種コントロール（サイトのタイトル、サイトのロゴ、グローバル ナビゲーション、検索ボックス、コンテンツ エリア）を ContosoDesign.html に追加する方法を確認します。ContosoDesign.html ファイルの編集作業には一般的な Web 編集ツールの例として Dreamweaver を利用します。また ContosoDesign.html を編集した内容は ContosoDesign.master の内容にも反映されることを確認します。

※ この自習書の手順では HTML 編集ツールとして Dreamweaver を利用しますが、その他の Web 編集ツールを利用することも可能です。また Web 編集ツールを用意できない場合にはテキスト エディターを利用いただいてもかまいません。

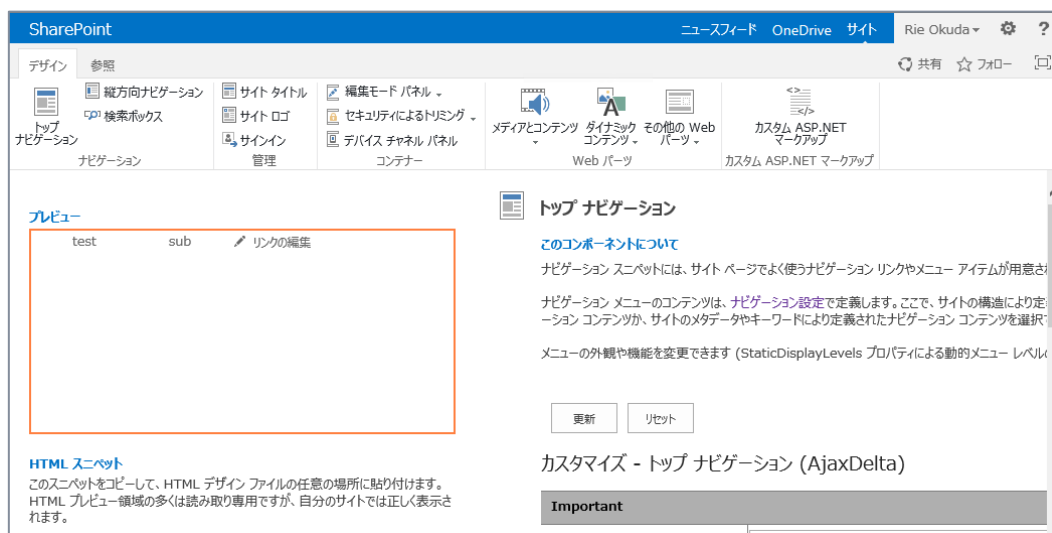
## ● スニペット画面を開く

SharePoint の各コントロールを HTML ファイル内に組み込むための機能がスニペットです。スニペット機能を利用するために、まずはスニペット作成画面であるスニペット ギャラリーを開きます。

1. プレビュー画面で右上にある [スニペット] をクリックします。



2. 別タブ (もしくは別ウィンドウ) でスニペット ギャラリーが開きます。

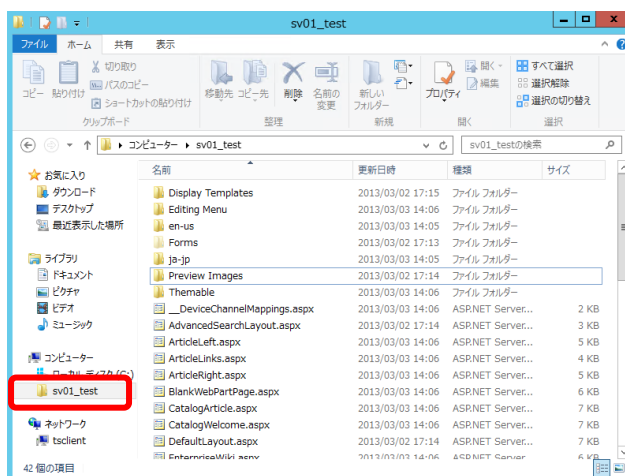


## ● HTML エディター (Dreamweaver) で HTML ファイルを開く

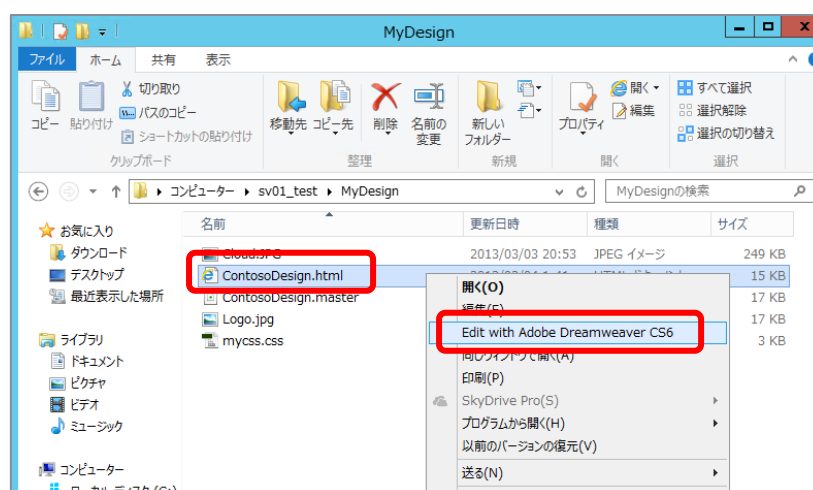
ベースの HTML ファイルと、それを変換することで作成したマスター ページ ファイルは同期状態にあります。HTML ファイルを作成した任意の Web 編集ツールを利用して編集作業が可能です。

ここでは Dreamweaver を利用してマスター ページ ギャラリーに保存したベースの HTML ファイルを開きます。

1. Windows エクスプローラーで、3.2 で用意したショートカットよりマスター ページ ギャラリーを開きます。



2. Windows エクスプローラーで開いたマスター ページ ギャラリーから HTML ファイル (ContosoDesign.html or 任意で用意した HTML ファイル) を任意の Web 編集ツールで開きます (ここでは Dreamweaver を利用します)。

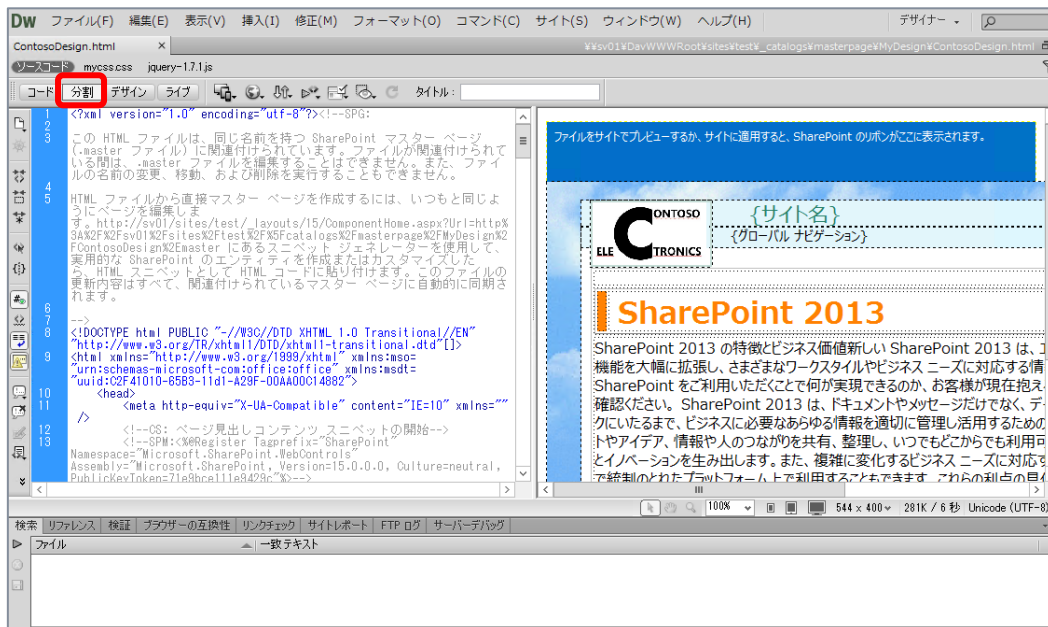


3. HTML ファイルにはコメントアウトされた行が複数行追加されていることが確認できます。

マスター ページに変換した際に HTML ファイル内にはリボン メニューの定義など SharePoint デザインとして必要なソース コードが自動的にコメントとして追加されます。コメントとして追加される理由はマスター ページに変換した後も SharePoint 独自のタグを含まない HTML ファイルとして、任意の Web 編集ツールで開けるようにするためです。コメントとして追加された各ソース コードを SharePoint はマスター ページとして利用する際に必要なソース コード (SharePoint や ASP.NET のコード) に変換して利用しています。

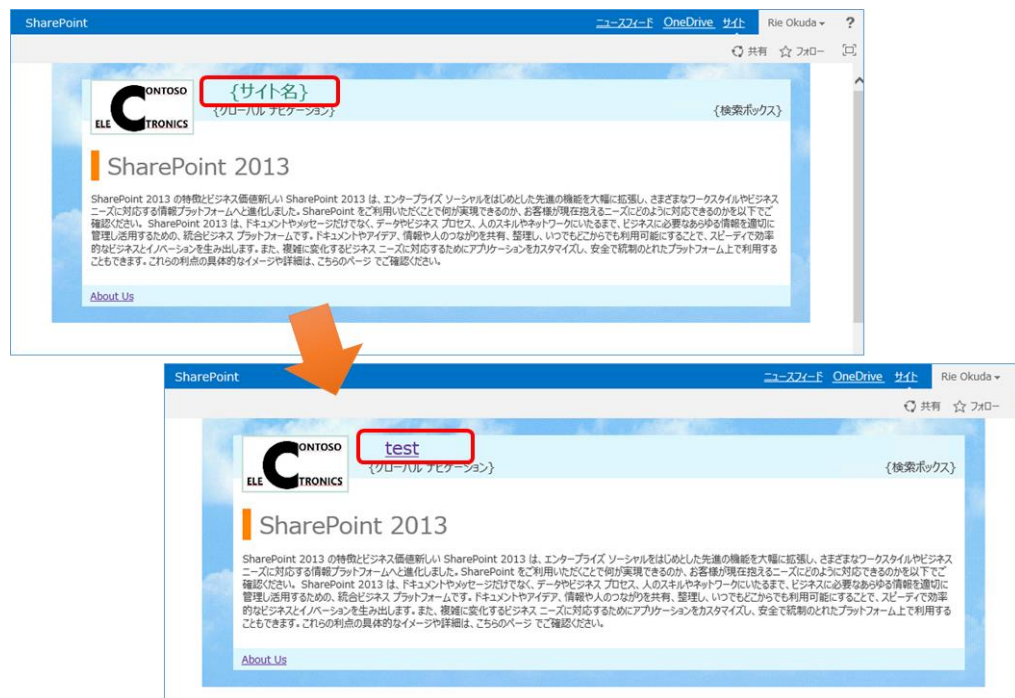
```
1 <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?><!--SPG:
2 この HTML ファイルは、同じ名前を持つ SharePoint マスター ページ (.master ファイル) に関連付けられています。ファイルが関連付けられている間は、.master ファイルを編集することはできません。また、ファイルの名前の変更、移動、および削除を実行することもできません。
3
4 HTML ファイルから直接マスター ページを作成するには、いつもと同じようにページを編集します。http://sv01/sites/test/_layouts/15/ComponentHome.aspx?Url=http%3A%2F%2Fsv01%2Fsites%2Ftest%2F%2Fcatalogs%2Fmasterpage%2FMyDesign%2FContosoDesign%2Emaster にあるスニペット ジェネレーターを使用して、実用的な SharePoint のエンティティを作成またはカスタマイズしたら、HTML スニペットとして HTML コードに貼り付けます。このファイルの更新内容はすべて、関連付けられているマスター ページに自動的に同期されます。
5
6
7 -->
8 <!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd"[>
9 <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xmlns:mso="urn:schemas-microsoft-com:office:office" xmlns:msdt="urn:mso:office:office:2009"
10 <head>
11 <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=10" xmlns="" />
12 <!--CS: ページ見出しコンテンツ スニペットの開始-->
13 <!--SPW:<%Register TagPrefix="SharePoint" Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls" Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce11e8429c"%-->
14 <!--SPW:<%Register TagPrefix="WebPartPages" Namespace="Microsoft.SharePoint.WebPartPages" Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce11e8429c"%-->
15 <!--SID:00 -->
16 <meta name="GENERATOR" content="Microsoft SharePoint" xmlns="" />
17 <meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" xmlns="" />
18 <meta http-equiv="Expires" content="0" xmlns="" />
19 <!--MS:<%SharePoint:RobotsMetaTag runat="server"%-->
20 <!--ME:<%SharePoint:RobotsMetaTag runat="server"%-->
21 <!--MS:<%SharePoint:PageTitle runat="server"%-->
22 <!--MS:<asp:ContentPlaceHolder id="PlaceHolderPageTitle" runat="server"%-->
23 <!--MS:<%SharePoint:ProjectProperty Property="Title" runat="server"%-->
24 <!--MF:<%SharePoint:ProjectProperty runat="server"%-->
25 </html>
```

4. SharePoint や ASP.NET のタグを含まない HTML ファイルとして開けるため、プレビュー表示も可能です。



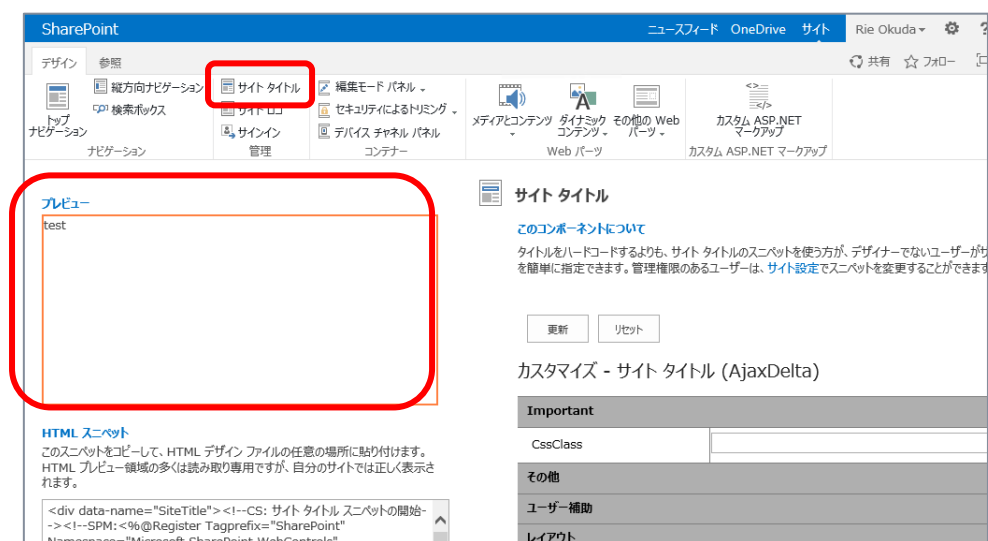
## ● サイト名

どのサイトでこのデザインが利用されていても問題なく利用できるように、サイト名を表示するコントロールを埋め込みます。



1. ブラウザーで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。
2. リボンから、[サイト タイトル] をクリックします。

プレビューに現在開いているサイトの名前が表示されていることが確認できます。



3. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。

### HTML スニペット

このスニペットをコピーして、HTML デザイン ファイルの任意の場所に貼り付けます。  
HTML プレビュー領域の多くは読み取り専用ですが、自分のサイトでは正しく表示されます。

```
<div data-name="SiteTitle"><!--CS: サイト タイトル スニペットの開始--><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--
--><!--MS:<SharePoint:AjaxDelta runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了--><!--MS:<SharePoint:SPLinkButton
runat="server" NavigateUrl="~/site/">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの
```

クリップボードにコピー

4. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。
5. サイト名を表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、{サイト名} の箇所を上書きしてください。

ここで利用したスニペット ギャラリーにより提供されるコードは、マスター ページに変換される際に SharePoint のサイト名が表示されるコントロールに置き換えられます。

#### <元のソース>

```
<div class="site-description">{サイト名}</div>
```

#### <貼り付けた後のソース>

```
<div class="site-description">
  <div data-name="SiteTitle"><!--CS: サイト タイトル スニペットの開始
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
  Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
  Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
  Culture=neutral,
  PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SharePoint:AjaxDelta runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了
```

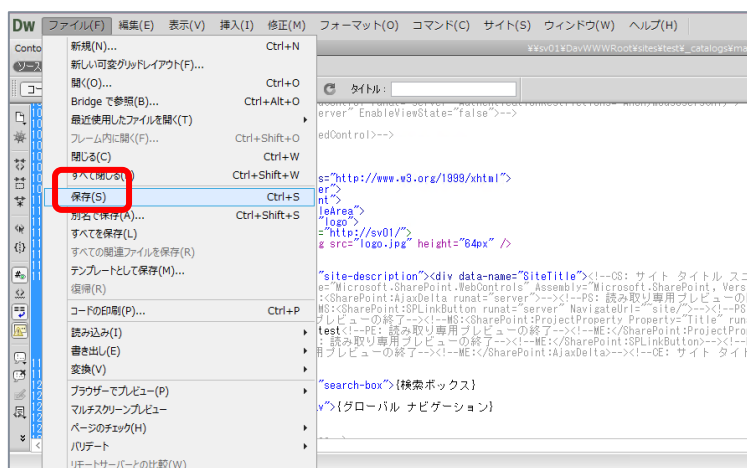
```
--><!--MS:<SharePoint:SPLinkButton runat="server"
NavigateUrl=~site/">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更し
ないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了

--><!--MS:<SharePoint:ProjectProperty Property="Title"
runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく
ださい)-->test<!--PE: 読み取り専用プレビューの終了

--><!--ME:</SharePoint:ProjectProperty>--><!--PS: 読み取り専用
プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの
終了--><!--ME:</SharePoint:SPLinkButton>--><!--PS: 読み取り専用
プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの
終了--><!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>--><!--CE: サイト タイトル ス
ニペットの終了--></div>
```

</div>

6. HTML ファイルを上書き保存します。



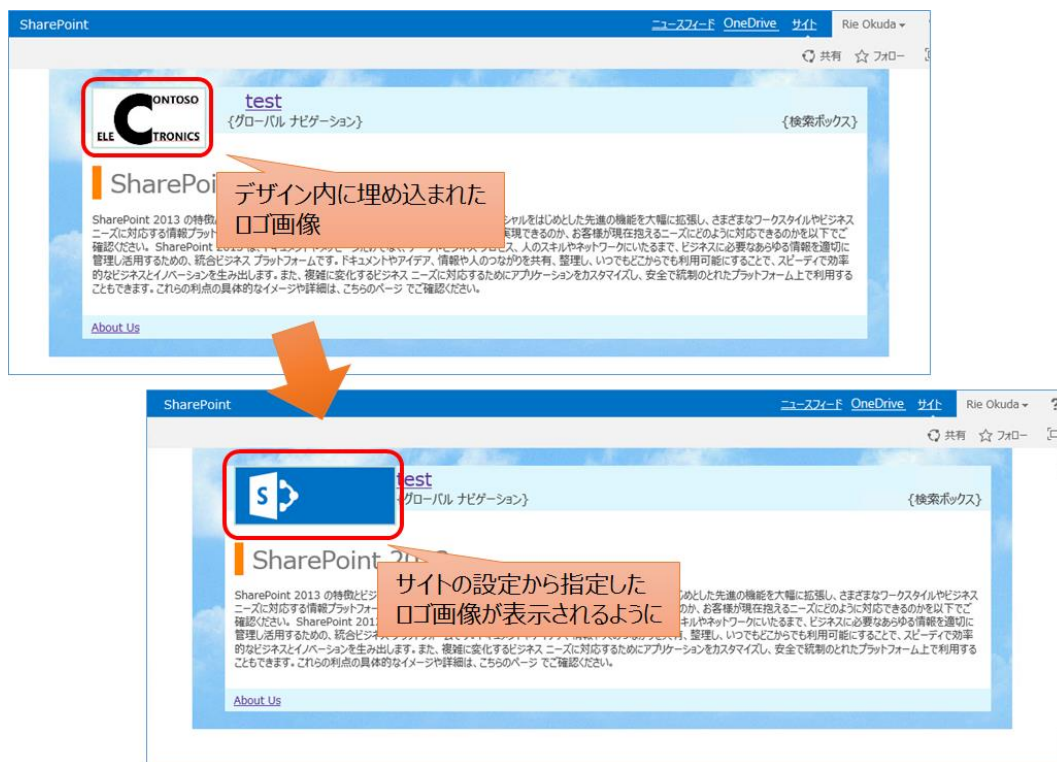
7. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。
8. F5 など画面を更新すると、プレビュー内でサイト名を表示する内容に変わったことが確認できま



## ● サイトのロゴ

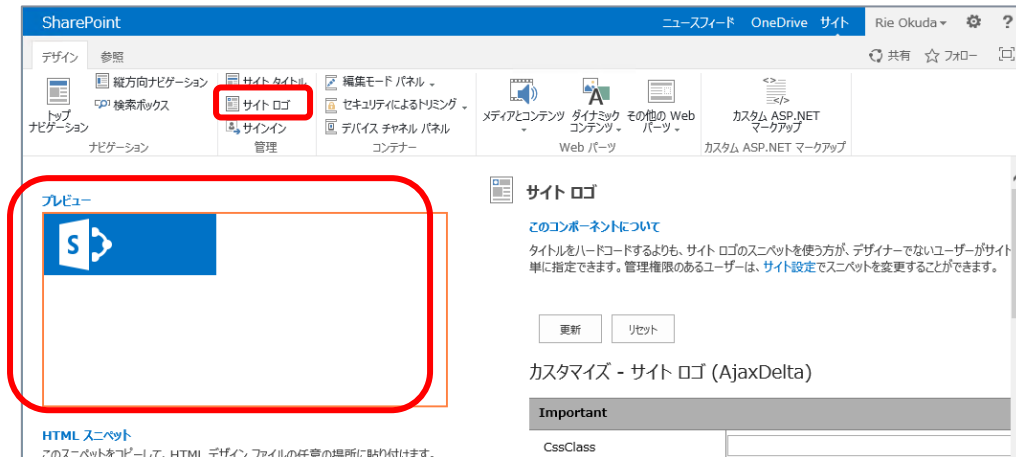
SharePoint では設定ベースでサイト ロゴを変更できる機能があります（[2.1 ロゴの変更] で解説）。ロゴ変更機能を利用するためにはマスター ページに対して、あらかじめロゴ画像を表示したい箇所にサイトの設定画面から指定されたロゴ画像を表示するためのコントロールが必要です。

ここではロゴの変更機能に対応したデザインにするため、サイトのロゴを表示するコントロールを埋め込みます。



1. ブラウザーで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。
2. リボンから、[サイト ロゴ] をクリックします。

プレビューにサイトのロゴが表示されていることが確認できます。



3. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。



4. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。

5. サイトのロゴを表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、<div class="logo"> 内の <a>  
タグを置き換えます。

ここで利用したスニペット ギャラリーにより提供されるコードは、マスター ページに変換される際に  
SharePoint のサイト ロゴを表示するためのコントロールに置き換えられます。

#### <元のソース>

```
<div class="logo">  
  <a href="http://sv01/">  
      
  </a>  
</div>
```

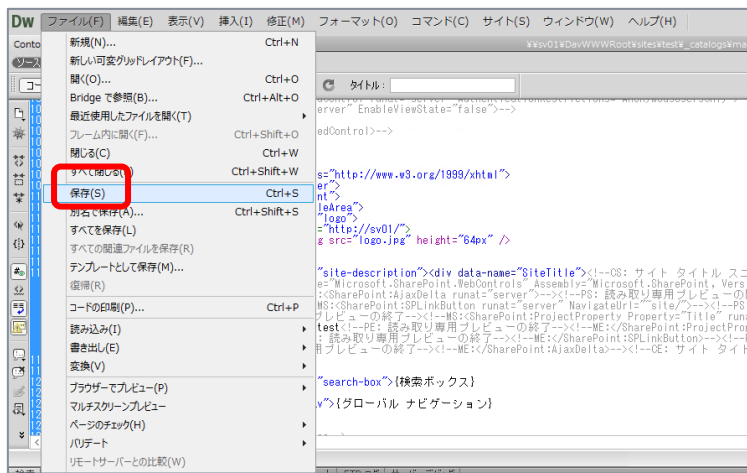
#### <貼り付けた後のソース>

```
<div class="logo">  
  <div data-name="SiteLogo"><!--CS: サイト ロゴ スニペットの開始  
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"  
  Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"  
  Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,  
  Culture=neutral,  
  PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SharePoint:AjaxD  
  elta BlockElement="true" runat="server">--><!--PS: 読み取り専用  
  プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの  
  終了--><!--MS:<SharePoint:SPSimpleSiteLink  
  CssClass="ms-siteicon-a" runat="server"  
  ID="x5c0c16845ee04eeaa17823c43f59e55b">--><!--PS: 読み取り専用  
  プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの  
  終了--><!--MS:<SharePoint:SiteLogoImage  
  CssClass="ms-siteicon-img" name="onetidHeadbnnr0"  
  ID="x99d4ca9632b448b4b9b949be9ea5198b"  
  LogoImageUrl="/_layouts/15/images/siteIcon.png"  
  runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく  
  ださい)--><img id="ctl00_x99d4ca9632b448b4b9b949be9ea5198b"  
  class="ms-siteicon-img" name="onetidHeadbnnr0"  
  Src="/_layouts/15/images/siteIcon.png?rev=23" alt="test"
```

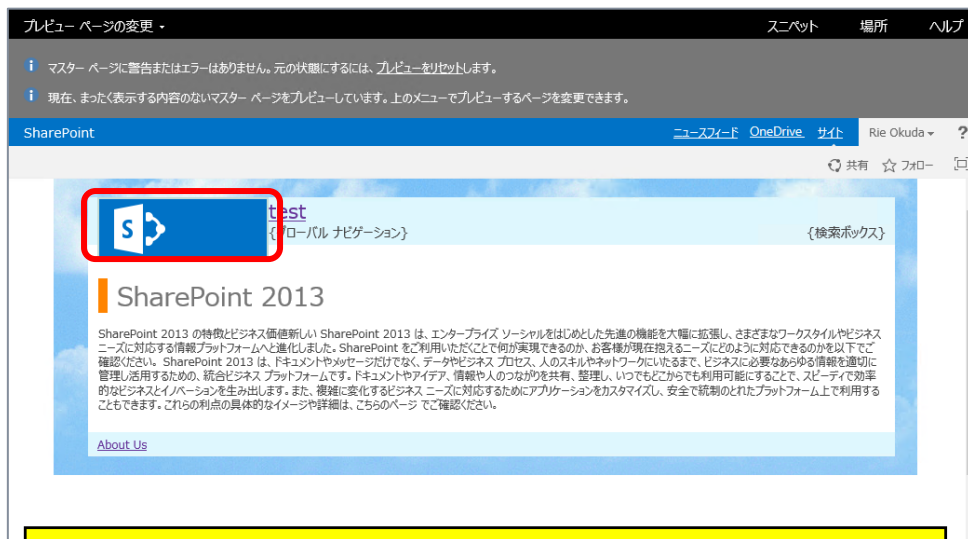
```
--><!--ME:</SharePoint:SiteLogoImage>--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了--><!--ME:</SharePoint:SPSimpleSiteLink>--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了--><!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>--><!--CE: サイト ログ スペクトの終了--></div>
```

&lt;/div&gt;

6. HTML ファイルを上書き保存します。

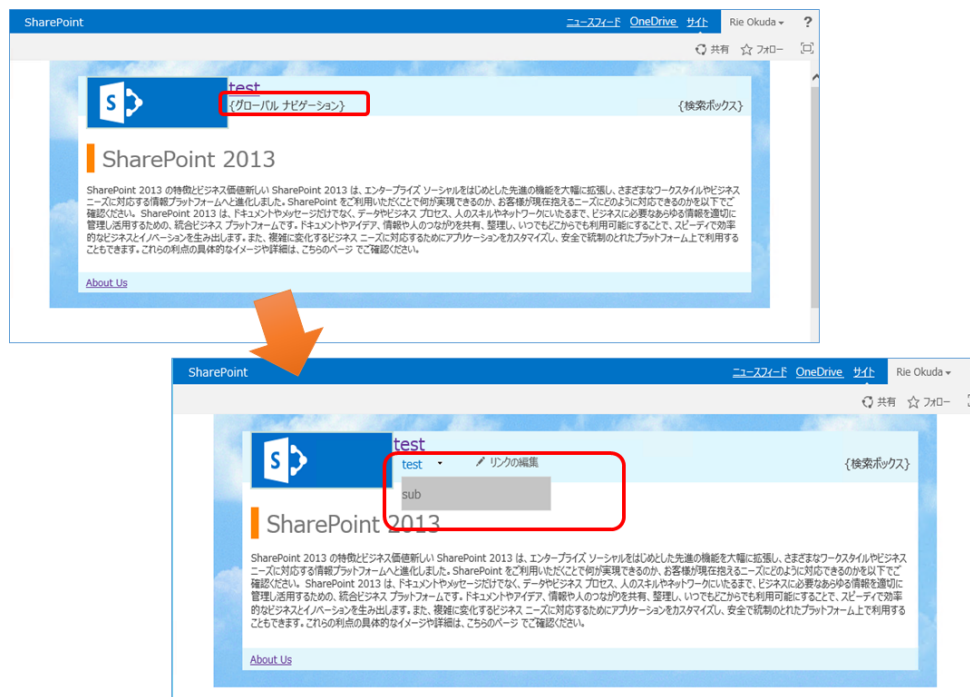


7. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。
8. F5 など画面を更新すると、プレビュー内でサイトのロゴを表示する内容に変わったことが確認できます。



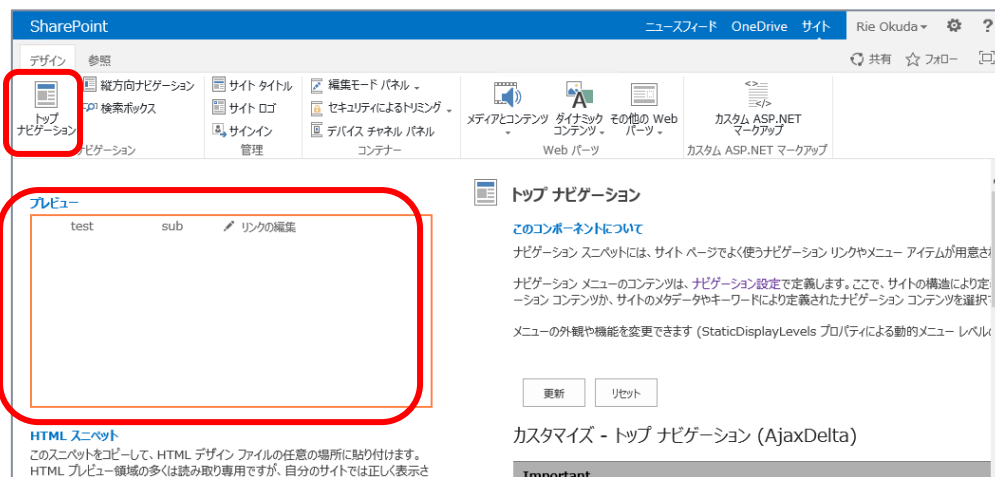
## ● グローバル ナビゲーション

グローバル ナビゲーションをデザイン内に埋め込みます。



1. ブラウザーで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。
2. リボンから、[トップ ナビゲーション] をクリックします。

プレビューにグローバル ナビゲーションの内容が表示されていることが確認できます。



3. ナビゲーションの表示設定をカスタマイズします。  
既定で 1 階層表示し、マウス オーバーでさらにもう一階層下の 2 階層目を表示するよう設定します。

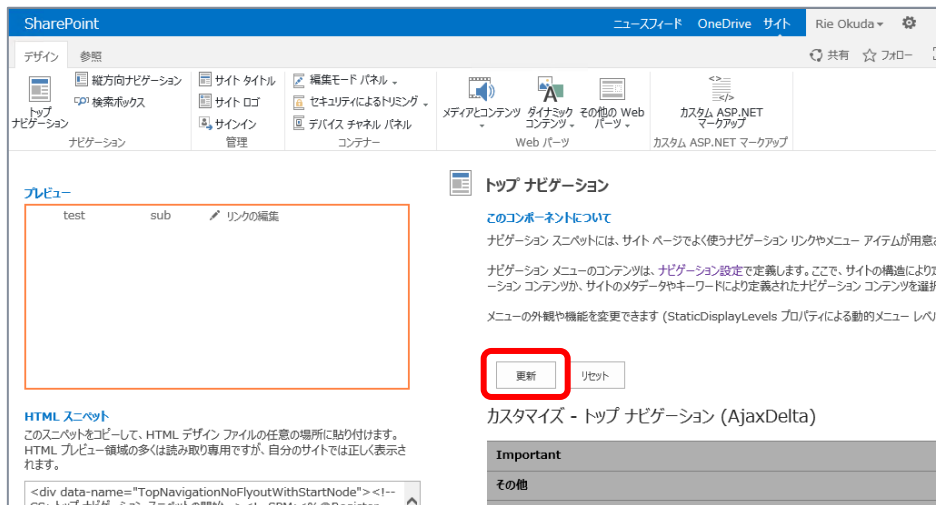
右側にあるプロパティ編集メニューより、[カスタマイズ - トップ ナビゲーション (AspMenu)] の [Important] - [StaticDisplayLevels] を「1」に変更します。

カスタマイズ - トップ ナビゲーション (AspMenu)	
Important	
AdjustForShowStartingNode	False
StaticDisplayLevels	1

4. 続いて、[カスタマイズ - トップ ナビゲーション (AspMenu)] の [動作] - [MaximumDynamicDisplayLevels] を「1」に変更します。

動作	
AllowScriptUrls	True
ClientIDMode	Inherit
CustomSelectionEnabled	True
DisappearAfter	500
Enabled	True
EnableTheming	True
EnableViewState	False
EncodeTitle	True
MaximumDynamicDisplayLevels	1

5. プロパティ変更画面の上にある [更新] をクリックします。



6. プレビュー内容が更新されます（作業中のサイトにサブ サイトがある場合、グローバル ナビゲーションに表示されます）。
7. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。



8. HTML 編集ツール（ここでは Dreamweaver）に戻ります。

9. グローバル ナビゲーションを表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。

手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、{グローバル ナビゲーション} の箇所を上書きしてください。

ここで利用したスニペット ギャラリーにより提供されるコードは、マスター ページに変換される際にグローバル ナビゲーションが表示されるコントロールに置き換えられます。

#### <元のソース>

```
<div id="nav">{グローバル ナビゲーション}</div>
```

#### <貼り付けた後のソース>

```
<div id="nav">
  <div data-name="TopNavigationNoFlyoutWithStartNode"><!--CS: トップ ナビゲーション スニペットの開始--><!--SPM:<%@Register
    Tagprefix="SharePoint"
    Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
    Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral,
    PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SharePoint:AjaxD
    elta runat="server" CssClass="ms-displayInline
    ms-core-navigation ms-dialogHidden" BlockElement="True"
    ID="DeltaTopNavigation">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変
    更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了
    --><!--MS:<SharePoint:DelegateControl runat="server"
    Id="topNavigationDelegate"
    ControlId="TopNavigationDataSource">--><!--PS: 読み取り専用プレ
    ビューの開始(変更しないでください)--><span
    style="display:none"><table cellpadding="4" cellspacing="0"
    style="font:messagebox;color:buttontext;background-color:butt
    onface;border: solid
    1px;border-top-color:buttonhighlight;border-left-color:button
    highlight;border-bottom-color:buttonshadow;border-right-color
    :buttonshadow"><tr><td nowrap="nowrap"><span
    style="font-weight:bold">PortalSiteMapDataSource</span> -
    topSiteMap</td></tr><tr><td></td></tr></table></span><!--PE:
    読み取り専用プレビューの終了
```

```

--><!--MS:<Template_Controls>--><!--MS:<asp:SiteMapDataSource
ShowStartingNode="True"
SiteMapProvider="SPNavigationProvider" ID="topSiteMap"
runat="server"
StartingNodeUrl="sid:1002">--><!--ME:</asp:SiteMapDataSource>
--><!--ME:</Template_Controls>--><!--ME:</SharePoint:Delegate
Control>--><a
name="startNavigation"></a><!--MS:<asp:ContentPlaceHolder
ID="PlaceHolderTopNavBar"
runat="server">--><!--MS:<SharePoint:AspMenu runat="server"
UseSeparateCss="false" AdjustForShowStartingNode="False"
StaticDisplayLevels="1" ID="TopNavigationMenu"
DataSourceID="topSiteMap" AccessKey="1" SkipLinkText=""
Orientation="Horizontal" EnableViewState="False"
MaximumDynamicDisplayLevels="1"
UseSimpleRendering="True">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始
(変更しないでください)--><link rel="stylesheet" type="text/css"
href="/_layouts/15/1041/styles/menu-21.css" /><div
id="zz7_TopNavigationMenu" class=" noindex
ms-core-listMenu-horizontalBox"><ul id="zz9_RootAspMenu"
class="root ms-core-listMenu-root static"><li
class="static"><a class="static menu-item
ms-core-listMenu-item ms-displayInline ms-navedit-linkNode"
tabindex="0" href="/sites/test/SitePages/ホーム.aspx"
accesskey="1"><span class="additional-background
ms-navedit-flyoutArrow"><span
class="menu-item-text">test</span></span></a><ul
class="static"><li class="static"><a class="static menu-item
ms-core-listMenu-item ms-displayInline ms-navedit-linkNode"
tabindex="0" href="/sites/test/sub/SitePages/ホーム
△.aspx"><span class="additional-background
ms-navedit-flyoutArrow"><span
class="menu-item-text">sub</span></span></a></li></ul></li><li
class="static ms-verticalAlignTop ms-listMenu-editLink
ms-navedit-editArea"><span class="ms-navedit-editSpan"
id="zz7_TopNavigationMenu_NavMenu_Edit"><a

```

```

id="zz7_TopNavigationMenu_NavMenu_EditLinks"
class="ms-navedit-editLinksText" href="#"
onclick="g_QuickLaunchMenu = null;
EnsureScriptParams('quicklaunch.js',
'QuickLaunchInitEditMode', 'zz7_TopNavigationMenu', 1, 2, 0,
'¥u002fSITES¥u002fTEST'); cancelDefault(event); return
false;"><span class="ms-displayInlineBlock"><span
class="ms-navedit-editLinksIconWrapper
ms-verticalAlignMiddle"></span><span
class="ms-metadata ms-verticalAlignMiddle">リンクの編集
</span></span></a><span
id="zz7_TopNavigationMenu_NavMenu_Loading"
class="ms-navedit-menuLoading ms-hide"><a
id="zz7_TopNavigationMenu_NavMenu_GearsLink" href="#"
onclick="HideGears(); return false;" title="このアニメーションは処
理が実行中であることを示します。このアニメーション画像を削除するには、ここをク
リックします。"></a></span><div id="zz7_TopNavigationMenu_NavMenu_ErrorMsg"
class="ms-navedit-errorMsg"></div></span></li></ul></div><!--
PE: 読み取り専用プレビューの終了

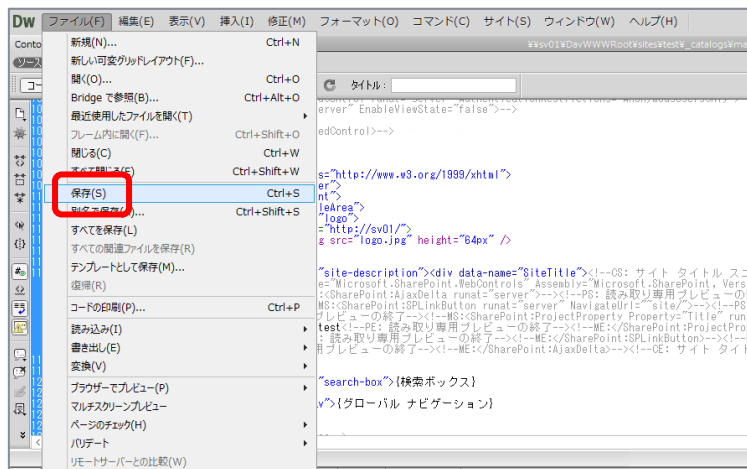
--><!--ME:</SharePoint:AspMenu>--><!--ME:</asp:ContentPlaceHo
lder>--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでくださ
い)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了

--><!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>--><!--CE: トップ ナビゲーション
スニペットの終了--></div>

```

</div>

10. HTML ファイルを上書き保存します。



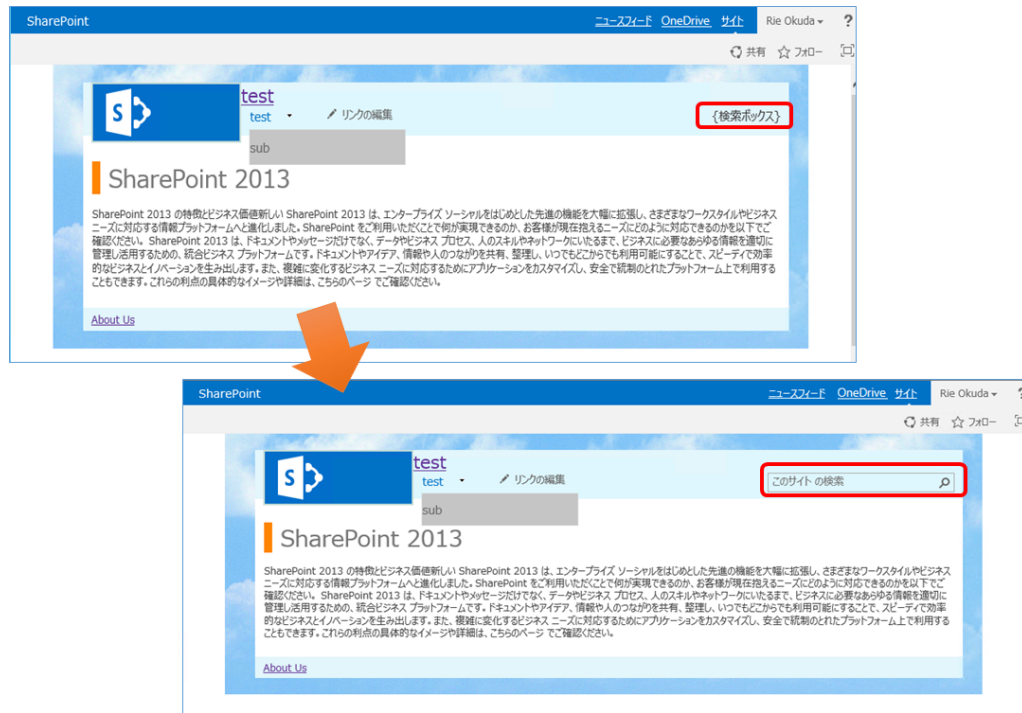
11. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。

12. F5 など画面を更新すると、プレビュー内でグローバル ナビゲーションが表示されていることが確認できます。



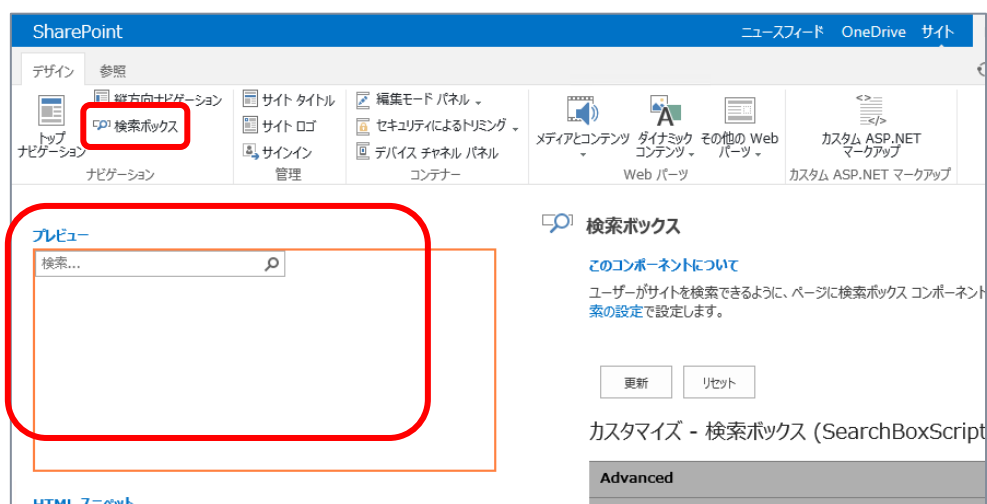
## ● 検索ボックス

検索ボックスをデザイン内に埋め込みます。



1. ブラウザーで開いておいたスニペット ガalleryを開きます。
2. リボンから、[検索ボックス] をクリックします。

プレビューに検索ボックスが表示されていることが確認できます。



3. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。

### HTML スニペット

このスニペットをコピーして、HTML デザイン ファイルの任意の場所に貼り付けます。  
HTML プレビュー領域の多くは読み取り専用ですが、自分のサイトでは正しく表示されます。

```
<div data-name="SearchBox"><!--CS: 検索ボックス スニペットの開始--><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SearchWC"
Namespace="Microsoft.Office.Server.Search.WebControls"
Assembly="Microsoft.Office.Server.Search, Version=15.0.0.0,
Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--
--><!--MS:<SearchWC:SearchBoxScriptWebPart
UseSiteCollectionSettings="true" EmitStyleReference="false"
ShowQuerySuggestions="false" ChromeType="None"
UseSharedSettings="true" TryInplaceQuery="false"
ServerInitialRender="true" runat="server">--><!--PS: 読み取り
```

クリップボードにコピー

4. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。
5. 検索ボックスを表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、{検索ボックス} の箇所を上書きしてください。

ここで利用したスニペット ギャラリーにより提供されるコードは、マスター ページに変換される際に  
検索ボックス コントロールに置き換えられます。

<元のソース>

```
<div class="search-box">{検索ボックス}</div>
```

<貼り付けた後のソース>

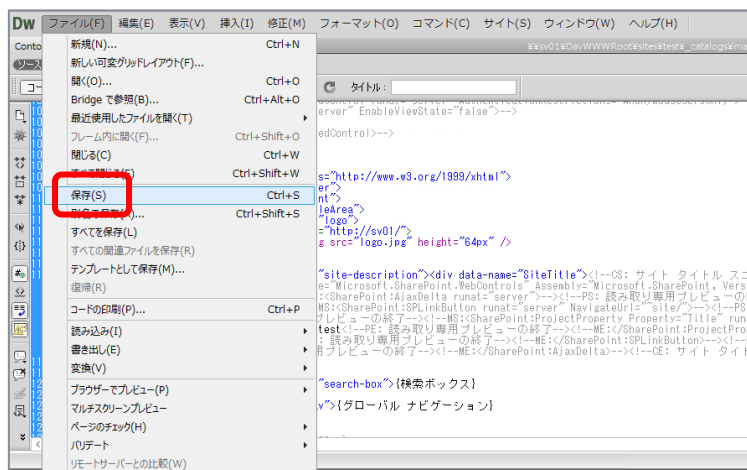
```
<div class="search-box">
  <div data-name="SearchBox"><!--CS: 検索ボックス スニペットの開始
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SearchWC"
  Namespace="Microsoft.Office.Server.Search.WebControls"
  Assembly="Microsoft.Office.Server.Search, Version=15.0.0.0,
  Culture=neutral,
  PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SearchWC:SearchB
  oxScriptWebPart UseSiteCollectionSettings="true"
  EmitStyleReference="false" ShowQuerySuggestions="false"
  ChromeType="None" UseSharedSettings="true"
```

```

TryInplaceQuery="false" ServerInitialRender="true"
runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく
ださい)--><div class="ms-webpart-chrome
ms-webpart-chrome-fullWidth "><div
WebPartID="00000000-0000-0000-0000-000000000000"
HasPers="true" id="WebPart" width="100%" class="ms-WPBody
noindex " OnlyForMePart="true" allowDelete="false"
style=""><div componentid="ctl00_ctl03_csr"
id="ctl00_ctl03_csr"><div id="SearchBox" name="Control"><div
class="ms-srch-sb ms-srch-sb-border"
id="ctl00_ctl03_csr_sboxdiv"><input type="text" value="検
索..." maxlength="2048" accessKey="S" title="検索..."
id="ctl00_ctl03_csr_sbox" autocomplete="off" autocorrect="off"
onkeypress="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {if
(Srch.U.isEnterKey(String.fromCharCode(event.keyCode)))
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);return Srch.U.cancelEvent(event);}})"
onkeydown="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.activateDefaultQuerySuggestionBe
havior();})"
onfocus="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.hidePrompt();ctl.setBorder(true)
;})" onblur="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl = $find('ctl00_ctl03_csr'); if
(ctl){ ctl.showPrompt(); ctl.setBorder(false);}})"
class="ms-textSmall ms-srch-sb-prompt ms-helperText" /><a
title="検索" class="ms-srch-sb-searchLink"
id="ctl00_ctl03_csr_SearchLink"
onclick="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function()
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);})" href="javascript: {}"></a></div></div></div><noscript><div
id="ctl00_ctl03_noscript">ブラウザーで JavaScript が有効になってい
ません。JavaScript を有効にして、やり直してください。
</div></noscript><div id="ctl00_ctl03"></div><div
class="ms-clear"></div></div></div><!--PE: 読み取り専用プレビュー
の終了--><!--ME:</SearchWC:SearchBoxScriptWebPart>--><!--CE:
検索ボックス スニペットの終了--></div>
</div>

```

6. HTML ファイルを上書き保存します。



7. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。
8. F5 など画面を更新すると、プレビュー内で検索ボックスが表示されていることが確認できます。

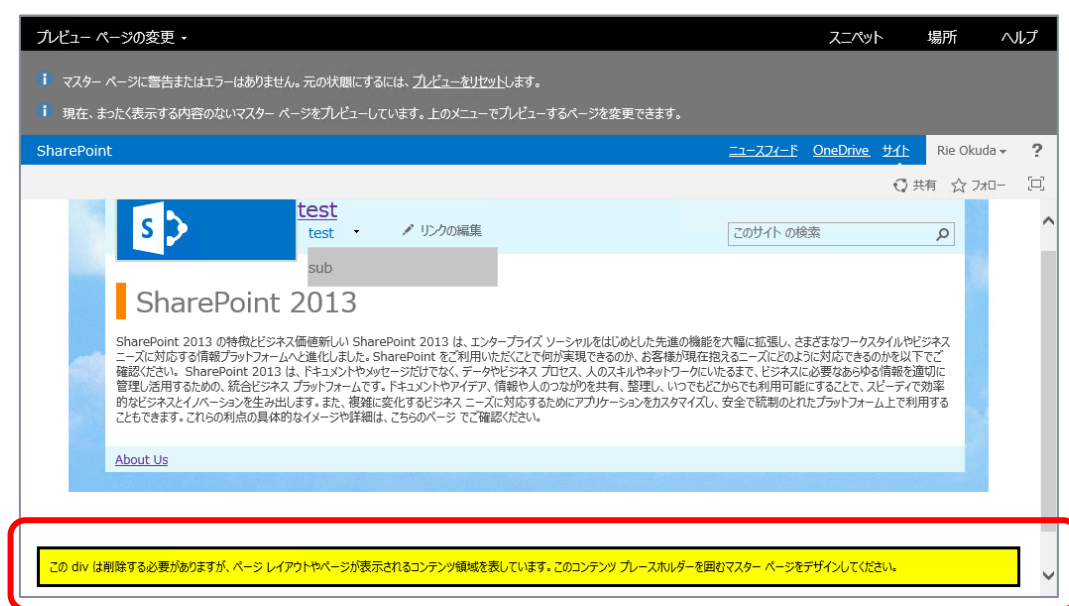


## ● コンテンツ エリア

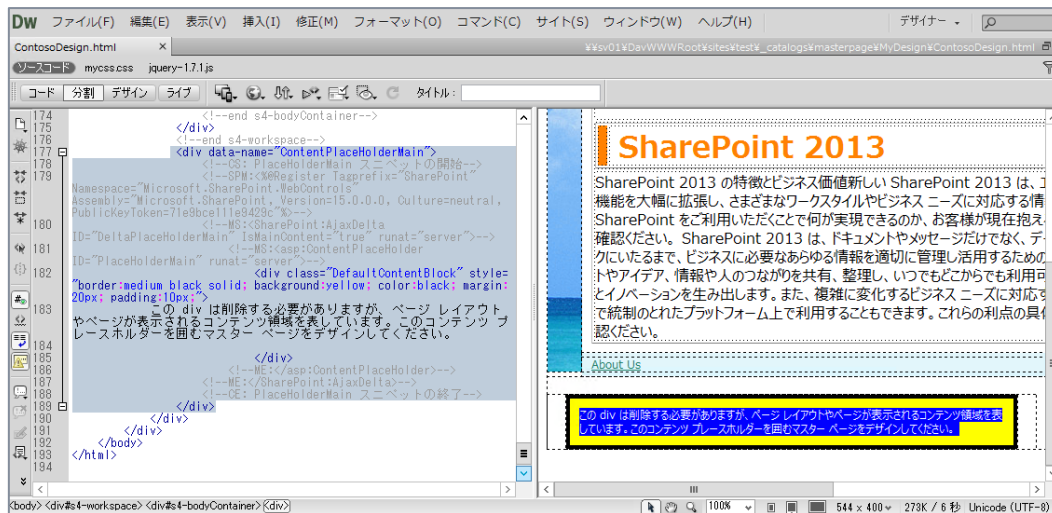
各ページごとの内容を表示するためのエリアであるコンテンツ エリアをデザイン内に配置します。

HTML ファイルをマスター ページに変換すると、画面下部に明るい黄色で表示される div タグがページ内に自動的に配置されます。この div タグ内にコンテンツ エリアとして動作するためのソース コードがコメントとして埋め込まれています。

デザイン内のコンテンツ エリアとして利用したい箇所に div タグを移動し、編集を行います。



1. HTML 編集ツールで、編集中の HTML ファイルを開きます。
2. プレビュー画面などで画面下部に配置されている明るい黄色の領域（div タグ）を見つけます。



3. 対応するソース コードを切り取ります。  
下記が対応するソース コードです。

```
<div data-name="ContentPlaceHolderMain">
```

```
<!--CS: PlaceholderMain スニペットの開始-->
```

```
<!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
```

```
Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
```

```
Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,  
Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
```

```
<!--MS:<SharePoint:AjaxDelta ID="DeltaPlaceHolderMain"  
IsMainContent="true" runat="server">-->
```

```
<!--MS:<asp:ContentPlaceHolder ID="PlaceHolderMain"  
runat="server">-->
```

```
<div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black  
solid; background:yellow; color:black; margin:20px;  
padding:10px;">
```

この div は削除する必要がありますが、ページ レイアウトやページが表示されるコンテンツ領域を表しています。このコンテンツ プレースホルダーを囲むマスター ページをデザインしてください。

```
</div>
```

```

<!--ME:</asp:ContentPlaceholder>-->
<!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>-->
<!--CE: PlaceholderMain スニペットの終了-->
</div>

```

4. 切り取ったソース コードをコンテンツ エリアとして表示させたい箇所に貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、<div id="main"> タグ内に挿入してください。既存のテーブル タグと置きかえます。

<div id="main"> タグ内の内容は、下記のようになります。

```

<div id="main">
    <div data-name="ContentPlaceholderMain">
        <!--CS: PlaceholderMain スニペットの開始-->
        <!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
        Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
        Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
        Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
        <!--MS:<SharePoint:AjaxDelta ID="DeltaPlaceholderMain"
        IsMainContent="true" runat="server">-->
        <!--MS:<asp:ContentPlaceholder ID="PlaceholderMain"
        runat="server">-->
        <div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black
        solid; background:yellow; color:black; margin:20px;
        padding:10px;">
        この div は削除する必要がありますが、ページ レイアウトやページが表示されるコ
        ンテンツ領域を表しています。このコンテンツ プレースホルダーを囲むマスター ページ
        をデザインしてください。
        </div>
        <!--ME:</asp:ContentPlaceholder>-->
        <!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>-->
        <!--CE: PlaceholderMain スニペットの終了-->
    </div>
</div>

```

5. プレビュー画面を確認すると、コンテンツ エリアとなる内容が表示されていることが確認できますが、明るい黄色の領域はそのままです。

ソース コードより明るい黄色領域である div タグを削除します。

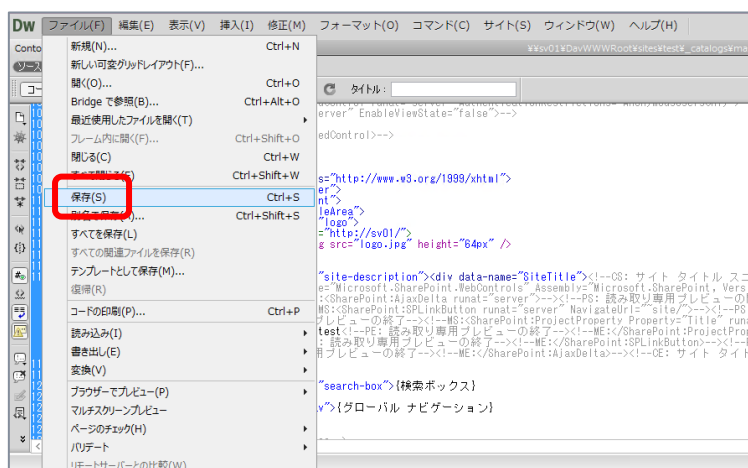
削除するのは、下記ソース コードです。

```
<div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black solid;
background:yellow; color:black; margin:20px; padding:10px;">
```

この div は削除する必要がありますが、ページ レイアウトやページが表示されるコンテンツ 領域を表しています。このコンテンツ プレースホルダーを囲むマスター ページをデザインしてください。

```
</div>
```

6. HTML ファイルを上書き保存します。



7. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。

8. F5 など画面を更新すると、プレビュー内容が更新されます。

手順でデザインしたように、コンテンツ エリアが画面中央に配置されたことを確認したいのですが、プレビュー画面ではコンテンツ内容が空白のため、コンテンツ エリアの確認は困難です。



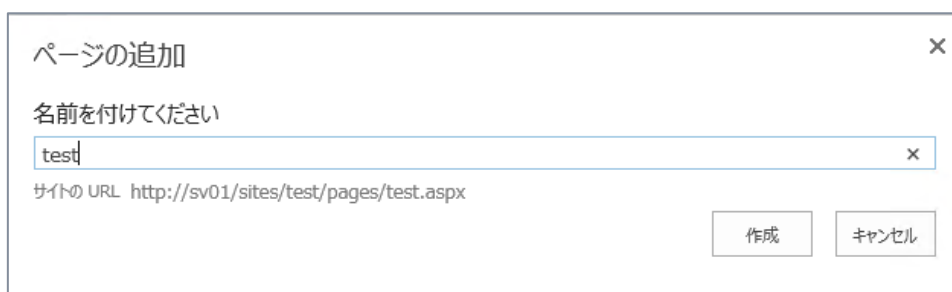
9. プレビュー画面左上にある「プレビュー ページの変更」機能を利用すると、既存の発行ページを指定し、コンテンツ エリアの内容を含めたプレビューが行えます。  
またサイト内でプレビューに利用できる発行ページがない場合は、このメニューより新規作成も可能です。

ここでは、「プレビュー ページの変更」から新しく発行ページを作成し、コンテンツ エリアのプレビューを行います。

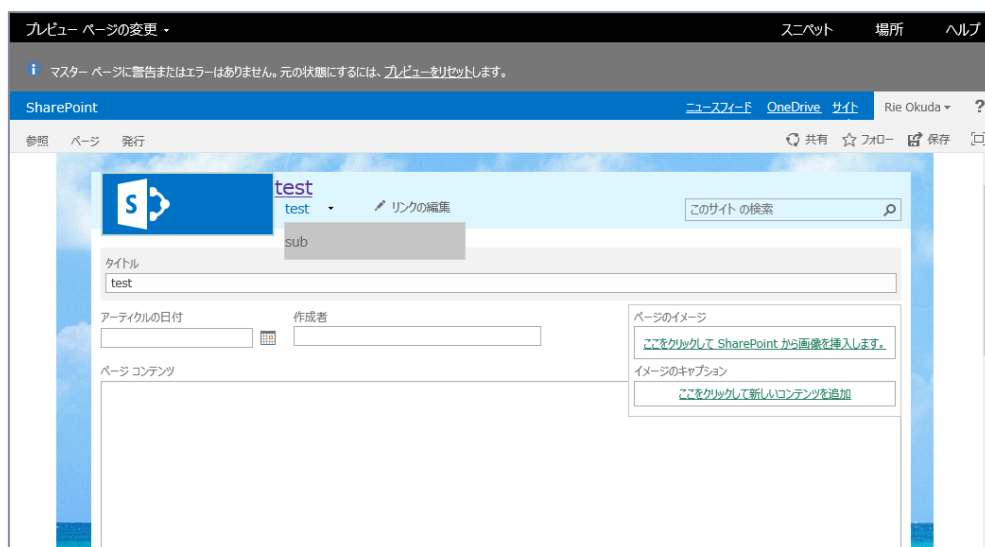
「プレビュー ページの変更」 - 「新規作成」をクリックします。



10. 「ページの追加」ダイアログが表示されます。  
任意のページ名をつけて「作成」をクリックします。

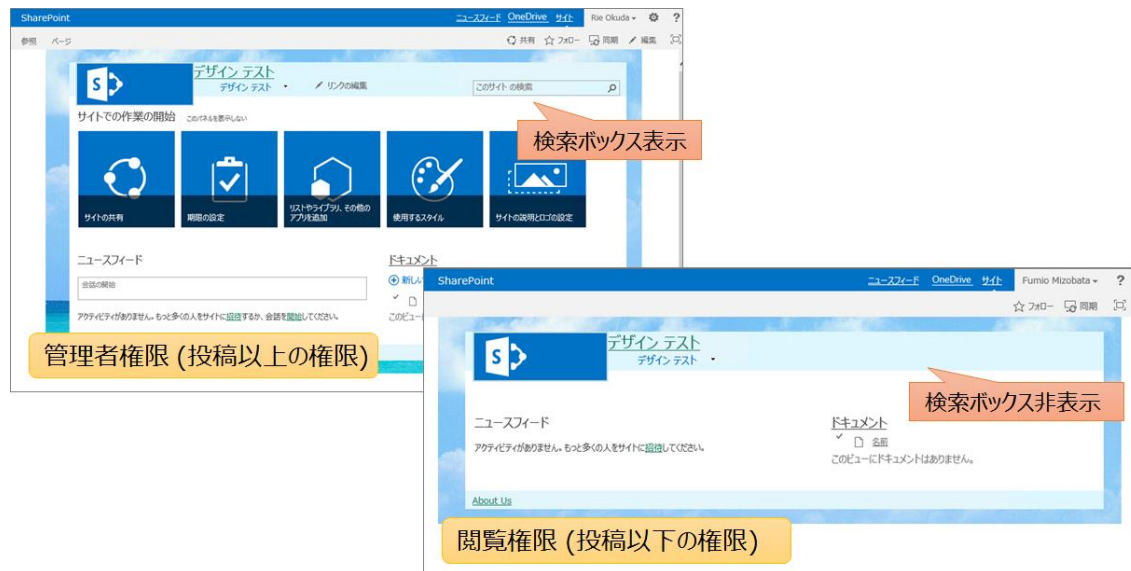


11. 作成した発行ページを利用したプレビュー内容を確認できます。  
コンテンツ エリアが画面中央に配置されていることが確認できるようになりました。



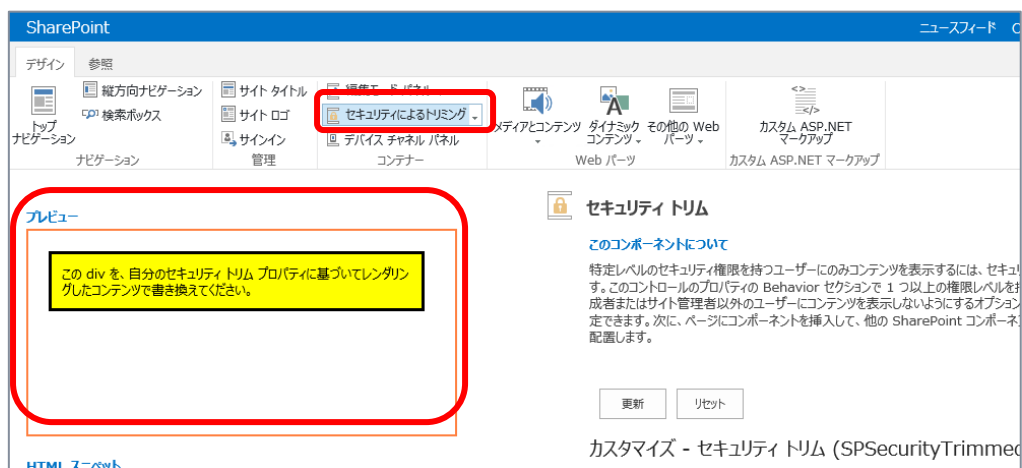
## ● セキュリティによるトリミング

セキュリティ トリム コントロールを利用すると、サイトにアクセスする権限に応じて表示/非表示となるデザインを提供できます。ここでは前の手順で配置した検索ボックスについて、投稿権限以上を持つユーザーにのみ表示するように（閲覧権限では検索ボックスを非表示）編集を行います。

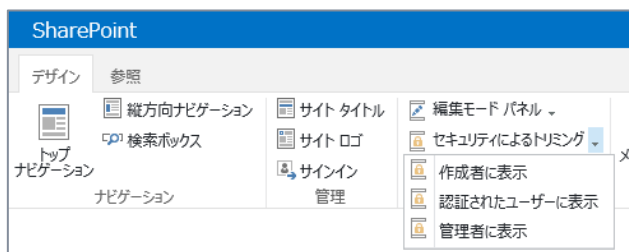


1. ブラウザーで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。
2. リボンから [セキュリティによるトリミング] をクリックします。

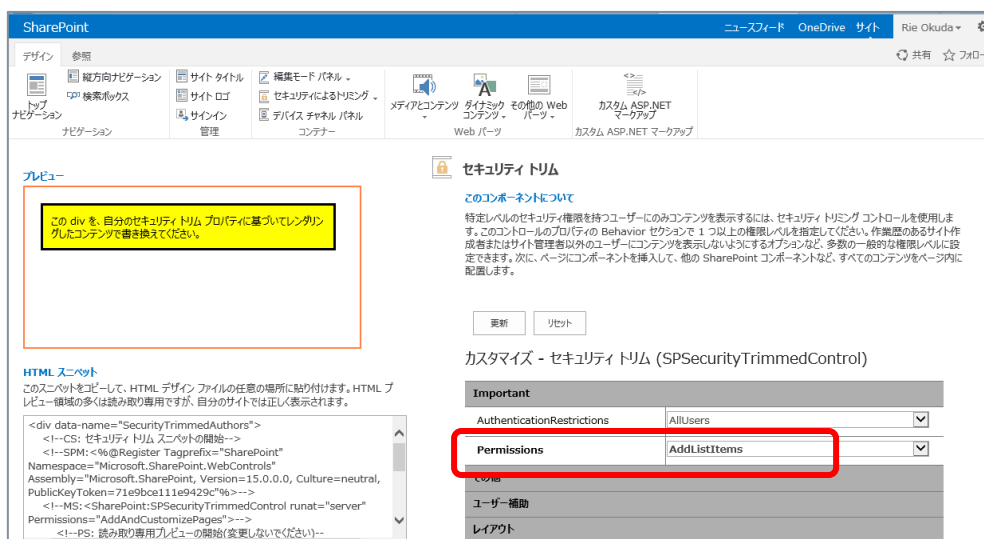
プレビューに内容が表示されていることが確認できます。



3. 既定ではデザイン権限を持つユーザーに対するセキュリティ トリム コントロールの HTML スニペットが生成されます。次図のように [セキュリティによるトリミング] メニューを展開すると [作成者に表示]・[認証されたユーザーに表示]・[管理者に表示] と選択可能ですが、今回行いたい投稿権限以上のユーザーに表示するためのメニューは用意されていません。メニューに用意されていないセキュリティを利用してデザイン表示/非表示を行いたい際にはセキュリティ トリム コントロールのプロパティを変更することにより実現可能です。



ここではセキュリティ トリム コントロールのプロパティ設定を行います。右側にあるプロパティ編集メニューより [Important]/[Permissions] を [AddListItems] に変更します。



※ セキュリティ トリム コントロールの Permissions 設定については下記 URL が参考になります。

[msdn] SPBasePermissions 列挙

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/microsoft.sharepoint.spbasepermissions\(v=office.12\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/microsoft.sharepoint.spbasepermissions(v=office.12).aspx)

4. [更新] をクリックします。

**セキュリティ トリム**

このコンポーネントについて

特定レベルのセキュリティ権限を持つユーザーにのみコンテンツを表示するには、セキュリティ トリミング コントロールを使用します。このコントロールのプロパティの Behavior セクションで 1 つ以上の権限レベルを指定してください。作業済のあるサイト作成者またはサイト管理者以外のユーザーにコンテンツを表示しないようにするオプションなど、多数の一般的な権限レベルに設定できます。次に、ページにコンポーネントを挿入して、他の SharePoint コンポーネントなど、すべてのコンテンツをページ内に配置します。

**更新** リセット

カスタマイズ - セキュリティ トリム (SPSecurityTrimmedControl)

Important	
AuthenticationRestrictions	AllUsers
Permissions	AddListItems
その他	
ユーザー補助	

5. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。

**HTML スニペット**

このスニペットをコピーして、HTML デザイン ファイルの任意の場所に貼り付けます。HTML プレビュー領域の多くは読み取り専用ですが、自分のサイトでは正しく表示されます。

```
<div data-name="SecurityTrimmedAuthors">
  <!--CS: セキュリティ トリム スニペットの開始-->
  <!--SPM: <%@Register Tagprefix="SharePoint"
Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0, Culture=neutral,
PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
  <!--MS: <SharePoint:SPSecurityTrimmedControl runat="server"
Permissions="AddListItems">-->
  <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)-->
```

クリップボードにコピー

6. コピーしたコードをいったんメモ帳などのテキスト エディターに貼り付け内容を確認します。

コード内に含まれる `<div class="DefaultContentBlock">` タグ (赤字部分) がセキュリティによりトリムされる内容となります。この部分に今回は検索ボックスを挿入したいと考えています。

```
<div data-name="SecurityTrimmedAuthors">
  <!--CS: セキュリティ トリム スニペットの開始-->
  <!--SPM: <%@Register Tagprefix="SharePoint"
Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
```

```

    Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->

<!--MS:<SharePoint:SPSecurityTrimmedControl runat="server"
    Permissions="AddListItems">-->

<!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><span><!--PE:
    読み取り専用プレビューの終了-->

<div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black solid;
    background:yellow; color:black; margin:20px; padding:10px;">

    この div を、自分のセキュリティ トリム プロパティに基づいてレンダリングしたコン
    テンツで書き換えてください。

</div>

<!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでくださ
    い)--></span><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了-->

<!--ME:</SharePoint:SPSecurityTrimmedControl>-->

<!--CE: セキュリティ トリム スニペットの終了-->

</div>

```

7. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。
8. 前の手順で検索ボックス HTML スニペットを挿入した箇所 (赤字部分) を探します。

```

<div class="search-box">
    <div data-name="SearchBox"><!--CS: 検索ボックス スニペットの開始
    --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SearchWC"
    Namespace="Microsoft.Office.Server.Search.WebControls"
    Assembly="Microsoft.Office.Server.Search, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral,
    PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SearchWC:SearchB
    oxScriptWebPart UseSiteCollectionSettings="true"
    EmitStyleReference="false" ShowQuerySuggestions="false"
    ChromeType="None" UseSharedSettings="true"
    TryInplaceQuery="false" ServerInitialRender="true"
    runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく

```

```

ださい)--><div class="ms-webpart-chrome
ms-webpart-chrome-fullWidth "><div
WebPartID="00000000-0000-0000-0000-000000000000"
HasPers="true" id="WebPart" width="100%" class="ms-WPBody
noindex " OnlyForMePart="true" allowDelete="false"
style=""><div componentid="ctl00_ctl03_csr"
id="ctl00_ctl03_csr"><div id="SearchBox" name="Control"><div
class="ms-srch-sb ms-srch-sb-border"
id="ctl00_ctl03_csr_sboxdiv"><input type="text" value="検
索..." maxlength="2048" accessKey="S" title="検索..."
id="ctl00_ctl03_csr_sbox" autocomplete="off" autocorrect="off"
onkeypress="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {if
(Srch.U.isEnterKey(String.fromCharCode(event.keyCode)))
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);return Srch.U.cancelEvent(event);}})"
onkeydown="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.activateDefaultQuerySuggestionBe
havior();})"
onfocus="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.hidePrompt();ctl.setBorder(true)
;})" onblur="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl = $find('ctl00_ctl03_csr'); if
(ctl){ ctl.showPrompt(); ctl.setBorder(false);}})"
class="ms-textSmall ms-srch-sb-prompt ms-helperText" /><a
title="検索" class="ms-srch-sb-searchLink"
id="ctl00_ctl03_csr_SearchLink"
onclick="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function()
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);})" href="javascript: {}"></a></div></div></div><noscript><div

```

```

id="ctl00_ctl03_noscript">ブラウザーで JavaScript が有効になってい
ません。JavaScript を有効にして、やり直してください。

</div></noscript><div id="ctl00_ctl03"></div><div
class="ms-clear"></div></div></div><!--PE: 読み取り専用プレビュー
の終了--><!--ME:</SearchWC:SearchBoxScriptWebPart>--><!--CE:
検索ボックス スニペットの終了--></div>

</div>

```

9. 検索ボックス HTML スニペットの前後にセキュリティ トリム HTML スニペットの開始タグ部分 (赤字部分) と終了タグ部分 (赤字部分) を貼り付けます。

```

<div class="search-box">

<div data-name="SecurityTrimmedAuthors">

  <!--CS: セキュリティ トリム スニペットの開始-->

  <!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
    Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
    Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->

  <!--MS:<SharePoint:SPSecurityTrimmedControl runat="server"
    Permissions="AddListItems">-->

  <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><span><!--PE:
    読み取り専用プレビューの終了-->

<div data-name="SearchBox"><!--CS: 検索ボックス スニペットの開始
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SearchWC"
    Namespace="Microsoft.Office.Server.Search.WebControls"
    Assembly="Microsoft.Office.Server.Search, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral,
    PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SearchWC:SearchB
    oxScriptWebPart UseSiteCollectionSettings="true"
    EmitStyleReference="false" ShowQuerySuggestions="false"
    ChromeType="None" UseSharedSettings="true"
    TryInplaceQuery="false" ServerInitialRender="true"
    runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく

```

```

ださい)--><div class="ms-webpart-chrome
ms-webpart-chrome-fullWidth "><div
WebPartID="00000000-0000-0000-0000-000000000000"
HasPers="true" id="WebPart" width="100%" class="ms-WPBody
noindex " OnlyForMePart="true" allowDelete="false"
style=""><div componentid="ctl00_ctl03_csr"
id="ctl00_ctl03_csr"><div id="SearchBox" name="Control"><div
class="ms-srch-sb ms-srch-sb-border"
id="ctl00_ctl03_csr_sboxdiv"><input type="text" value="検
索..." maxlength="2048" accessKey="S" title="検索..."
id="ctl00_ctl03_csr_sbox" autocomplete="off" autocorrect="off"
onkeypress="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {if
(Srch.U.isEnterKey(String.fromCharCode(event.keyCode)))
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);return Srch.U.cancelEvent(event);}})"
onkeydown="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.activateDefaultQuerySuggestionBe
havior();})"
onfocus="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.hidePrompt();ctl.setBorder(true)
;})" onblur="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl = $find('ctl00_ctl03_csr'); if
(ctl){ ctl.showPrompt(); ctl.setBorder(false);}})"
class="ms-textSmall ms-srch-sb-prompt ms-helperText" /><a
title="検索" class="ms-srch-sb-searchLink"
id="ctl00_ctl03_csr_SearchLink"
onclick="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function()
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);})" href="javascript: {}"></a></div></div></div><noscript><div

```

id="ctl00\_ctl03\_noscript">ブラウザーで JavaScript が有効になっていません。JavaScript を有効にして、やり直してください。

```
</div></noscript><div id="ctl00_ctl03"></div><div class="ms-clear"></div></div></div><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了--><!--ME:</SearchWC:SearchBoxScriptWebPart>--><!--CE: 検索ボックス スニペットの終了--></div>
```

<!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--></span><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了-->

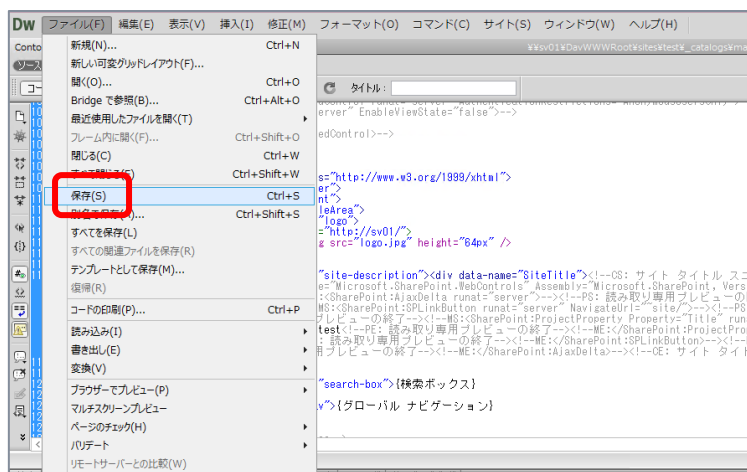
<!--ME:</SharePoint:SPSecurityTrimmedControl>-->

<!--CE: セキュリティ トリム スニペットの終了-->

</div>

</div>

## 10. HTML ファイルを上書き保存します。



### 3.6 マスター ページとして設定

HTML ファイルをマスター ページに変換する機能や SharePoint デザインに含めるべき各コントロールを HTML ファイルに含めるためのスニペット ギャラリーを利用して、ここまでマスター ページのデザインを行ってきました。

デザイン完成後は、必要に応じてサイトのマスター ページとして設定を行います。

#### ● 各リソースファイルをメジャーバージョンに発行

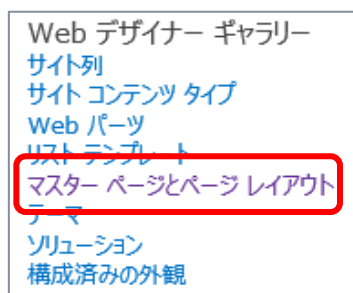
HTML ファイルやそこから参照する CSS ファイル、画像ファイルはマスター ページ ギャラリーにアップロードしました。これらのファイルや HTML ファイルを変換して作成されたマスター ページ ファイルは既定ではマイナー バージョンとしてマスター ページ ギャラリーに保存されています（マスター ページ ギャラリーは既定で メジャー/マイナー バージョン管理が有効となっています）。

サイトのマスター ページとして設定し、ユーザーに作成したデザインを展開するためにはまずこれらのファイルをメジャーバージョンに発行する必要があります。

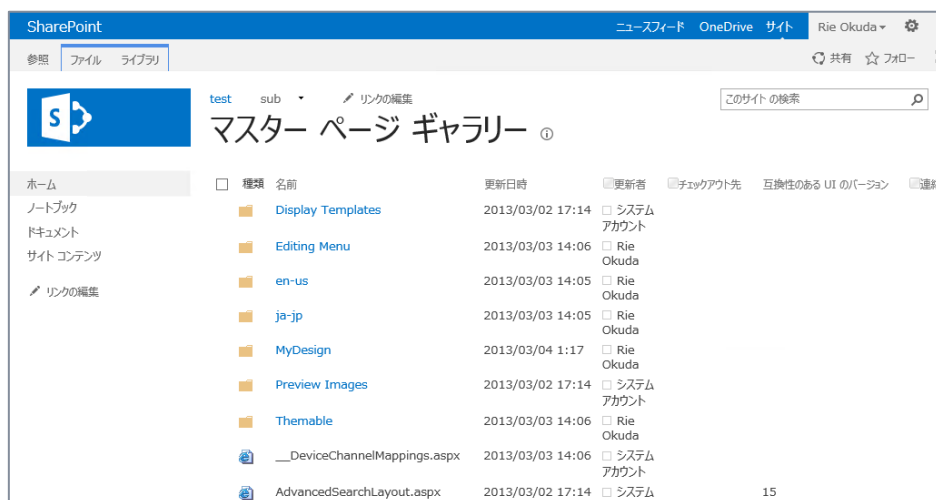
1. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



2. Web デザイナー ギャラリーカテゴリの [マスター ページとページ レイアウト] をクリックします。



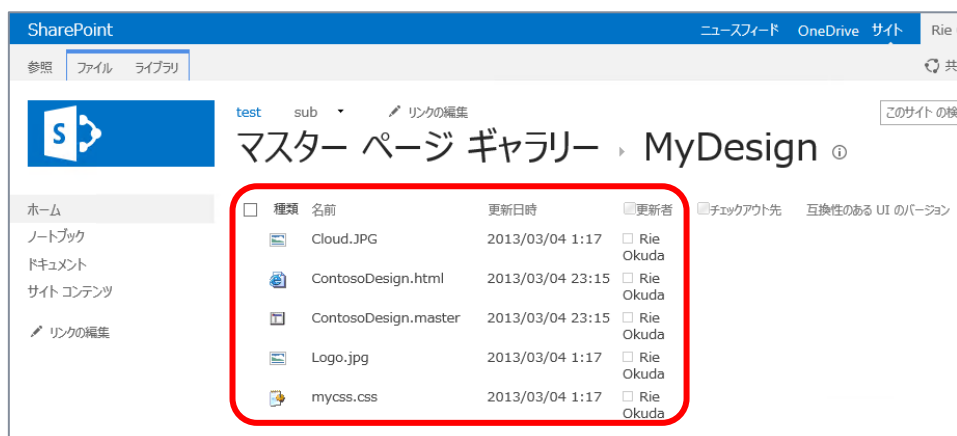
3. マスター ページ ギャラリーが開きます。



4. マスター ページ ギャラリーに保存した HTML ファイルや CSS ファイル、画像ファイルが格納されているフォルダーを開きます。

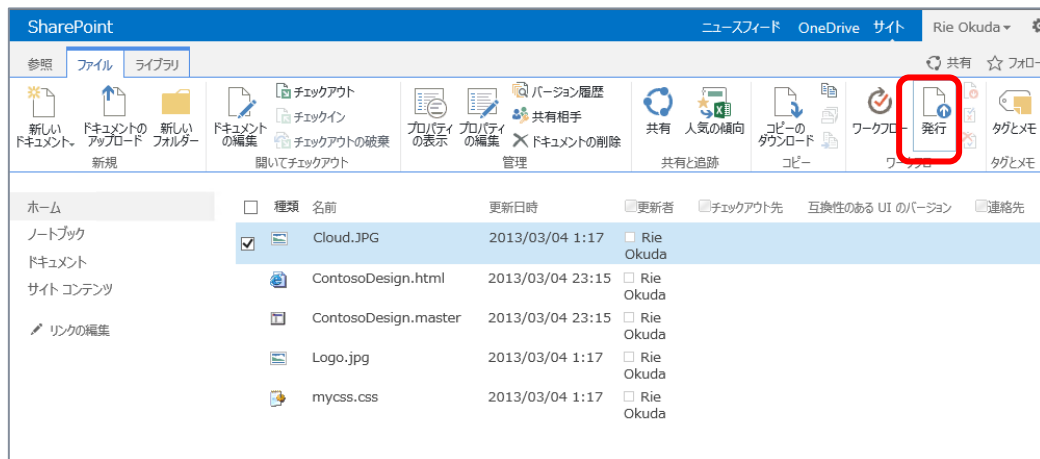
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は MyDesign フォルダーとなります。

HTML ファイル、CSS ファイル、画像ファイルのほかに、変換されて作成されたマスター ページ ファイルが確認できます。



5. すべてのファイルをメジャーバージョンに発行します。

ファイルを選択し [ファイル] タブの [発行] をクリックします。この作業を全ファイルに行います (HTML ファイルを発行すると、master ファイルは合わせて発行されます)。



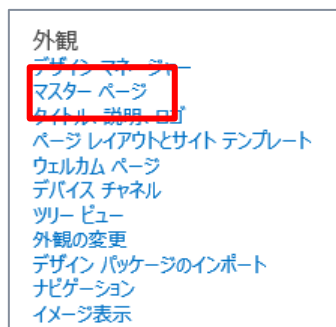
## ● サイトのマスター ページを設定変更

続いて作成したデザインを適用させたいサイトで、マスター ページの設定変更を行います。

1. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



2. 外観カテゴリーの [マスター ページ] をクリックします。



3. サイト マスター ページの設定画面が開きます。

[サイト マスター ページ]、[システム マスター ページ] とともに [MyDesign/ContosoDesign] を選択し、[OK] をクリックします。



4. サイトのマスター ページが変更され、作成したデザインが適用されます。

このように HTML ベースで用意したデザインに、リボン・サイト ロゴ・サイト名・グローバル ナビゲーション・検索ボックス（閲覧権限ユーザーには非表示）・コンテンツ エリアなどの SharePoint ページに必要なコントロールを備えたデザインを適用できます。



## 4. モバイル対応について

SharePoint 2013 ではモバイル対応機能が大きく強化されています。以前のバージョンである SharePoint 2010 でもモバイル ビュー機能はありましたが、SharePoint 2013 ではスマートフォンでの利用を考慮して用意されたコンテンポラリー表示や全画面 UI 表示機能が追加されています。モバイル デバイスで Web を参照することが一般的になってきた昨今のニーズに合わせるための新機能であり、コンテンポラリー表示を利用することで、スマートフォンやタブレットなどのモバイル デバイスでの表示に最適化された SharePoint 画面をユーザーに提供できます。

モバイルからのアクセスを行う際はモバイル ブラウザーに応じて次の表示オプションが用意されています。

### ■ クラシック表示

SharePoint 2010 のモバイル ビューと同様の機能です。HTML 形式での表示を行い、新機能であるコンテンポラリー表示を利用できないモバイル ブラウザー用です。

### ■ コンテンポラリー表示

SharePoint 2013 のモバイル新機能です。HTML 5 で表示されるこの形式は、最適化されたモバイル ブラウザー操作をユーザーに提供します。Windows Phone 7.5 の Mobile Internet Explorer バージョン 9.0 以降、iPhone iOS 5.0 の Safari バージョン 4.0 以降、Android 4.0 以降の Android ブラウザーで使用できます。

### ■ 全画面 UI 表示

スマートフォン デバイスで SharePoint サイトを全画面表示する機能が追加されています。



#### 4.1 サポートされているモバイル デバイス ブラウザー

モバイル デバイスの OS	OS のバージョン	ブラウザ	スマートフォン デバイス	スレート/ タブレット デバイス
<b>Windows Phone</b>	Windows Phone 7.5 以降のバージョン	Internet Explorer Mobile	サポート	該当なし
<b>Windows</b>	Windows 7 以降のバージョン	Internet Explorer	該当なし	サポート
<b>iOS</b>	5.0 以降のバージョン (※1)	Safari	サポート	サポート (※2)
<b>Android</b>	4.0 以降のバージョン (※3)	Android ブラウザー	サポート	サポート

※ 1 : ビデオの再生には、iOS 6.0 以降のバージョンが必要です。

※ 2 : iOS 6.0 以降のバージョンを使用する iPad バージョン 2 および 3 では、Office Web Apps のすべての機能がサポートされます。iOS バージョン 5. 1 を使用する iPad バージョン 1、2、3 でも、制限付きの表示と編集機能がサポートされます。

※ 3 : ビデオの再生には、Android 4.1 以降のバージョンが必要です。

- [参考] TechNet サポートされているモバイル デバイス ブラウザー (SharePoint 2013)  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/fp161353.aspx>
- [参考] TechNet SharePoint Server 2013 でモバイル ビューを計画する  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj673030.aspx>

## 4.2 モバイル ブラウザー ビューを利用するために

---

スマートフォン端末等のモバイル ブラウザーで SharePoint サイトにアクセスするためには、[モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能を、対象のサイトでアクティブ化する必要があります。このサイト機能をアクティブ化すると、そのサイトにモバイル ブラウザーでアクセスした際にまずそのブラウザーが HTML 5 を処理できるかどうかの確認が行われます。モバイル ブラウザーが HTML 5 をサポートしている場合、コンテンポラリー表示で画面が表示され、メニュー操作により全画面 UI 表示への切り替えも可能です。モバイル ブラウザーが HTML 5 をサポートしていない場合は、クラシック表示が利用されます。

[モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能は、下記サイト テンプレートを利用して作成されたサイトでは既定でアクティブ化されています。それ以外のサイト テンプレートを利用して作成されたサイトでは、明示的にアクティブ化が必要です。

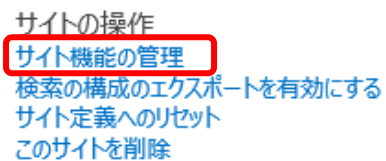
- チーム サイト
- 空のサイト
- ドキュメント ワークスペース
- ドキュメント センター
- プロジェクト サイト

## ● [モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能のアクティブ化方法

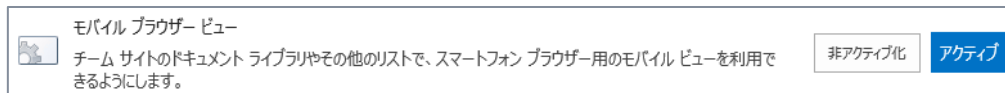
1. ブラウザーでサイトを開き、[設定] – [サイトの設定] をクリックし、サイトの設定画面を開きます。



2. サイトの操作カテゴリーの [サイト機能の管理] をクリックします。



3. [モバイル ブラウザー ビュー] をアクティブ化します。



## 5. モバイル対応デザインとデバイス チャンネル

---

SharePoint 2013 では前述のとおりモバイル ブラウザー対応が強化されています。4 章で解説したとおり、標準で [クラシック表示]・[コンテンポラリー表示]・[全画面 UI 表示] と利用しているモバイル デバイスに応じたモバイル ビューを提供する機能が搭載されています。

標準で搭載しているモバイル ビューを利用することで、リストやライブラリ内のデータなど SharePoint のさまざまな機能をモバイル端末経由で利用できるようになっています。また発行ページで構成される情報ポータル サイトでは、モバイル専用デザインのカスタマイズも可能です。モバイル専用デザインのカスタマイズについても SharePoint 2013 では行いやすくなっています。HTML ファイルをマスター ページに変換する機能はもちろん、新機能のひとつであるデバイス チャンネルを活用します。

デバイス チャンネルはユーザーが SharePoint サイトを表示しているデバイスやブラウザーの種類に応じて、同じ Web ページを異なるデザインで表示するための機能です。

ユーザーが Web ページにアクセスした際、そのサイトをホストしているサーバーに対して、ブラウザーから使用されているブラウザー、バージョン、OS 情報などを含むユーザー エージェント文字列が送信されます。デバイス チャンネルはユーザー エージェント文字列に基づき、さまざまなデバイスに対してそれぞれに最適な異なるデザインを提供するよう設定が行えます。

この章ではモバイル ブラウザー専用のデザイン（マスターページ）を作成し、デバイス チャンネルによってデザインを切り替える方法を解説します。

## 5.1 デバイス チャンネルの作成

SharePoint サイトを表示しているデバイスやブラウザの種類に応じて、同じ Web ページを異なるデザインで表示するためデバイス チャンネルを作成します。ここでは Windows Phone 用と iPhone 用と 2 つデバイス チャンネルを作成します。

1. [設定] - [デザイン マネージャー] をクリックします。



2. デザイン マネージャーが開きます。  
サイド リンク バーから [2. デバイス チャンネルの管理] をクリックします。



3. デバイス チャンネルの管理 画面で、[チャンネルの作成] をクリックします。



4. 入力フォームがダイアログで表示されます。Windows Phone 用のデバイス チャンネルを作成するため、次のように入力し [保存] をクリックします。

- 名前 : Windows Phone
- エイリアス : WindowsPhone
- 説明 : Windows Phone 用のデバイス チャンネルです。
- デバイス判定ルール : Windows Phone OS
- アクティブ : **チェック オン**

デバイス チャンネル - Windows Phone

編集

保存 キャンセル 貼り付け 切り取り コピー アイテムの削除 スペルチェック

更新 クリップボード 操作 スペル チェック

名前 \* Windows Phone  
作成者などがこのチャンネルを識別するための名前

エイリアス \* WindowsPhone  
コード、デバイス チャンネル パネル、プレビューなどのコンテキストにおいてこのチャンネルを識別するための単語を選択します。警告: チャンネル エイリアスを後から変更すると、マスターページのマッピング、デバイス チャンネル パネル、その他のカスタム コードやマークアップを手動で更新する必要があります。

説明 Windows Phone 用のデバイス チャンネルです。

デバイス判定ルール \* Windows Phone OS

デバイス チャンネルの概要

5. 次図のようにデバイス チャンネルが作成されます。

### デザイン マネージャー: デバイス チャンネルの管理

チャンネルを利用すると、サイトの閲覧に使うデバイスに基づいて固有のスタイルで代替のコンテンツを表示できます。

- [チャンネルの作成](#)
- [既存のチャンネルの編集または並べ替え](#)

アクティブ	名前	エイリアス	説明
はい	Windows Phone	WindowsPhone	Windows Phone 用のデバイス チャンネルです。
はい	既定	Default	このチャンネルは、サイトの既定のチャンネルです。他のチャンネルがアクティブでないか、デバイスのユーザー エージェント文字列がどのアクティブなチャンネルのデバイス判定ルールにも適合しない場合、デバイスの表示はこのチャンネルにより指定された外観になります。

6. 続いて 2 つ目のデバイス チャンネルを作成します。[チャンネルの作成] をクリックします。

### デザイン マネージャー: デバイス チャンネルの管理

チャンネルを利用すると、サイトの閲覧に使うデバイスに基づいて固有のスタイルで代替のコンテンツを表示できます。

- [チャンネルの作成](#)
- [既存のチャンネルの編集または並べ替え](#)

アクティブ	名前	エイリアス	説明
はい	Windows Phone	WindowsPhone	Windows Phone 用のデバイス チャンネルです。
はい	既定	Default	このチャンネルは、サイトの既定のチャンネルです。他のチャンネルがアクティブでないか、デバイスのユーザー エージェント文字列がどのアクティブなチャンネルのデバイス判定ルールにも適合しない場合、デバイスの表示はこのチャンネルにより指定された外観になります。

7. 入力フォームがダイアログで表示されます。iPhone 用のデバイス チャンネルを作成するため、次のように入力し [保存] をクリックします。

- 名前 : iPhone
- エイリアス : iPhone
- 説明 : iPhone 用のデバイス チャンネルです。
- デバイス判定ルール : iPhone
- アクティブ : **チェック オン**

デバイス チャンネル - 新しいアイテム

編集

保存 キャンセル 貼り付け 切り取り コピー ABC スpell チェック

名前 \* iPhone  
作成者などがこのチャンネルを識別するための名前

エイリアス \* iPhone  
コード、デバイス チャンネル パネル、プレビューなどのコンテキストにおいてこのチャンネルを識別するための単語を選択します。警告: チャンネル エイリアスを後から変更すると、マスター ページのマッピング、デバイス チャンネル パネル、その他のカスタム コードやマークアップを手動で更新する必要があります。

説明  
iPhone 用のデバイス チャンネルです。

デバイス判定ルール \* iPhone

8. 次図のようにデバイス チャンネルが作成されます。

デザイン マネージャー: デバイス チャンネルの管理				
チャンネルを利用すると、サイトの閲覧に使うデバイスに基づいて固有のスタイルで代替のコンテンツを表示できます。				
<ul style="list-style-type: none"><li>チャンネルの作成</li><li>既存のチャンネルの編集または並べ替え</li></ul>				
アクティブ	名前	エイリアス	説明	
はい	Windows Phone	WindowsPhone	Windows Phone 用のデバイス チャンネルです。	
はい	iPhone	iPhone	iPhone 用のデバイス チャンネルです。	
はい	既定	Default	このチャンネルは、サイトの既定のチャンネルです。他のチャンネルがアクティブでないか、デバイスのユーザー エージェント文字列がどのアクティブなチャンネルのデバイス判定ルールにも適合しない場合、デバイスの表示はこのチャンネルにより指定された外觀になります。	

各デバイス チャンネルには、そのデバイス チャンネルが適用されるブラウザーやデバイスを指定するためのデバイス判定ルールを定義できます。既定で用意されている [Default] チャンネルはすべてのユーザーエージェント文字列に対応します。

例えば次のような判定ルールをデバイス チャンネルで作成したとします。

1. Windows Phone OS 7.5
2. Windows Phone OS
3. 既定

Windows Phone OS 7.5 を利用した場合、1 番目のデバイス チャンネルによってデザインが提供されます。Windows Phone OS 7 を利用した場合は 2 番目のデバイス チャンネルが適用され、それ以外の場合（デスクトップ ブラウザーなど）は既定のデバイス チャンネルが適用されます。

またデバイス判定ルールではモバイル デバイスについて次のような設定が可能です。

デバイス	ユーザー エージェント文字列（デバイス判定ルールの設定）
<b>Windows Phone</b>	Windows Phone OS 7.5
	Windows Phone OS（すべての Windows Phone）
<b>iPhone</b>	iPhone
<b>iPad</b>	iPad
<b>Android</b>	Android

## 5.2 モバイル ブラウザー専用デザインの作成

---

モバイル ブラウザー専用として提供するためのデザインを作成します。[3. HTML エディターを利用したマスター ページの編集] で解説した内容と同様に HTML ファイルで用意したデザインをマスターページに変換する機能を利用します。

### ● HTML デザインの用意

---

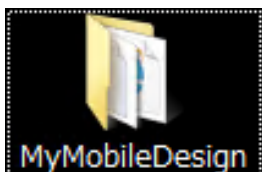
デザインのベースとなる HTML ファイルを用意します。任意に用意いただいた HTML ファイル (CSS ファイル、画像ファイル等のリソース ファイルを含む) を利用してください。

この自習書では次のような HTML デザインを利用します。同じデザインを利用して手順を試されたい場合には HTML ファイルを用意する事前準備として下記手順を行ってください (任意に用意いただいた HTML ファイルを利用される際にはこの手順は必要ありません)。

タイトル
Search <input type="text"/>
Category A
Excel
Word
PowerPoint
Outlook
OneNote
Category B
Webパーツタイトル
ですと
SharPoint 2013

### ■ フォルダーの作成

1. デスクトップに新しいフォルダーを作成し、フォルダー名を「MyMobileDesign」とします。



## ■ CSS ファイルの作成

1. 任意のテキスト エディターで、下記ソース コードをコピーします。

```
/* 全体のフォントスタイル、マージンを指定 */

html, body {
    font-family:Meiryo UI;
    font-size:12pt;
    margin:1px;}

/* ハイパーリンクのスタイルを指定 テキスト装飾なし、文字色 */

a, a:link, a:active, a:visited {
    text-decoration:none;
    color: white;}

/* ハイパーリンクホバー時のスタイルを指定 下線なし */

a:hover {
    text-decoration:underline;}

/* 改行タグのスタイルを指定 回り込みなし */

.clear {
    clear:both;}

/* サイトタイトルを表示する div タグに適用するスタイル フォントサイズ、色、余白、背景色 */

.siteTitle {
    font-size:20pt;
    padding:0px 4px 4px 4px;
    background-color:#3366CC;
    color:white;}

/* 検索ボックスを表示する div タグに適用するスタイル 回り込みなし、マージン、余白(下) */

#searchBox {
    clear:both;
    margin:4px 0px;
    padding-bottom:4px;}
```

```

/* 検索ボックスのサイズ */

#searchBox input {
    width: 220px;}

/* 検索ボックスを div タグ内で左寄せ */

.searchBoxSmall {
    float:left;}

.searchLinkBG {
    float:left;
    width:22px;
    height:20px;}

/* メニューが含まれる div タグのスタイル 枠線(上)、横幅 */

#bodyContainer {
    border-top: 1px #666666 solid;
    clear:both;
    width:100%;}

/* メニュー内 UL タグ マージン(左)、余白(左) */

#menuWrapper ul {
    margin-left:0px;
    padding-left:0px;}

/* メニュー内 LI タグ リストスタイル、余白、マージン(上) */

#menuWrapper li {
    list-style:none;
    padding: 2px;
    margin-top: 1px;}

/* メニュー内 UL>LI タグ 余白(左)、マージン(左)、背景色 */

#menuWrapper > ul > li {
    padding-left:24px;
    margin:2px 0;
    background-color:silver;}

```

```

/* メニュー内 LI>LI タグ 背景色、マージン(左)、余白(左) */

#menuWrapper li li {
    background-color:#DEDEDE;
    margin-left:-22px;
    padding-left:32px;
    background-image:none;}

/* div タグに指定 フォントサイズ、余白、背景色、文字色 */

.ms-WebPart-TitleText, .ms-WebPart-TitleText > a {
    font-size:large;
    padding: 4px;
    background-color:#6F92DB;
    color:white;}

/* div タグに指定 文字色、余白 */

.mH1 {
    color:#3366CC;
    padding:4px;}

/* div タグに指定 余白*/

.ms-WPBody {
    padding:4px 2px;}

```

2. [MyMobileDesign] フォルダー内に「**mobilecss.css**」として保存します。

## ■ HTML ファイルの作成

1. 任意のテキスト エディターで、下記ソース コードをコピーします。

```
<!DOCTYPE html>
  <html>
  <head>

<meta content="text/html; charset=utf-8" http-equiv="Content-Type">

  <meta name="HandheldFriendly" content="True">
  <title>Mobile Design</title>

<script
  src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.7.0/jquery
  .min.js"></script>

<link rel="stylesheet" href="mobilecss.css">

<!--メニュー内の LI タグをクリック slidedown/slideup するように動作する script-->

<script type="text/javascript">
  $(document).ready(function() {
    $('#menuWrapper > ul > li').addClass('ulExpand');
    $('#menuWrapper ul
    li:not(:has(li.current))").find("ul").hide().end()
    .click(function(e) {
      if (this == e.target) {
        $(this).children('ul').slideToggle('fast');
        $(this).toggleClass('ulCollapse');
      }
    });
  });
</script>

</head>

<body>
  <div class="siteTitle">タイトル</div>
  <div id="searchBox">
    <div class="searchBoxSmall">検索<input title="検索.." ></div>
    <div class="searchLinkBG"> </div>
```

```

        <br class="clear">
    </div>

<div id="bodyContainer">
    <div id="menuWrapper">
        <ul>
            <li><a href="mobile2.html">Category A</a>
            <ul>
                <li><a href="mobile2.html">Excel</a></li>
                <li><a href="mobile2.html">Word</a></li>
                <li><a href="mobile2.html">PowerPoint</a></li>
                <li><a href="mobile2.html">Outlook</a></li>
                <li><a href="mobile2.html">OneNote</a></li>
            </ul>
        </li>
            <li><a href="mobile2.html">Category B</a>
            <ul>
                <li><a href="mobile2.html">InfoPath</a></li>
                <li><a href="mobile2.html">Access</a></li>
            </ul>
        </li>
    </ul>
    </div>

</div>

<div class="clear" style="height:1px; margin:2px 0"></div>

<div class="mWebPart">
    <div class="ms-WebPart-TitleText">Web パーツタイトル</div>
    <div class="mH1">てすと</div>
    <div class="ms-WPBody"> SharPoint 2013</div>

</div>

</body>

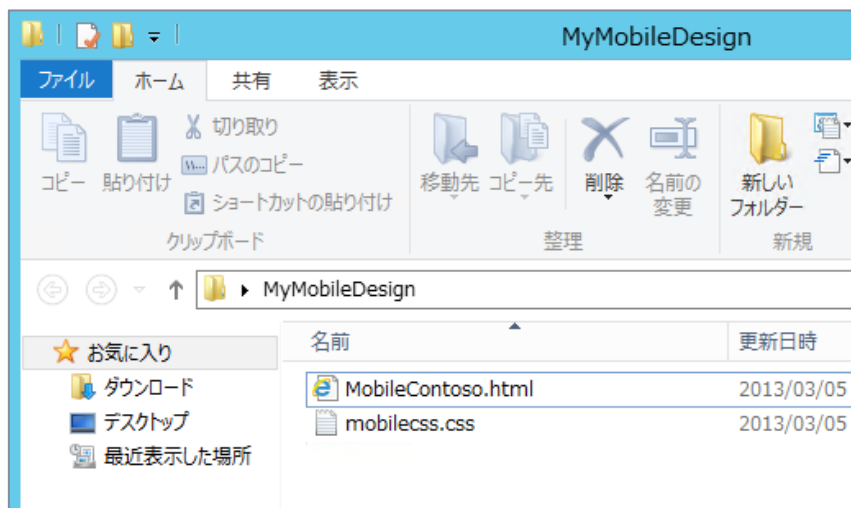
</html>

```

2. [MyDesign] フォルダー内に「**MobileContoso.html**」として保存します。

## ■ 内容の確認

1. ここまでの手順で [MyMobileDesign] フォルダの内容は次図のようになります。



2. MobileContoso.html をダブル クリックしてブラウザーで開き、次図のように表示されることを確認します (HTML 内の javascript による動作です)。



※ 各カテゴリーの前をクリックすると、カテゴリー内の内容を展開できるよう javascript コードが含まれていますが、jquery.min.js ファイルへの参照が含まれるためインターネットに接続できる環境でのみカテゴリーの展開機能が利用できます。

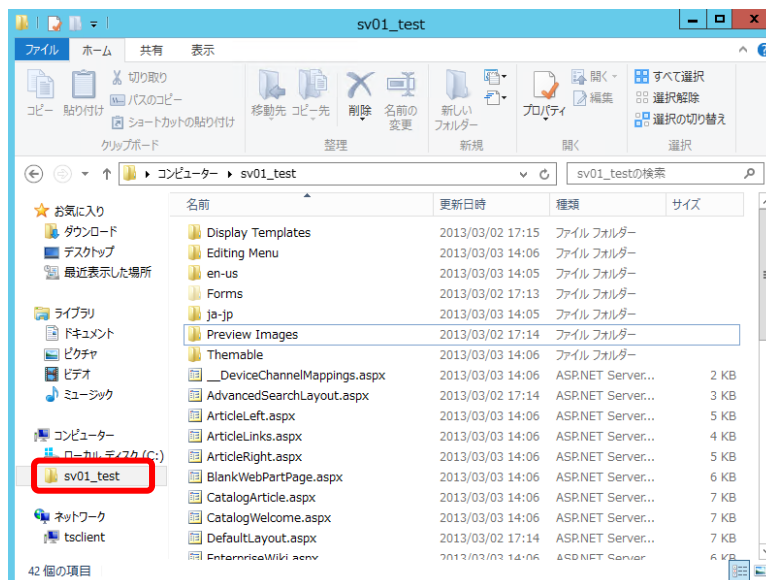
## ● マスター ページ ギャラリーに HTML ファイルをアップロード

マスター ページ ギャラリーに用意した HTML ファイルをアップロードします。HTML ファイルから参照するリソース ファイル (CSS ファイルや js ファイル、画像リソース ファイルなど) がある場合は HTML ファイルと同様にアップロードします。

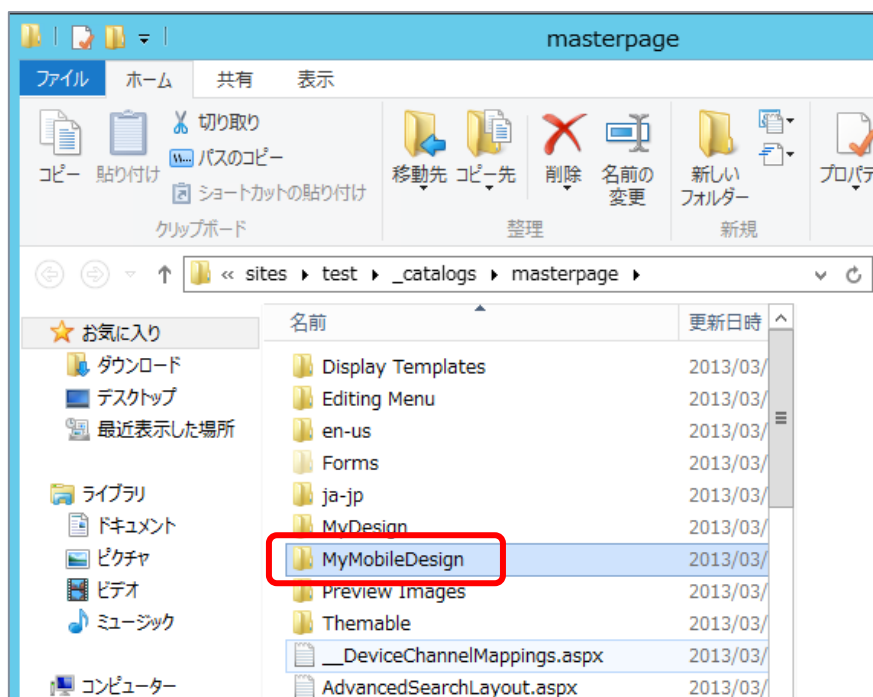
またアップロード作業は、[3.2 マスター ページ ギャラリーをネットワーク ドライブとして設定] で作成したネットワーク ドライブを利用して行います。3.2 の手順を行っていない場合は、まずそちらを行ってください。

手順は前のステップ (HTML デザインの用意) により作成した HTML ファイルをマスター ページ ギャラリーにアップロードしていますが、任意の HTML ファイルを利用する場合はそれらのファイルをマスター ページ ギャラリーにアップロードしてください。

1. Windows エクスプローラーで、あらかじめ用意したショートカットよりマスター ページ ギャラリーを開きます。



2. ローカルから Windows エクスプローラー上へドラッグ アンド ドロップ操作で、MyMobileDesign フォルダーごとマスター ページ ギャラリーにアップロードします。

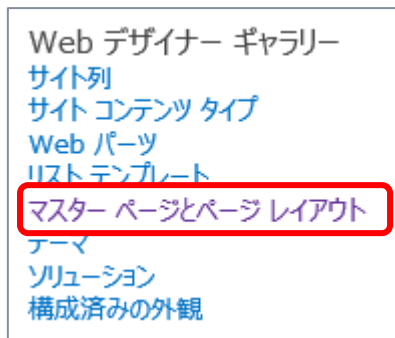


3. ブラウザーでマスター ページ ギャラリーを開き、Windows エクスプローラーでアップロードしたファイルを確認します。

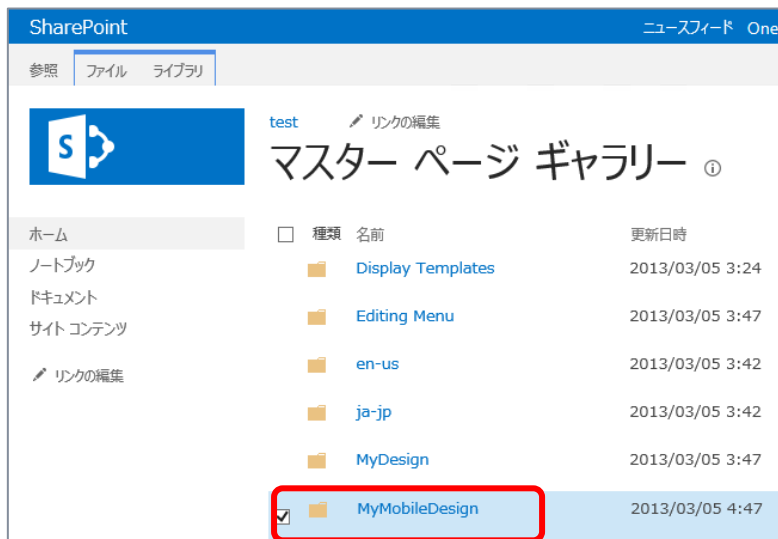
ブラウザーでサイトを開き、[設定] – [サイトの設定] をクリックします。



4. Web デザイナー ギャラリーカテゴリの [マスター ページとページ レイアウト] をクリックします。



5. マスター ページ ギャラリーがブラウザーで開きます。  
アップロードした内容が存在することを確認します。



## ● HTML ファイルをマスター ページに変換

HTML ファイルをマスター ページに変換する機能を利用し、前の手順でマスター ページ ギャラリーにアップロードした HTML ファイルをマスター ページに変換します。

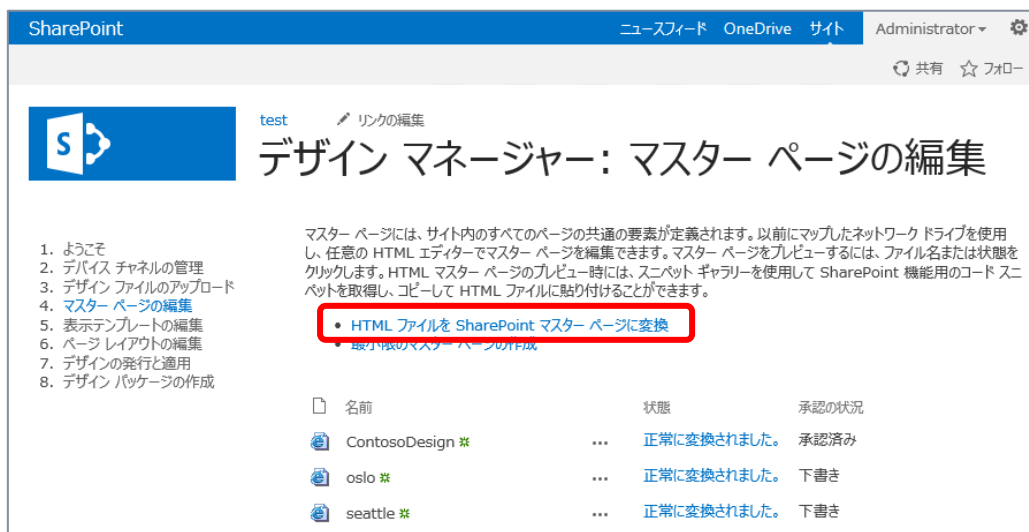
1. トップ レベル サイトで [設定] - [デザイン マネージャー] をクリックします。



2. デザイン マネージャーが開きます。  
サイド リンク バーから [4. マスター ページの編集] をクリックします。



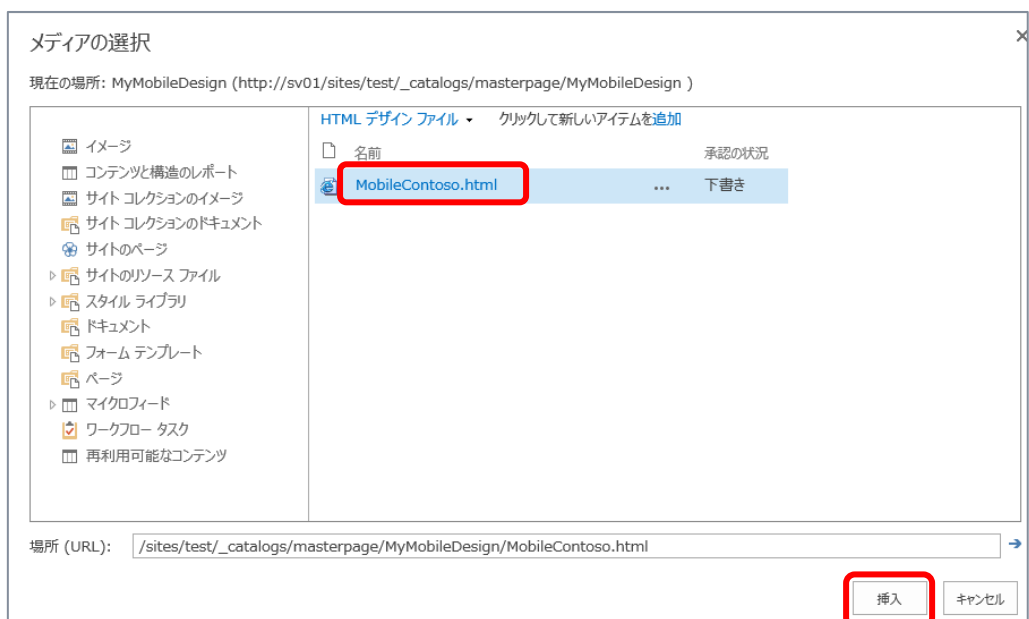
3. [HTML ファイルを SharePoint マスター ページに変換] をクリックします。



4. [メディアの選択] ダイアログが表示されます。

マスター ページ ギャラリー内の内容が表示されるので、[MyMobileDesign] / MobileContoso.html を選択し [挿入] をクリックします。

※ 任意の HTML ファイルを利用する場合は、そちらを選択してください。



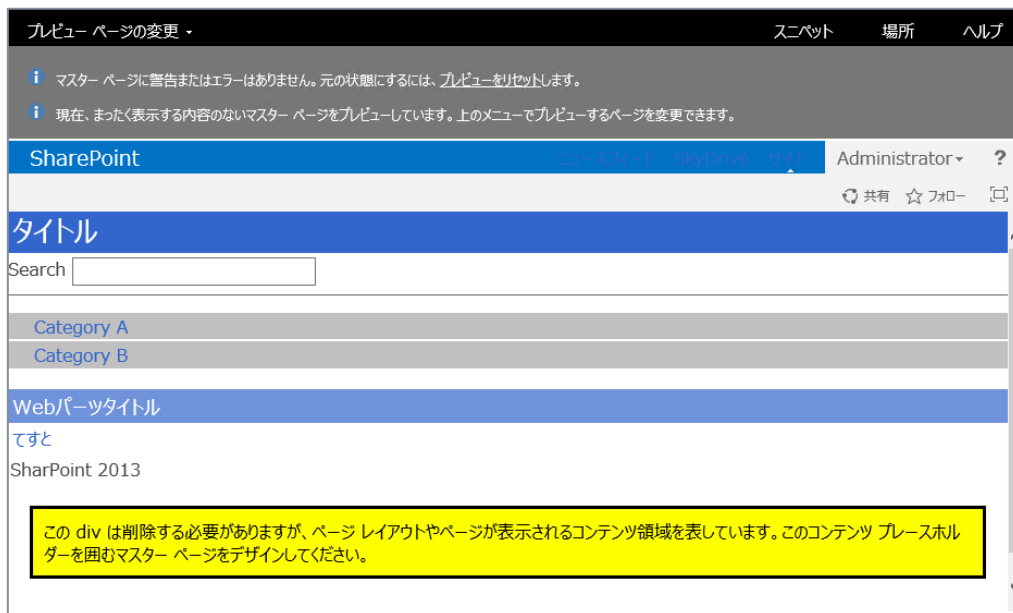
5. [デザイン マネージャー：マスター ページの編集] 画面内の一覧に MobileContoso (or 任意のファイル名) が表示されます。また状態が「正常に変換されました。」となっていることを確認します。



6. ハイパーリンクとなっている「正常に変換されました。」をクリックします。



7. マスター ページに変換された内容のプレビューが開きます。

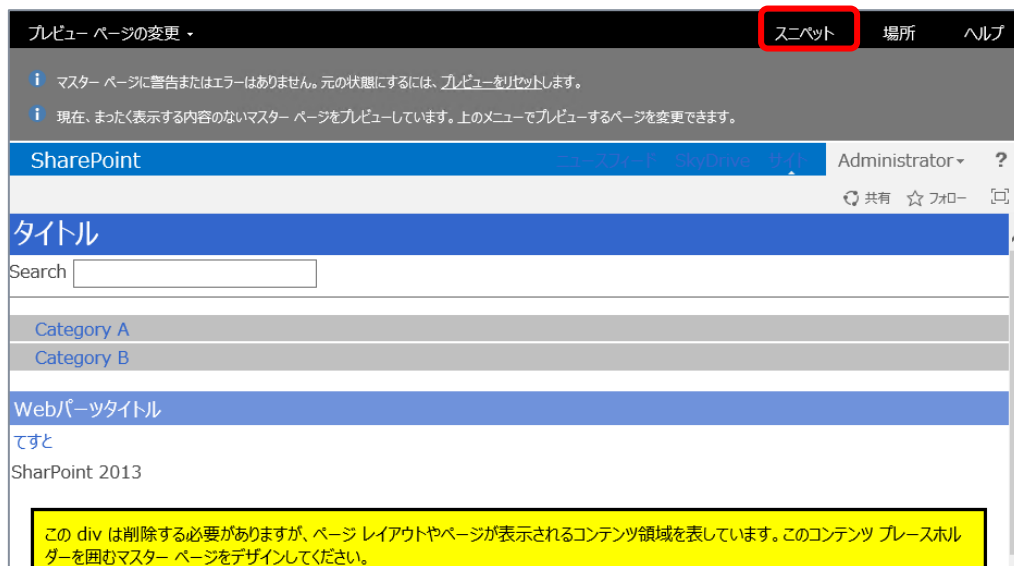


## ● SharePoint デザインに必要な内容の追加

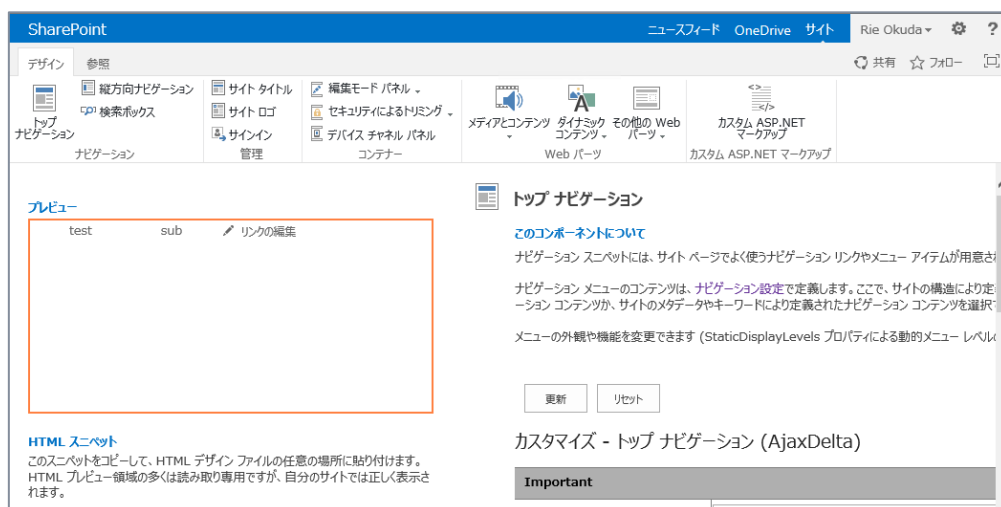
スニペット ギャラリーを利用し、SharePoint デザインに必要な各種コントロール（サイトのタイトル、検索ボックス、コンテンツ エリア）を MobileContoso.html に追加します。HTML ファイルの編集作業には一般的な Web 編集ツールの例として Dreamweaver を利用します。

※ この自習書の手順では HTML 編集ツールとして Dreamweaver を利用しますが、その他の Web 編集ツールを利用することも可能です。また Web 編集ツールを用意できない場合にはテキスト エディターを利用いただいてもかまいません。

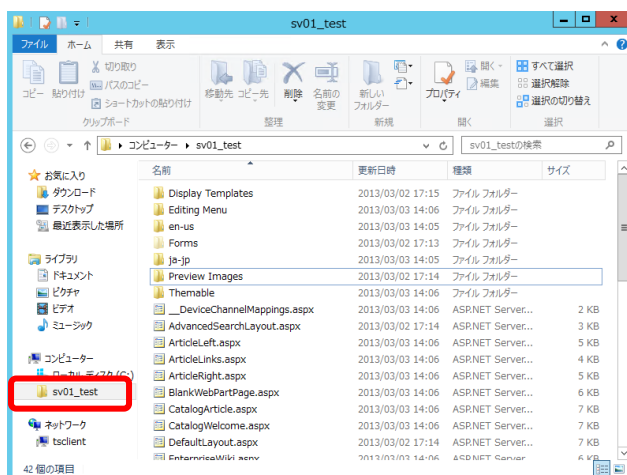
1. プレビュー画面で右上にある [スニペット] をクリックします。



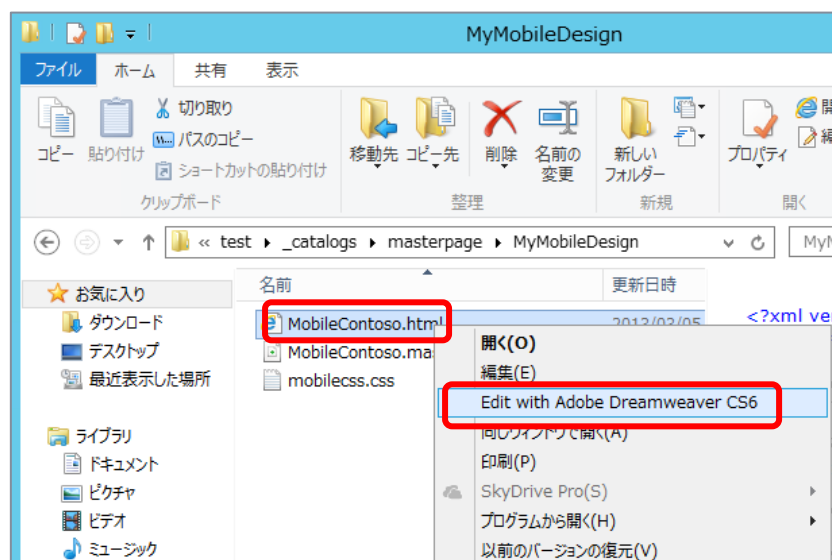
2. 別タブ（もしくは別ウィンドウ）でスニペット ギャラリーが開きます。



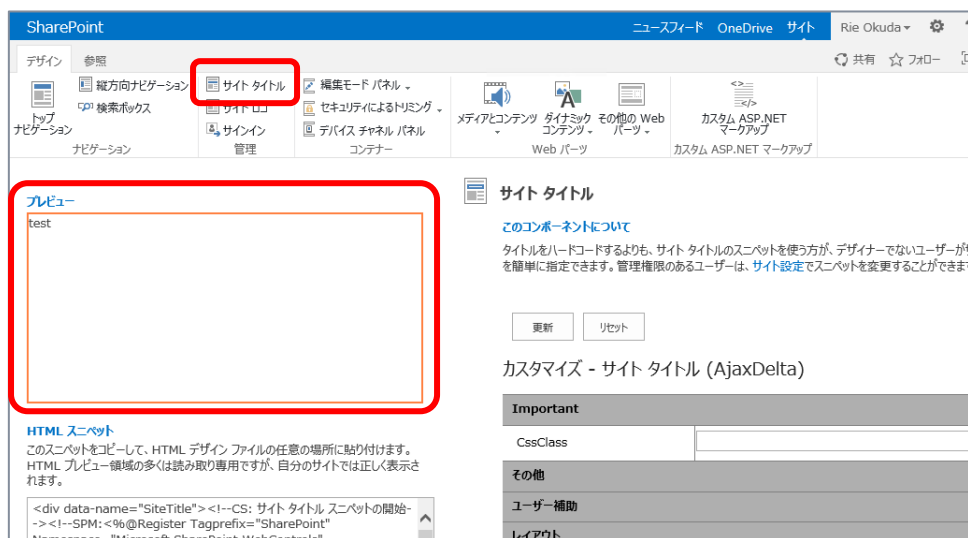
3. Windows エクスプローラーで、ショートカットよりマスター ページ ギャラリーを開きます。



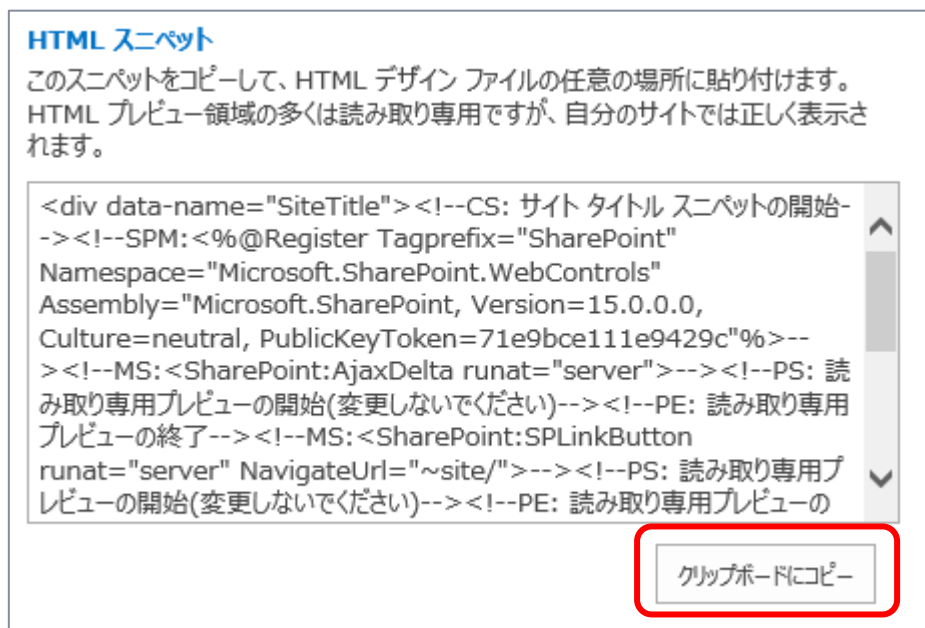
4. Windows エクスプローラーで開いたマスター ページ ギャラリーから HTML ファイル (MobileContoso.html or 任意で用意した HTML ファイル) を任意の Web 編集ツールで開きます (ここでは Dreamweaver を利用します)。



5. HTML ファイルが開き、リボン メニューの定義など SharePoint デザインとして必要なソース コードが自動的にコメントとして追加されていることが確認できます。
6. まずはサイト名を表示するためのコントロールを配置します。  
ブラウザで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。
7. リボンから、[サイト タイトル] をクリックします。  
プレビューに現在開いているサイトの名前が表示されていることが確認できます。



8. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。



9. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。
10. サイト名を表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、タイトル の箇所を上書きしてください。

#### <元のソース>

```
<div class="siteTitle">タイトル</div>
```

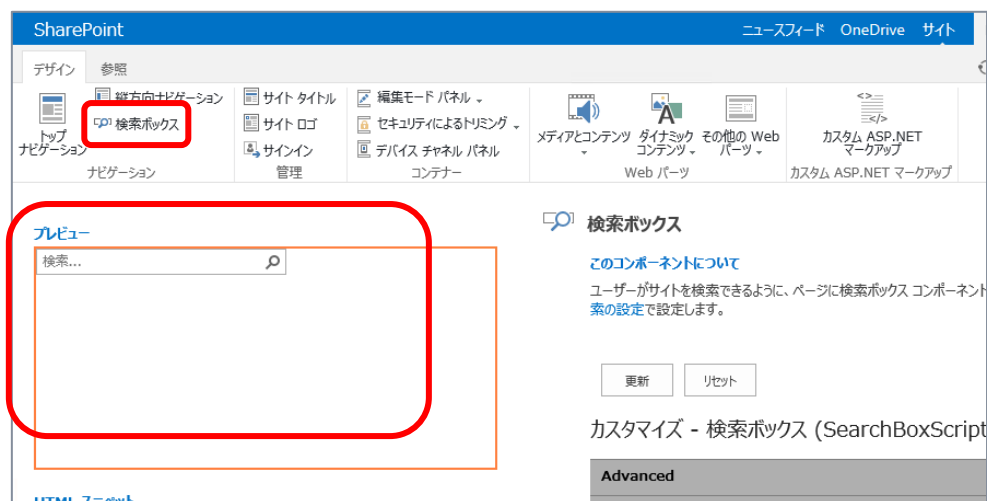
#### <貼り付けた後のソース>

```
<div class="siteTitle">
  <div data-name="SiteTitle"><!--CS: サイト タイトル スニペットの開始
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
  Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
  Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
  Culture=neutral,
  PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SharePoint:AjaxD
  elta runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しな
  いでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了
  --><!--MS:<SharePoint:SPLinkButton runat="server"
  NavigateUrl="~/site/">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更し
  ないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了
  --><!--MS:<SharePoint:ProjectProperty Property="Title"
  runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく
  ださい)-->test<!--PE: 読み取り専用プレビューの終了
  --><!--ME:</SharePoint:ProjectProperty>--><!--PS: 読み取り専用
  プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの
  終了--><!--ME:</SharePoint:SPLinkButton>--><!--PS: 読み取り専用
  プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの
  終了--><!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>--><!--CE: サイト タイトル ス
  ニペットの終了--></div>
</div>
```

11. 続いて、検索ボックスを配置します。  
ブラウザーで開いておいたスニペット ギャラリーを開きます。

12. リボンから、[検索ボックス] をクリックします。

プレビューに検索ボックスが表示されていることが確認できます。



13. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。



14. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。

15. 検索ボックスを表示したい箇所に、スニペット ギャラリーからコピーしたソース コードを貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、検索 の箇所を上書きしてください。

#### <元のソース>

```
<div class="searchBoxSmall">検索<input title="検索..." /></div>
```

#### <貼り付けた後のソース>

```
<div class="searchBoxSmall">
  <div data-name="SearchBox"><!--CS: 検索ボックス スニペットの開始
  --><!--SPM:<%@Register Tagprefix="SearchWC"
  Namespace="Microsoft.Office.Server.Search.WebControls"
  Assembly="Microsoft.Office.Server.Search, Version=15.0.0.0,
  Culture=neutral,
  PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>--><!--MS:<SearchWC:SearchB
  oxScriptWebPart UseSiteCollectionSettings="true"
  EmitStyleReference="false" ShowQuerySuggestions="false"
  ChromeType="None" UseSharedSettings="true"
  TryInplaceQuery="false" ServerInitialRender="true"
  runat="server">--><!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでく
  ださい)--><div class="ms-webpart-chrome
  ms-webpart-chrome-fullWidth "><div
  WebPartID="00000000-0000-0000-0000-000000000000"
  HasPers="true" id="WebPart" width="100%" class="ms-WPBody
  noindex " OnlyForMePart="true" allowDelete="false"
  style=""><div componentid="ctl00_ctl03_csr"
  id="ctl00_ctl03_csr"><div id="SearchBox" name="Control"><div
  class="ms-srch-sb ms-srch-sb-border"
  id="ctl00_ctl03_csr_sboxdiv"><input type="text" value="検
  索..." maxlength="2048" accessKey="S" title="検索..."
  id="ctl00_ctl03_csr_sbox" autocomplete="off" autocorrect="off"
  onkeypress="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
  'Srch.U', function() {if
  (Srch.U.isEnterKey(String.fromCharCode(event.keyCode)))
  {$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
  .value);return Srch.U.cancelEvent(event);}})"
  onkeydown="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
```

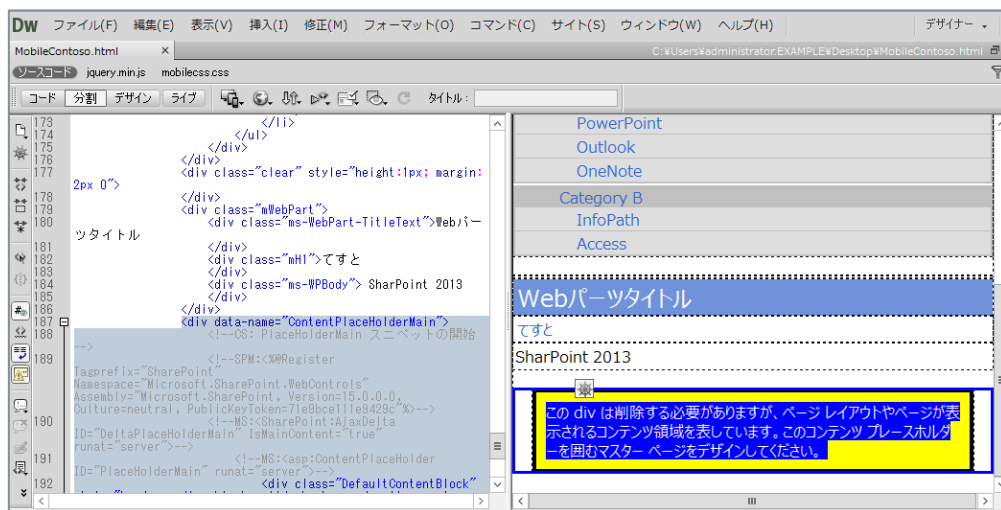
```

'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.activateDefaultQuerySuggestionBehavior();})"
onfocus="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl =
$find('ctl00_ctl03_csr');ctl.hidePrompt();ctl.setBorder(true);})" onblur="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function() {var ctl = $find('ctl00_ctl03_csr'); if
(ctl){ ctl.showPrompt(); ctl.setBorder(false);}})"
class="ms-textSmall ms-srch-sb-prompt ms-helperText" /><a
title="検索" class="ms-srch-sb-searchLink"
id="ctl00_ctl03_csr_SearchLink"
onclick="EnsureScriptFunc('Search.ClientControls.js',
'Srch.U', function()
{$find('ctl00_ctl03_csr').search($get('ctl00_ctl03_csr_sbox')
.value);})" href="javascript: {}"></a></div></div></div><noscript><div
id="ctl00_ctl03_noscript">ブラウザーで JavaScript が有効になってい
ません。JavaScript を有効にして、やり直してください。
</div></noscript><div id="ctl00_ctl03"></div><div
class="ms-clear"></div></div></div><!--PE: 読み取り専用プレビュー
の終了--><!--ME:</SearchWC:SearchBoxScriptWebPart>--><!--CE:
検索ボックス スニペットの終了--></div>

```

</div>

16. つづいてコンテンツ エリアを編集します。
17. HTML 編集ツールで、編集中の HTML ファイルを開きます。
18. プレビュー画面などで画面下部に配置されている明るい黄色の領域 (DIV タグ) を見つけます。



19. 対応するソース コードを切り取ります。  
下記が対応するソース コードです。

```
<div data-name="ContentPlaceholderMain">

  <!--CS: PlaceholderMain スニペットの開始-->

  <!--SPM:<%@Register Tagprefix="SharePoint"
  Namespace="Microsoft.SharePoint.WebControls"
  Assembly="Microsoft.SharePoint, Version=15.0.0.0,
  Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
  <!--MS:<SharePoint:AjaxDelta ID="DeltaPlaceholderMain"
  IsMainContent="true" runat="server">-->
  <!--MS:<asp:ContentPlaceholder ID="PlaceholderMain"
  runat="server">-->
  <div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black
  solid; background:yellow; color:black; margin:20px;
  padding:10px;">

    この div は削除する必要がありますが、ページ レイアウトやページが表示さ
    れるコンテンツ領域を表しています。このコンテンツ プレースホルダーを囲むマスター
    ページをデザインしてください。

  </div>
```

```
<!--ME:</asp:ContentPlaceholder>-->
<!--ME:</SharePoint:AjaxDelta>-->
<!--CE: PlaceholderMain スニペットの終了-->
</div>
```

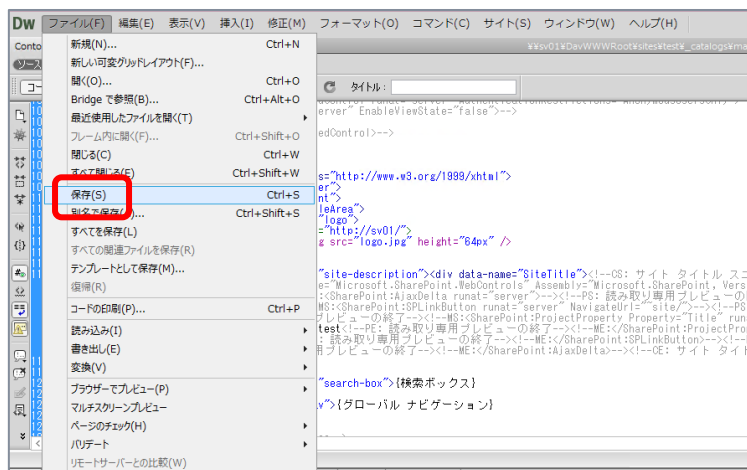
20. 切り取ったソース コードをコンテンツ エリアとして表示させたい箇所に貼り付けます。  
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は、<div class="mWebPart">の次行内に挿入してください。
21. ソース コードより明るい黄色領域である div タグを削除します。  
削除するのは、下記ソース コードです。

```
<div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black solid;
background:yellow; color:black; margin:20px; padding:10px;">
```

この div は削除する必要がありますが、ページ レイアウトやページが表示されるコンテンツ領域を表しています。このコンテンツ プレースホルダーを囲むマスター ページをデザインしてください。

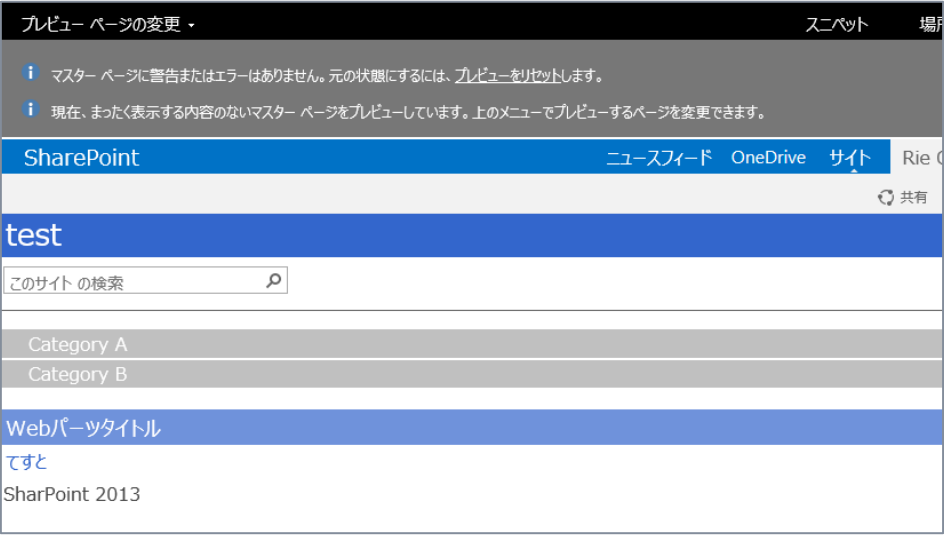
```
</div>
```

22. HTML ファイルを上書き保存します。



23. ブラウザーで開いておいたプレビュー画面に戻ります。

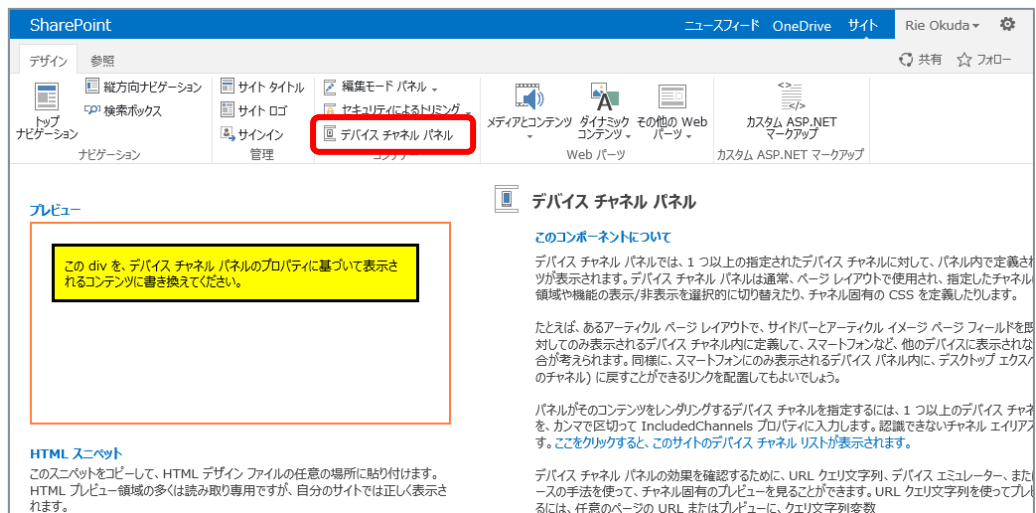
24. F5 など画面を更新すると、プレビュー内容が更新されます。



## ● デバイス チャネル パネルの利用

スニペット ギャラリーから提供されるデバイス チャネル パネルを利用すると、デバイス チャネルに応じてレンダリングされるコンテンツを制御できます。ここではデバイス チャネル パネルを利用して特定のデバイス チャネル (iPhone) でのみリボン メニューを非表示にする javascript をレンダリングするように編集します。

1. スニペット ギャラリーでリボンより [デバイス チャネル パネル] をクリックします。



The screenshot shows the SharePoint interface with the 'デバイス チャネル パネル' (Device Channel Panel) web part selected in the ribbon. A yellow box highlights the instruction: 'この div を、デバイス チャネル パネルのプロパティに基づいて表示されるコンテンツに書き換えてください。' (Replace this div with content displayed based on the Device Channel Panel properties). The right side of the interface shows the 'デバイス チャネル パネル' configuration panel with instructions on how to use it to display content for specific devices like smartphones.

2. 右側に表示されるプロパティ編集メニューで、[IncludedChannels] プロパティに 5.1 で作成したデバイス チャネルのエイリアスである [iPhone] を指定します。

カスタマイズ - デバイス チャネル パネル (DeviceChannelPanel)	
<b>Important</b>	
IncludedChannels	iPhone
<b>その他</b>	

3. [更新] をクリックします。

4. プレビューの下にある HTML スニペットに表示されているソース コードをコピーします。

### HTML スニペット

このスニペットをコピーして、HTML デザイン ファイルの任意の場所に貼り付けます。  
HTML プレビュー領域の多くは読み取り専用ですが、自分のサイトでは正しく表示されます。

```
<div data-name="DeviceChannelPanel">
  <!--CS: デバイス チャネル パネル スニペットの開始-->
  <!--SPM:<%@Register Tagprefix="Publishing"
    Namespace="Microsoft.SharePoint.Publishing.WebControls"
    Assembly="Microsoft.SharePoint.Publishing, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
  <!--MS:<Publishing:DeviceChannelPanel runat="server"
    IncludedChannels="iPhone">-->
  <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専用プレビューの終了-->
```

クリップボードにコピー

5. コピーしたコードをいったんメモ帳などのテキスト エディターに貼り付け内容を確認します。

コード内に含まれる `<div class="DefaultContentBlock"` タグ (赤字部分) がデバイス チャネルによってレンダリングが制御される内容となります。この部分に今回はリボンを非表示とする CSS を挿入したいと考えています。

```
<div data-name="DeviceChannelPanel">

  <!--CS: デバイス チャネル パネル スニペットの開始-->

  <!--SPM:<%@Register Tagprefix="Publishing"
    Namespace="Microsoft.SharePoint.Publishing.WebControls"
    Assembly="Microsoft.SharePoint.Publishing, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->

  <!--MS:<Publishing:DeviceChannelPanel runat="server"
    IncludedChannels="iPhone">-->

  <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE:
  読み取り専用プレビューの終了-->

  <div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black
  solid; background:yellow; color:black; margin:20px;
  padding:10px;">

    この div を、デバイス チャネル パネルのプロパティに基づいて表示されるコンテン
    ツに書き換えてください。

  </div>
```

```

        <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE:
        読み取り専用プレビューの終了-->

        <!--ME:</Publishing:DeviceChannelPanel>-->

        <!--CE: デバイス チャネル パネル スニペットの終了-->

</div>

```

6. HTML 編集ツール (ここでは Dreamweaver) に戻ります。
7. HTML 内の <body> タグ内 (</body> タグのすぐ上) にデバイス チャネル パネル HTML スニペット (コピーしたコード) を貼り付けます。

```

<div data-name="DeviceChannelPanel">

    <!--CS: デバイス チャネル パネル スニペットの開始-->

    <!--SPM:<%@Register Tagprefix="Publishing"
    Namespace="Microsoft.SharePoint.Publishing.WebControls"
    Assembly="Microsoft.SharePoint.Publishing, Version=15.0.0.0,
    Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->

    <!--MS:<Publishing:DeviceChannelPanel runat="server"
    IncludedChannels="iPhone">-->

        <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE:
        読み取り専用プレビューの終了-->

        <div class="DefaultContentBlock" style="border:medium black
        solid; background:yellow; color:black; margin:20px;
        padding:10px;">

            この div を、デバイス チャネル パネルのプロパティに基づいて表示されるコンテン
            ツに書き換えてください。

        </div>

        <!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE:
        読み取り専用プレビューの終了-->

    <!--ME:</Publishing:DeviceChannelPanel>-->

    <!--CE: デバイス チャネル パネル スニペットの終了-->

```

```
</div>
```

```
</body>
```

8. 貼り付けたコードの内容を編集します。次のように<div class="DefaultContentBlock" タグを  
リボン メニューを非表示とする javascript と置き換えます。

```
<div data-name="DeviceChannelPanel">
```

```
<!--CS: デバイス チャネル パネル スニペットの開始-->
```

```
<!--SPM:<%@Register Tagprefix="Publishing"
```

```
Namespace="Microsoft.SharePoint.Publishing.WebControls"
```

```
Assembly="Microsoft.SharePoint.Publishing, Version=15.0.0.0,
```

```
Culture=neutral, PublicKeyToken=71e9bce111e9429c"%>-->
```

```
<!--MS:<Publishing:DeviceChannelPanel runat="server"
```

```
IncludedChannels="iPhone">-->
```

```
<!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE:  
読み取り専用プレビューの終了-->
```

```
<!--MS:<style type="text/css">-->
```

```
<!--
```

```
#ms-designer-ribbon{display:none}-->
```

```
<!--ME:</style>-->
```

```
<!--PS: 読み取り専用プレビューの開始(変更しないでください)--><!--PE: 読み取り専  
用プレビューの終了-->
```

```
<!--ME:</Publishing:DeviceChannelPanel>-->
```

```
<!--CE: デバイス チャネル パネル スニペットの終了-->
```

```
</div>
```

※ デバイス チャネル パネルを利用し、特定のデバイス チャネル (iPhone) でのみリボン  
メニューを非表示に上書きする CSS を組み込む例をご紹介しましたが、一般的には、  
サーバーがレンダリングしたコンテンツをクライアント サイドで非表示にするなど、標準のメ  
ニューを書き換えるカスタマイズは、予期せぬ結果を引き起こす可能性がありますので、  
十分にテストの上、自己責任で適用いただきますよう、ご留意下さい。

9. 上書き保存します。

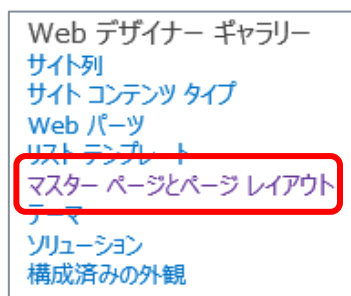
## ● 各リソースファイルをメジャーバージョンに発行

マスターページ ギャラリー内の各ファイルをメジャーバージョンに発行します。

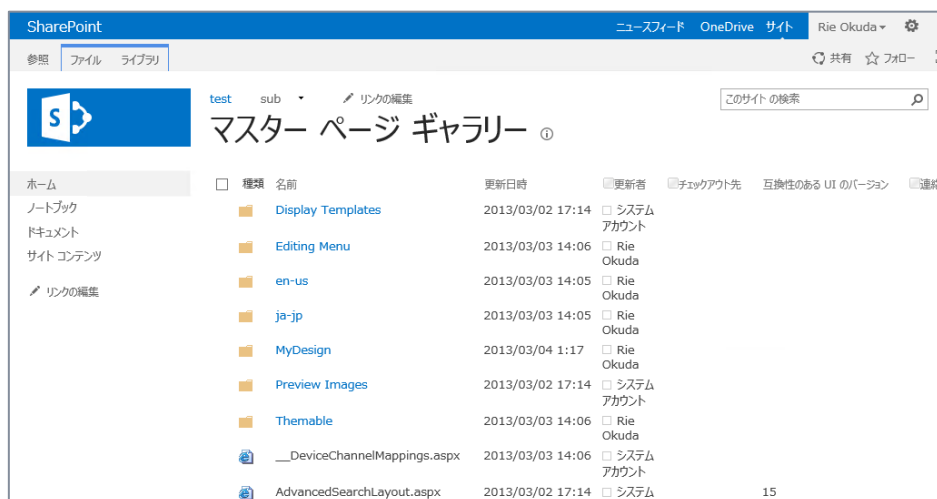
1. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



2. Web デザイナー ギャラリーカテゴリの [マスター ページとページ レイアウト] をクリックします。



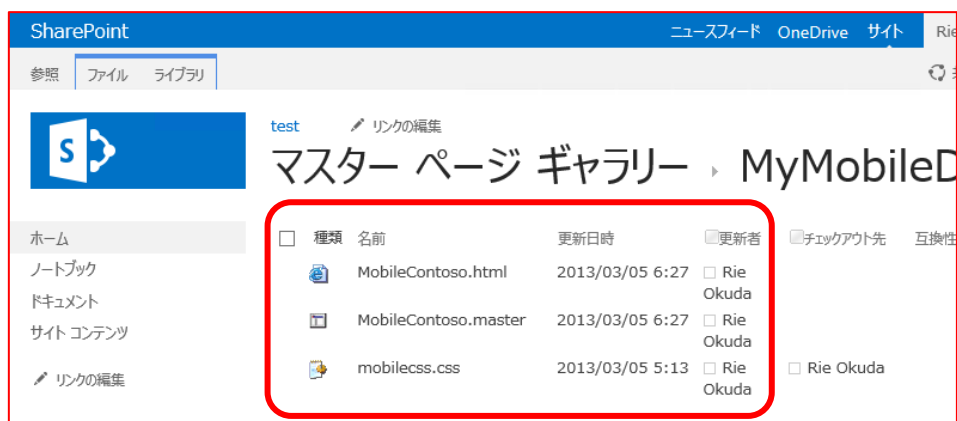
3. マスター ページ ギャラリーが開きます。



4. マスター ページ ギャラリーに保存した HTML ファイルや CSS ファイル、画像ファイルが格納されているフォルダーを開きます。

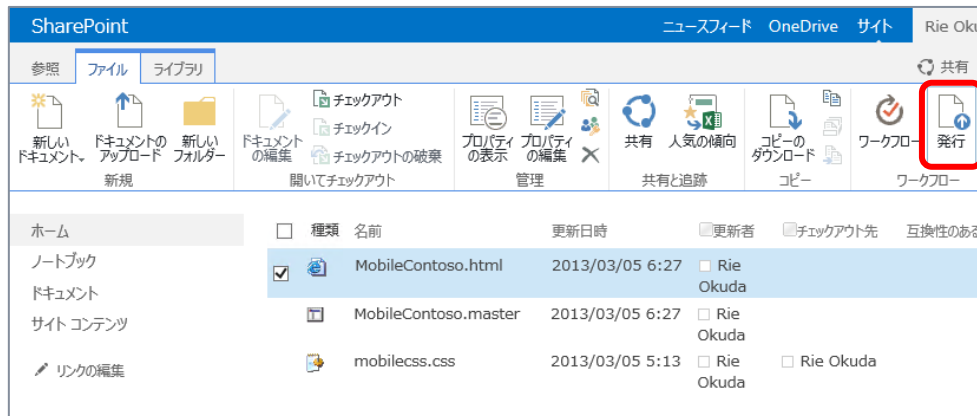
手順で用意した HTML ファイルを利用している場合は MyMobileDesign フォルダーとなります。

HTML ファイル、CSS ファイル、変換されて作成されたマスター ページ ファイルが確認できます。



5. すべてのファイルをメジャーバージョンに発行します。

ファイルを選択し [ファイル] タブの [発行] をクリックします。この作業を全ファイルに行います (HTML ファイルを発行すると、master ファイルは合わせて発行されます)。



## 5.3 マスター ページの設定

作成したモバイル用のマスター ページをデバイス チャンネルに応じて表示するように設定を行います。デバイス チャンネルを利用してデバイスごとのマスター ページを指定する際には、標準で搭載しているモバイル ビューは利用しません。[モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能がアクティブ化されている場合は非アクティブ化が必要です。

### ● [モバイル ブラウザー ビュー] サイト機能の非アクティブ化方法

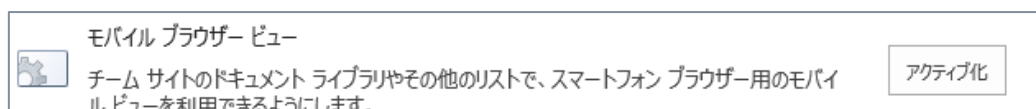
1. ブラウザーでサイトを開き、[設定] – [サイトの設定] をクリックし、サイトの設定画面を開きます。



2. サイトの操作カテゴリーの [サイト機能の管理] をクリックします。

サイトの操作  
**サイト機能の管理**  
検索の構成のエクスポートを有効にする  
サイト定義へのリセット  
このサイトを削除

3. [モバイル ブラウザー ビュー] を非アクティブ化します。



- デバイス チャネルごとのマスター ページ設定

1. [設定] – [サイトの設定] をクリックします。



2. 外観カテゴリーの [マスター ページ] をクリックします。



3. 発行ページのマスター ページを指定する [サイト マスター ページ] に、デバイス チャンネルが表示されていることが確認できます。

[Windows Phone] デバイス チャンネルと [iPhone] デバイス チャンネル両方に、[MyMobileDesign/MobileContoso] を設定し、[OK] をクリックします。

## サイトの設定 ▶ サイト マスター ページの設定 ⓘ

### サイト マスター ページ

サイト マスター ページは、すべての発行ページ (Web サイトへの訪問者に表示されるページ) により使用されます。デバイス チャンネルごとに異なるマスター ページを使用することができます。目的のマスター ページが表示されない場合は、サイト設定でマスター ページ ギャラリーに移動し、承認済みバージョンであることを確認します。

これらの設定は、親サイトから継承することも、このサイトの固有の設定を選択することもできます。

☐ このサイトの親からサイト マスター ページを継承する

☒ このサイトおよびこのサイトを継承するすべてのサイトで使用するマスター ページを指定する:

Windows Phone	MyMobileDesign/MobileCont
iPhone	MyMobileDesign/MobileCont
既定	seattle

☐ すべてのサブサイトをリセットして、このサイト マスター ページの設定を継承する

### システム マスター ページ

システム マスター ページは、このサイト上の管理ページ、リスト、およびドキュメント ライブラリビューで使用されます。目的のマスター ページが表示されない場合は、サイト設定のマスター ページ ギャラリーを表示し、マスター ページに承認されているバージョンがあることを確認します。

これらの設定は、親サイトから継承することも、このサイトのみの固有の設定を選択することもできます。

☐ このサイトの親からシステム マスター ページを継承する

☒ このサイトおよびこのサイトを継承するすべてのサイトのシステム マスター ページを指定する:

すべてのチャンネル	seattle
-----------	---------

☐ すべてのサブサイトをリセットして、このシステム マスター ページの設定を継承する

対応するモバイル デバイスでアクセスすると、モバイル専用で作成したマスター ページによりデザインが構成されていることが確認できます（発行ページを開いて確認）。

➤ ブラウザーで表示



➤ モバイル デバイスで表示

ブラウザーで動作確認する際は、

http:// ページ URL/?DeviceChannel=WindowsPhone もしくは http:// ページ URL/?DeviceChannel=iPhone と指定します（クエリ文字列 Device Channel にデバイス チャンネル エイリアスを指定）。

